海老川市民会館解体工事

令和８年２月

発　注　高　　知　　市
設　計　株式会社ＡＳＡ設計事務所

図面リスト

意匠・構造図			
図番	図名	図番	図名
新築時設計図（一部除く）		浄化槽設置時設計図	
解－１	解体特記仕様書（１）	解浄－１	全体配置図
解－２	解体特記仕様書（２）	解浄－２	浄化槽・排水桝配置図．リスト
解－３-1	付近見取図・現況配置図	解浄－３	既存ＷＣ改修図
解－３-2	解体後配置図	解浄－４	合併処理浄化槽詳細図
解－４	現況平面図・屋根伏図	解浄－５	合併処理浄化槽構造図
解－５	既存特記仕様書・仕上表	解浄－６	流量調整槽詳細図
解－６	立面図	解浄－７	合併処理浄化槽電気設備図
解－７	平面詳細図	解浄－８	制御盤・警報盤　外形図
解－８	矩計図　１	解浄－９	動力改修平面図
解－９	矩計図　２・屋外階段詳細図	解浄－１０	拡声設備（町内放送）改修平面図
解－１０	各部詳細図	解浄－１１	テレビ共同受信設備・拡声設備(町内放送)改修平面図
解－１１	改修詳細図（外部リフレッシュ改修時設計図）	解浄－１２	浄化槽設備ブロワー移設図
解－１２	各階床伏図・展開図　１		
解－１３	展開図　２		～　以上　～
解－１４	建具リスト	本工事外構解体用設計図	
解－１５	改修詳細図（事務室改修時設計書）	解外－１	外構詳細図
解－１６	改修平面図・展開図（調理室改修時設計図）	解外－２	西道路擁壁他詳細図
解－１７	家具リスト・建具リスト（調理室改修時設計図）	解外－３	仮設計画図
解－１８	基礎伏図・基礎リスト・配筋詳細図		～　以上　～
解－１９	梁伏図・柱梁リスト	設備図	
解－２０	スラブ配筋詳細図	解設－１	事務室配線図（事務室改修時設計図）
解－２１	ラーメン図	解設－２	調理室配線図・幹線図（調理室改修時設計図）
解－２２	防災倉庫平面・立面・基礎断面図（倉庫設置時設計図）		～　以上　～
	～　以上　～		

備　考

○工事履歴／工事年
・新築工事／Ｓ４２年
・西道路擁壁改修時設計図／Ｓ５３年
・浄化槽設置時設計図／Ｈ３年
・事務室改修時設計図／Ｈ５年
・調理室改修時設計図／Ｈ６年
・外部リフレッシュ改修時設計図／Ｈ１１年
・倉庫設置時設計図／Ｈ１９年

2026.07

海老川市民会館解体工事　特記仕様書

I　工　事　概　要

1．工事場所　　高知市　朝倉己419番地３ほか

2．工事種目
【市民会館】　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造２階建て　延べ面積268.40㎡
【防災倉庫】　鉄骨造平家建て　延べ面積14.40㎡
【公衆WC】　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造平家建て　延べ面積1.89㎡
【外構】　樹木、遊具等一式
解体　　一式

3．関連工事等　　・電気設備工事　・機械設備工事　・ガス設備工事　・昇降機設備工事　・植栽工事　・合併処理装置設置工事　・外構工事

4．概成工期　　完成期限の（　　　）日前　（令和　　年　　月　　日）

II　建　築　工　事　仕　様

1．特記仕様
1)　項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2)　特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。⊙印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。
3)　特記事項に記載の＜　　＞内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の（　　）内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の［　　］内表示番号は、「公共建築工事改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

2．適用基準等
図面及び特記事項に記載されていない事項は、以下による。

⊗建築物解体工事共通仕様書　（令和４年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・公共建築工事標準仕様書　（令和４年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・公共建築改修工事標準仕様書　（令和４年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル
（令和３年３月　令和８年２月訂正版）　厚生労働省、環境省

3．「週休２日制工事」の実施について
※対象　（⊙ 選択－Ｉ型　　・ 選択－II型　　）
本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休２日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休２日制工事」実施要領（営繕工事編）による。
(https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html)
・対象外（理由：　　　　　　　　）

4．「猛暑による作業不能日数」の実施について
※対象　⊙見込んでいない（理由：※過去のWBGT値に基づき算定した日数が０日のため　・
・見込んでいる　（作業不能日数：※現場説明書による　・
・対象外（理由：　　　　　　　　）

5．「中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更」について
※適用する（現場説明書による）　・適用しない

項　目	特　記　事　項
一般共通事項	
① 工事実績情報システム(CORINS)への登録 (請負金額500万円以上) (受注、変更、完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録等に関する規約」による。＜1.1.4＞
2 総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。
③ 工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。＜1.2.3＞ また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。
④ 工事写真	工事写真はＬ版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し１部提出する。(A4版台紙)＜1.2.3＞ 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和５年版)による。 デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国技建管第14号(令和５年３月１日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。
⑤ 下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。
6 電気保安技術者	適用する＜1.3.3＞
⑦ 施工条件	施工日及び施工時間　※1.3.5(1)(ｱ)による。＜1.3.5＞ ・ 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所＜1.3.5＞ ※ 仮囲内　・ 図示 その他の施工条件＜1.3.5＞ ※ 資機材の搬出入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両（乗用車も含む）が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ・ 登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。
⑧ 交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第４条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等　・令和　年　月　日から令和　年　月　日までの間は　名常駐する。 ⊙作業日は １ 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ⊙監督職員と協議し、適宜配置する。 配置人員の資格 ・ １名以上／１班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(１級又は２級)を配置する工事。 ※ 交通誘導に関し、１名以上／１班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。

資格	資　格　要　件	配置人数
１、２級交通誘導警備検定合格者 （交通誘導警備員Ａ）	交通誘導警備に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの	人
交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等 （交通誘導警備員Ｂ）	警備業法における指定講習を受講したもの 警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第２条第１項第２号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が１年以上であるもの	70 人

なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。
また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。

項　目	特　記　事　項
⑨ 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
10 統括安全衛生管理義務者の指名	労働安全衛生法第30条第２項に基づき指名をする。＜1.3.6＞
⑪ 発生材の処理	＜1.3.10＞＜4.1.4＞＜4.3.1～2＞ 産業廃棄物の運搬、処分等については、＜1.3.10＞より適切に処分するものとし、事前に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場で処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。（積替・保管についても同様とする） 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下廃棄物処理法という）施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに１台のみ写真撮影（現場搬出時及び処分場到着時）し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分（埋立処分、海洋投入処分又は再生）を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票（以下マニフェストという）により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのＥ票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。 この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのＢ２票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにＥ票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・ 引き渡しを要するもの＜1.3.10＞＜5.4.1＞ （・ ＰＣＢ含有物　・ ＰＣＢ含有物及び金属類　※ 無し　）

種類	保管処分	保管場所または処分先及び処分方法
ＰＣＢを含む機器類		
・ 変圧器	※ 保管　・ 処分	※ 監督職員の指示する場所　・
・ コンデンサ	※ 保管　・ 処分	※ 監督職員の指示する場所　・
・ 蛍光灯器具の安定器	※ 保管　・ 処分	※ 監督職員の指示する場所　・
・ ＨＩＤ灯の安定器	※ 保管　・ 処分	※ 監督職員の指示する場所　・
・ リアクトル	※ 保管　・ 処分	※ 監督職員の指示する場所　・
・ コンデンサ用放電コイル	※ 保管　・ 処分	※ 監督職員の指示する場所　・
・ その他（　　　）	※ 保管　・ 処分	※ 監督職員の指示する場所　・
・ ＰＣＢ含有シーリング材	※ 保管　・ 処分	※ 監督職員の指示する場所　・
・ 金属類	※ 保管　・ 処分	※ 監督職員の指示する場所　・

項　目	特　記　事　項
⑫ 石綿含有建材の調査	事前調査範囲　※ 改修範囲　・＜1.4.1＞ 貸与資料　※ 有　（⊙既存の設計図書　⊙石綿含有建材分析調査結果報告書(含有無)） 外壁：複層塗材 天井：石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地岩綿吸音板 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地有孔石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 壁　：ﾓﾙﾀﾙ下地ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗り 仕上塗材 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地ｸﾛｽ張り ・ 無 分析調査　※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う　（ 調査建材使用部位　　調査建材名　　検体数　） 分析方法　※定性分析　・ 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。 規模要件に応じて石綿事前調査結果報告システム（Gビズ）による報告を行うこと (http://www.ishiwata-houkoku.mhlw.go.jp) 調査報告者は建築物石綿含有建材調査者等とする
13 施工数量調査	調査範囲　※ 図示　・ 解体工事範囲すべて＜1.5.2＞ 調査方法　※ 目視またはスケール等による計測
⑭ 工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。
⑮ 契約保証	※ 金銭的保証方式
⑯ 前払金支出割合区分補正	・ 有　⊙無
⑰ 技能士及び技能資格者	※ とび（二級又は足場組立作業主任者）＜1.6.2＞ 当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類（運転免許証等）の写しを提出すること。
⑱ 事業損失補償	現場説明書による。
⑲ 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害（以下この文において「不当介入」という。）の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力し、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が不当介入の報告を怠った場合、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。
⑳ 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。

項　目	特　記　事　項
仮設工事	
① 騒音・粉じん等の対策	騒音・粉じん対策　※ 防音シート　・ 防音パネル　・ 養生シート　・ 図示＜2.2.1＞ 設置範囲　※ 図示　⊙足場設置範囲
② 騒音測定等	解体作業中はデジタル式の(※騒音計　※振動計)を設置し、記録すること。また、記録したものを報告書として提出すること。なお、関連法令で定める数値を上回った場合は、作業を中止し、監督職員に速やかに報告すること。 測定点　※ 敷地境界（ 1 ）か所：詳細な位置は監督職員との協議による ・ 図示　・ その他（　　　）
③ 仮囲い	※ 図示
④ 監督職員事務所	・設ける　※設けない＜2.3.1＞
5 監督職員の備品等	備品等の設置＜2.3.1＞

備品の種類	机・椅子	書　棚	黒　板	ＰＣ	掛時計
数　量	組	台	枚	台	個
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯
数　量	個	足	着	個	個
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器
数　量	人用	台	個	台	台
備品の種類	掃除具				
数　量	個				

項　目	特　記　事　項
⑥ 工事用水・電力	構内既存の施設(用水)　・ 利用できる　（ ※ 有償　・ 無償 ）　※ 利用できない 構内既存の施設(電力)　・ 利用できる　（ ※ 有償　・ 無償 ）　※ 利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電株式会社などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。
7 山留め	山留め工法　・ 山留めの撤去　※ 撤去する　・ 存置する 抜き跡の処理　※ 砂で充填する　・＜2.4.3＞
解体施工	
① 解体範囲	※ 図示（土中解体で図面に記載がない場合は、基礎捨てコンクリートまでとする。） ・ その他（　　　）
② 解体作業注意事項	a) 解体機器は圧砕機を主体とし、振動・騒音等の発生防止に努める。 b) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、その他の関係法令等によるほか、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。 c) 車両の出入りにおいては、道路を泥等で汚さないように留意すること。また、止むを得ず汚した場合は、速やかに清掃すること。 d) 解体作業中は散水等を行い、粉じん等の飛散防止に努め、廃材搬出車両には、飛散防止用のシートを被せて運行すること。 e) 工事作業者の通勤用車両での乗り込みは最小限に留め、全ての工事関係車両は進入路及び敷地内では徐行運転すること。 f) 工事関係車両は、周辺道路での待機及び路上駐車は行わないこと。 g) 施設関係者、通行者、近隣等に危害が及ばぬよう、騒音・振動及び工事関係車両の通行等に注意すること。 h) 以上の項目は受注者はもとより下請負者にも、周知徹底させること。
3 浄化槽・排水槽等の措置	・ 行う（措置：※ 下記のとおり　・ 図示 ）＜3.2.1＞ 浄化槽、排水槽等の汚水及び汚物について、事前に回収、洗浄、消毒等の措置を行い、異臭の発生並びに周囲及び地中への汚染を防止する。 ※ 行わない（消毒洗浄済み）
4 オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油の措置	※ 行う（措置：※ 下記のとおり　・ 図示 ）＜3.2.1＞ 事前に回収、洗浄等の措置を行い、異臭の発生並びに周囲及び地中への汚染を防止する。 ・ 行わない
⑤ 杭の処理	※ 撤去する　⊙存置する＜3.9.2＞ 撤去範囲　※ 図示　・ 撤去方法　・ 引抜き工法　・ 破砕工法 杭の撤去後の処置　※ 山砂　・ セメントミルク　・ 流動化処理土
⑥ さく、照明設備等の附属物の解体	※ 図示（土中解体で図面に記載がない場合は、基礎捨てコンクリートまでとする。）＜3.10.1＞ ・ その他（　　　）
⑦ 樹木等の処理	撤去範囲　※ 図示　・＜3.11.1＞ 処理方法　⊙伐採抜根　・ 移植（移植場所：　　　）
⑧ 地下埋設物及び埋設配管	撤去範囲　※ 図示　⊙敷地境界まで　・＜3.12.1＞
⑨ 解体後の整地	※ 解体撤去後は、次により整地すること。＜3.13.1＞ 埋戻し土（※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種）(3.2.3)
10 その他	・ 電灯等は、別途設備工事で撤去する。 工事現場着手は電気・機械設備工事の切り替え後とする。

高知市　都市建設部　公共建築課

工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
海老川市民会館解体工事		横山	澤田	亀山	松木	解－1
図面名　解体特記仕様書（１）　2026.07	縮尺 1／	作図　　年　　月　　日				

項　目	特　記　事　項

建設廃棄物の処理

① 再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出（請負金額100万円以上）

再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）により作成し、提出は以下による。
a) コブリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ(https://fkplus.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。
b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式１）を、完成資料として監督職員に提出する。
c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式２）を、完成資料として監督職員に提出する。
d) 受注者は再生資源利用（促進）計画書（現場掲示用様式）を工事現場の見やすい場所に掲げること。
e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後５年間保存する。

② 再資源化等

※ 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 〈4.4.1〉

建設廃棄物の種類	中間処理施設または再資源化施設等
※ コンクリート	※ 廃棄物処理法の許可等を受けた施設
※ アスファルトコンクリート	※ 廃棄物処理法の許可等を受けた施設 ・
※ 木材	※ 廃棄物処理法の許可等を受けた施設 ・

※ 金属類

建設廃棄物の種類	中間処理施設または再資源化施設等
※ 金属類	※ 廃棄物処理法の許可等を受けた施設
※ 塩ビライニング鋼管	

・ 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品

建設廃棄物の種類	中間処理施設または再資源化施設等
※ 小型二次電池(誘導灯、火災警報等)	※ 廃棄物処理法の許可等を受けた施設

・ 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品

建設廃棄物の種類	中間処理施設または再資源化施設等
※ 浴室ユニット、システムキッチン	※ 廃棄物処理法の許可等を受けた施設 ※ 再資源化可能処理施設

・ 建設資材廃棄物の再資源化

建設廃棄物の種類	中間処理施設または再資源化施設等
・ 水銀使用製品 (蛍光ランプ　ＨＩＤランプ)	※ 廃棄物処理法の許可等を受けた施設 ※ 水銀使用製品産業廃棄物の許可を受けた施設
・ 硬質ポリ塩化ビニル管　継手	※ 塩化ビニル管・継手協会の受入拠点施設
・ ガラス	※ 再資源化可能処理施設

・ 指定建設資材廃棄物の縮減

・ 木材

・ 建設廃棄物を再資源化し現場で利用

・ 粒度調整砕石（0～40mm）程度に破砕したコンクリート塊
・

再資源化するもの以外については、遮断型・管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設にて適切に処理すること。 〈4.4.3〉

3 産業廃棄物広域認定制度

環境大臣の認定を受けた事業者の認定書の写し及び本工事で取り交わした覚書等の写しを監督職員に提出する。 〈4.4.2〉

4 処理に注意を要する建設廃棄物

処理に注意を要する建設廃棄物 〈4.5.1〉
※ 4.5.1.（ア)及び(イ)による。
4.5.1.（イ）.（ｂ）ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理
※ 管理型最終処分場で埋立処分　　・ 製造業者に処分を委託

特別管理産業廃棄物等の処理

1 施工計画調査

分析調査またはサンプリング調査 〈5.1.2〉〈5.4.1〉

ＰＣＢを含む機器類	分析調査またはサンプリング調査
・ 変圧器 ・ コンデンサ ・ 蛍光灯、ＨＩＤ灯器具の安定器 ・ その他（　　　　）	・ 行う　・ 行わない
・ ＰＣＢ含有シーリング材	・ 行う　・ 行わない
・ 廃油	・ 行う　・ 行わない
廃酸　廃アルカリ	
・ 臭化リチウム水溶液 ・ 電池の溶解液	・ 行う　・ 行わない
・ ダイオキシン類	・ 行う　・ 行わない

2 特別管理産業廃棄物の処理等

・ ＰＣＢ含有シーリング材の撤去　　※撤去する　　・ 撤去しない 〈5.4.1〉

種類	処分、処理方法	処分先
・ 廃油	※ 焼却処分 ・ 再生処理	※ 廃棄物処理法の許可等を受けた施設
廃酸　廃アルカリ ・ 臭化リチウム水溶液 ・ 電池の電解液	※ 中和処理または焼却処分 ・ 再生処理	※ 廃棄物処理法の許可等を受けた施設

・ ダイオキシン類の解体方法及び処分方法は、ダイオキシン類対策特別措置法及び労働安全衛生法並びに廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱に基づき、適切な解体方法及び処理を行うこと。

項　目	特　記　事　項

石綿含有建材の除去及び処理

1 石綿粉じん濃度測定

・ 行う　・ 行わない 〈6.1.3〉

測定時期	測定場所	測定名称	測定点
・ 処理作業前	・ 処理作業室内	測定１	※ ２点　　・ ３点
	・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定２	※ ２点　　・
※ 処理作業中	・ 処理作業室内	測定３	※ ２点　　・
	※ セキュリティーゾーン入口	測定４	※ １点　　・
	※ 集じん、排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	測定５	※ １点　　・
	※ 施工区画周辺又は敷地境界	測定６	※ ４方向 各１点
※ 処理作業後 （隔離シート撤去前）	※ 処理作業室内	測定７	※ ２点以上　・
	・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定８	※ ４方向 各１点

測定方法
・JIS K3850-1に基づいた測定（・測定4　・測定5　・測定6　・測定7　・　　）
・自動測定器による測定（・測定4　・測定5　・　　　）

② 石綿含有建材の除去等

除去等 〈6.3.2〉〈6.4.2～5〉〈6.5.2〉

種類	使用材料	除去工法	区画	除去材の飛散防止
・ 石綿含有吹付材	・ ・ ・	※ 湿潤化の後に除去 ・	＜6.3.1＞による	※ 湿潤化 ・ 固形化
・ 石綿含有保温材等	・ ・	※ 破壊して除去〈6.3.1〉～〈6.3.4〉による		※ 湿潤化 ・ 固形化
	・ ・	・ 原形のまま手ばらし〈6.4.2〉～〈6.4.4〉による	＜6.4.1(ｳ)＞による	※ 湿潤化 ・
[✓ 石綿含有成形板]	**・石綿板（軒天）**	※ 原形のまま手ばらし〈6.5.2.(ｱ)〉による	・行う ＜6.4.1(ｳ)＞による ※ 行わない	〈6.5.3.(ｳ)〉による

処分方法 〈6.3.3〉〈6.4.3〉〈6.5.3〉
※ 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること
・〈6.3.3.(エ).（ｂ）〉による

3 石綿含有仕上塗材の除去等

除去方法 〈6.6.1～5〉
※ 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法
処分方法 〈6.6.4〉
※ 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること
除去範囲　　※ 図 示
試験施工　　※行わない　　・行う

特殊な建設副産物の処理

1 特殊な建設副産物の処理等

施工計画調査 〈7.1.3〉

特殊な建設副産物の種類	分析調査
〈7.1.2.(ア)〉 の特定物質	
[✓ 冷媒フロン類]	・ 行う　[✓ 行わない]
・ 建材用断熱材フロン	・ 行う　・ 行わない
・ ハロン類	・ 行う　・ 行わない
〈7.1.2.(イ)〉 の放射性同位元素 ・ イオン化式感知器 ・	・ 行う　・ 行わない
・ 〈7.1.2.(ウ)〉 の六ふっ化硫黄ガス ・ 受変電機器 ・	・ 行う　・ 行わない
・ 〈7.1.2.(エ)〉 のＰＦＯＳ ・ 泡消火設備 ・	・ 行う　・ 行わない
〈7.1.2.(オ)〉 の特定化学物質 ・ ・	・ 行う　・ 行わない

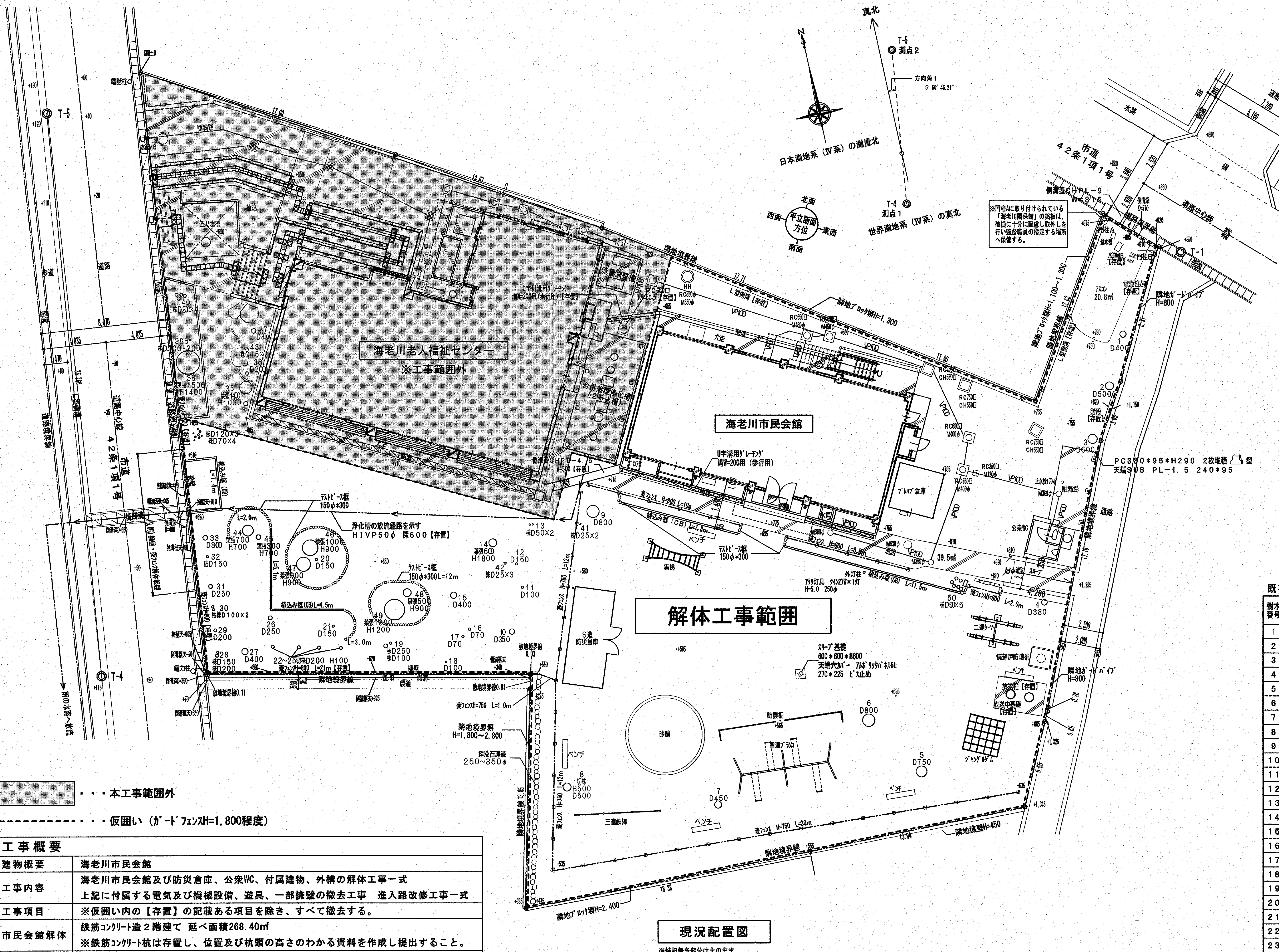
処理等 〈7.3.1〉

特殊な建設副産物の種類	処理方法
〈7.1.2.(ア)〉 の特定物質	
[✓ 冷媒フロン類]	※ フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づき登録を受けた回収業者 ・ 特定家庭用機器再商品化法による
・ 建材用断熱材フロン	※ 焼却による破壊処理が可能な処理施設
・ ハロン類	※ ハロン消火設備設置業者等
〈7.1.2.(イ)〉 の放射性同位元素 ・ イオン化式感知器 ・	※ 放射性同位元素等規制法その他関連法令に基づく製造業者等
・ 〈7.1.2.(ウ)〉 の六ふっ化硫黄ガス ・ 受変電機器 ・	※ 製造業者
・ 〈7.1.2.(エ)〉 のＰＦＯＳ ・ 泡消火設備 ・	※ 廃棄物処理法に基づく処理業者
〈7.1.2.(オ)〉 の特定化学物質 ・ ・	※

特定家庭用機器再商品化法による処理を行った場合は、回収業者が受領したことを示す書類の写しを監督職員に提出すること。

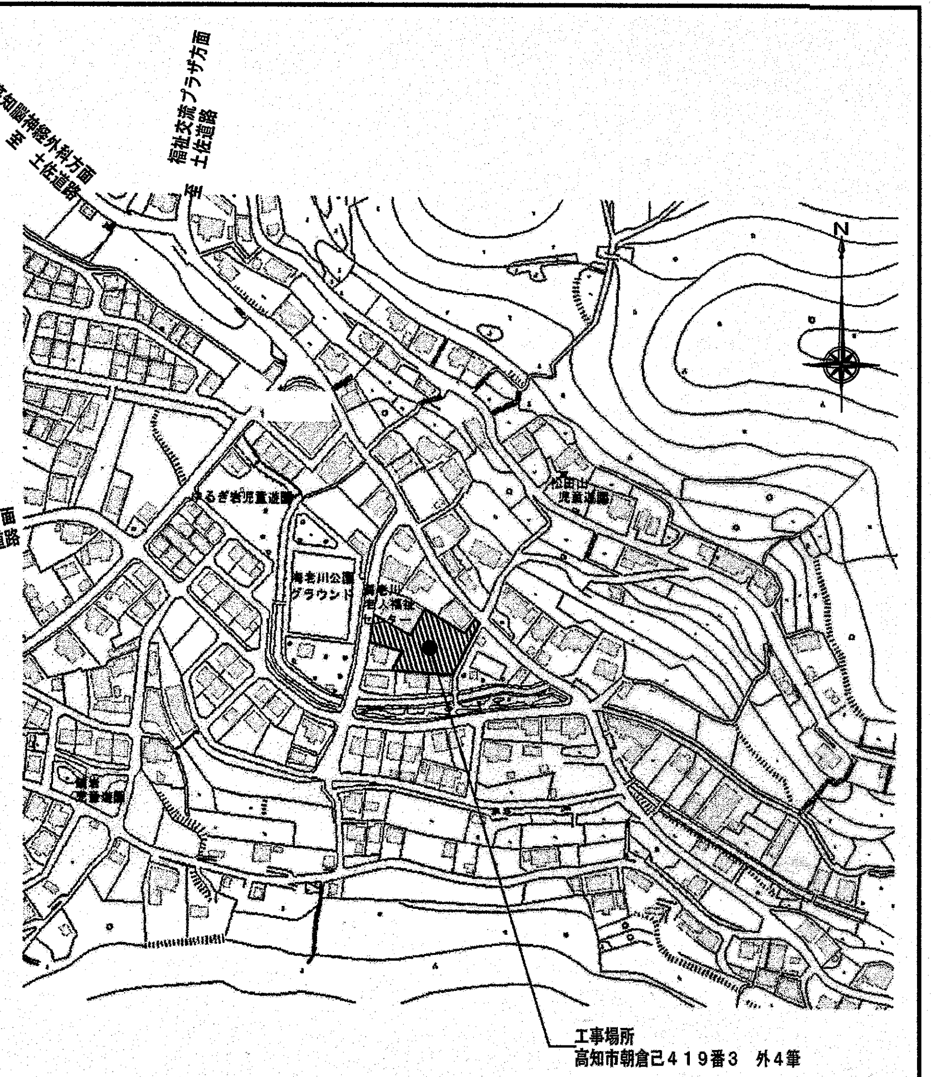
項　目	特　記　事　項

高知市　都市建設部　公共建築課	工 事 名		係	係　長	課長補佐	課　長	図面番号
	海老川市民会館解体工事		横山	澤田	畠山	松木	解－2
	図 面 名　解体特記仕様書（２）　2026.07	縮　尺　１／	作 図　　年　　月　　日				



現況配置図

※特記無き部分は土のまま



付近見取図

▨ ・・・本工事範囲外

- - - - - - ・・・仮囲い（ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1,800程度）

工事概要

建物概要	海老川市民会館
工事内容	海老川市民会館及び防災倉庫、公衆WC、付属建物、外構の解体工事一式 上記に付属する電気及び機械設備、遊具、一部擁壁の撤去工事　進入路改修工事一式
工事項目	※仮囲い内の【存置】の記載ある項目を除き、すべて撤去する。
市民会館解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造２階建て 延べ面積268.40㎡ ※鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ杭は存置し、位置及び杭頭の高さのわかる資料を作成し提出すること。
防災倉庫解体	鉄骨造平家建て 延べ面積14.40㎡
公衆WC解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造平家建て 延べ面積1.89㎡
付属建物解体	付属建物：ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ倉庫　2,914×2,914×H2,305 付属建物：駐輪場　鉄骨造　2,320×5,065×H2,275
電気設備撤去	１市民会館及び公衆WC内外の照明器具、配線器具、配線の撤去 ２TVｱﾝﾃﾅ、配線の撤去 ３換気扇の撤去
機械設備撤去	１市民会館及び公衆WC内外の給排水金具及び給排水管の撤去 ２市民会館及び公衆WCの衛生器具の撤去 ３ｶﾞｽ集合装置及びｺｯｸ、ｶﾞｽ配管の撤去 ４空調機器及び配管、樹脂基礎の撤去 ※給排水設備は端末処理をする。
外構解体	１土間ｺﾝｸﾘｰﾄの撤去 ２遊具及びﾌｪﾝｽの撤去 ３樹木の伐採、伐根

既存樹木の撤去処分等

樹木番号	D（mm）（胸高直径）	樹種（推測）	本工事の扱い		備考	樹木番号	D（mm）（胸高直径）	樹種（推測）	本工事の扱い		備考
			撤去処分	存置					撤去処分	存置	
1	400	クス	○		H=7m	26	250	ヤマモモ	○		H=7m
2	500	クス	○		H=7m	27	400	カイヅカイブキ		○	
3	600	クス	○		H=7m	28	株150・株200	カイヅカイブキ		○	
4	380	クス	○		H=7m	29	200	カイヅカイブキ		○	
5	750	不明	○		H=15m	30	株100X2		○		立枯れ　H≒5m
6	800	不明	○		H=15m	31	250	カイヅカイブキ		○	
7	450	不明	○		H=15m	32	150		○		立枯れ　H≒3m
8	500		○		切株H=500	33	300	カイヅカイブキ	○		H=7m
9	800	クス	○		H=15m	34	株120X3・株70X4	キョウチクトウ		○	
10	350	タイワンフウ		○		35	葉張1，400	不明	◌		H=1，000
11	100	不明	○		H=3m	36	200	ウバメガシ	◌		H=5m
12	150	モミジ	○		H=3m	37	300	カイヅカイブキ	◌		H=9m
13	株50X2	不明	○		H=2m	38	葉張1500	ウバメガシ		◌	H=1，400
14	葉張500	不明	○		H=1，800	39	株100・株200	サクラ		◌	
15	400	イチョウ		○		40	株200X4	サクラ		◌	
16	70	不明		○		41	株25X2	ナンテン	○		H=2，000
17	70	不明		○		42	株25X3	ナンテン	○		H=2，200
18	100	不明		○		43	株15X2	ナンテン	◌		H=800
19	株250・株100	キョウチクトウ		○		44	葉張700	ツゲ	○		H=700
20	150	不明	○		H=3m	45	葉張300	ツゲ	○		H=700
21	150	不明		○		46	葉張1000	アジサイ	○		H=900
22	200			○	切株H=100	47	葉張900	アジサイ	○		H=900
23	200			○	切株H=100	48	葉張500	アジサイ	○		H=900
24	200			○	切株H=100	49	葉張1300	ガクアジサイ	○		H=1，200
25	200			○	切株H=100	50	株50X5	不明	○		H=3m

《備考》
- 株Dは株立樹木を示す
- 撤去処分の樹木は根を含む
- 存置の樹木は剪定する（本工事範囲外）
- 表中の ◌ ヶ所　３５～４０・４３は本工事範囲外

高知市都市建設部公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長
横山	澤田	畠山	松木

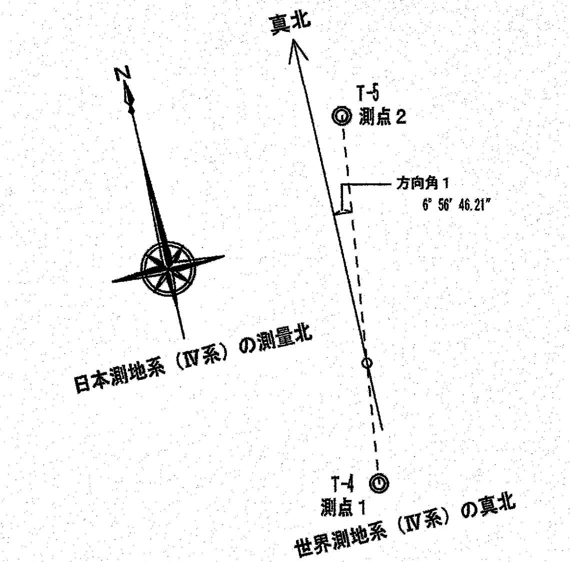
海老川市民会館解体工事

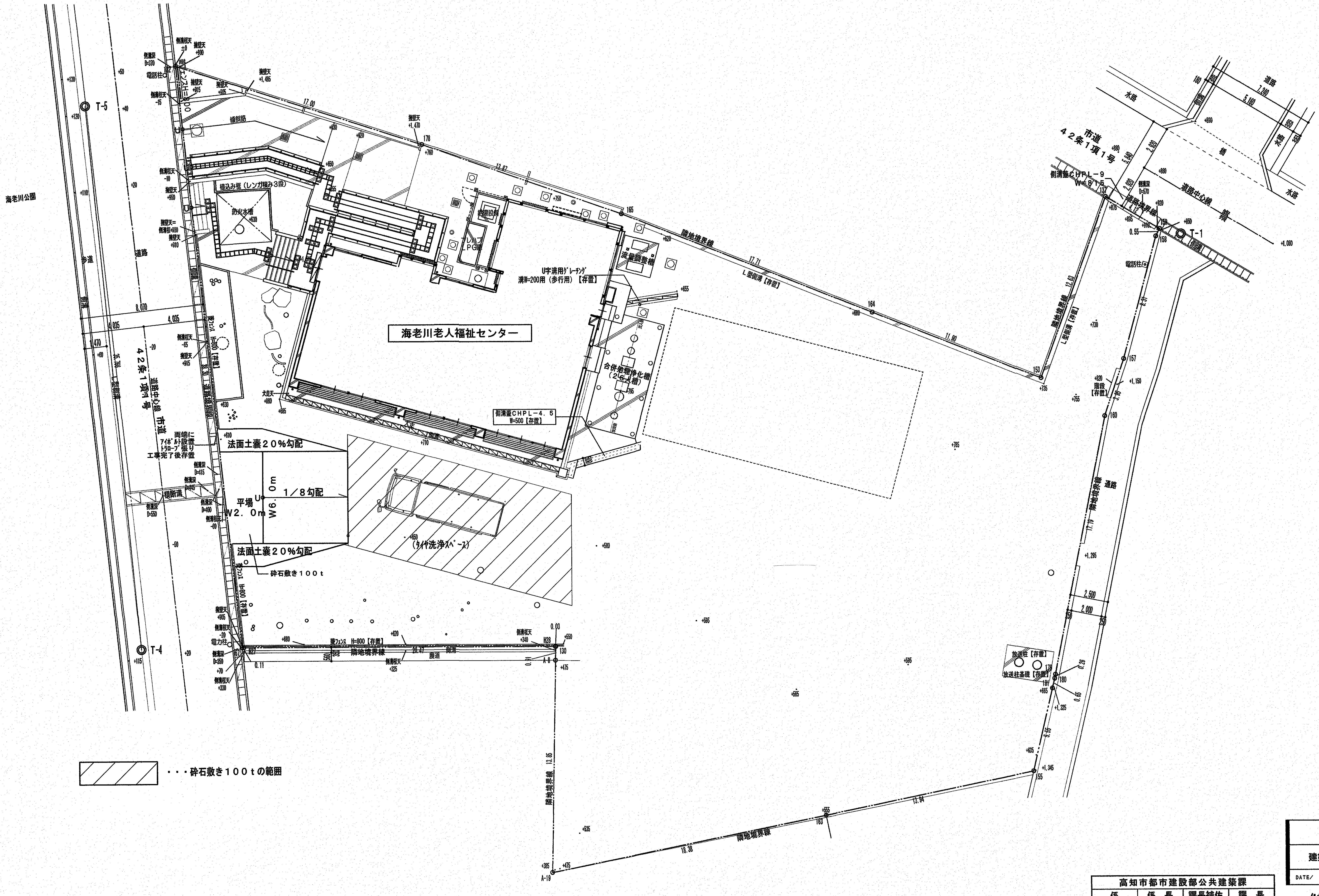
建築意匠図　付近見取図．現況配置図

DATE/ 2026/8　SCALE/ 1/200　SHEET NO 解－３－１

㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第１９６８５２号
田 中 健 一
DRAWN BY K. 小川
CHECKED BY





▨ ・・・砕石敷き１００ｔの範囲

解体後配置図

※特記無き部分は土のまま

高知市都市建設部公共建築課

係	係　長	課長補佐	課　長
横山	澤田	亀山	松木

海老川市民会館解体工事

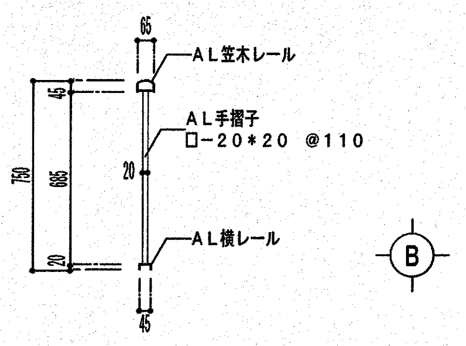
建築意匠図　解体後配置図

DATE/ 2026/8　SCALE/ 1/200　SHEET NO 解−３−２

㈱ＡＳＡ設計事務所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第１９６８５２号
田中健一

DRAWN BY K. 小川
CHECKED BY



AL手摺 断面図 1/30

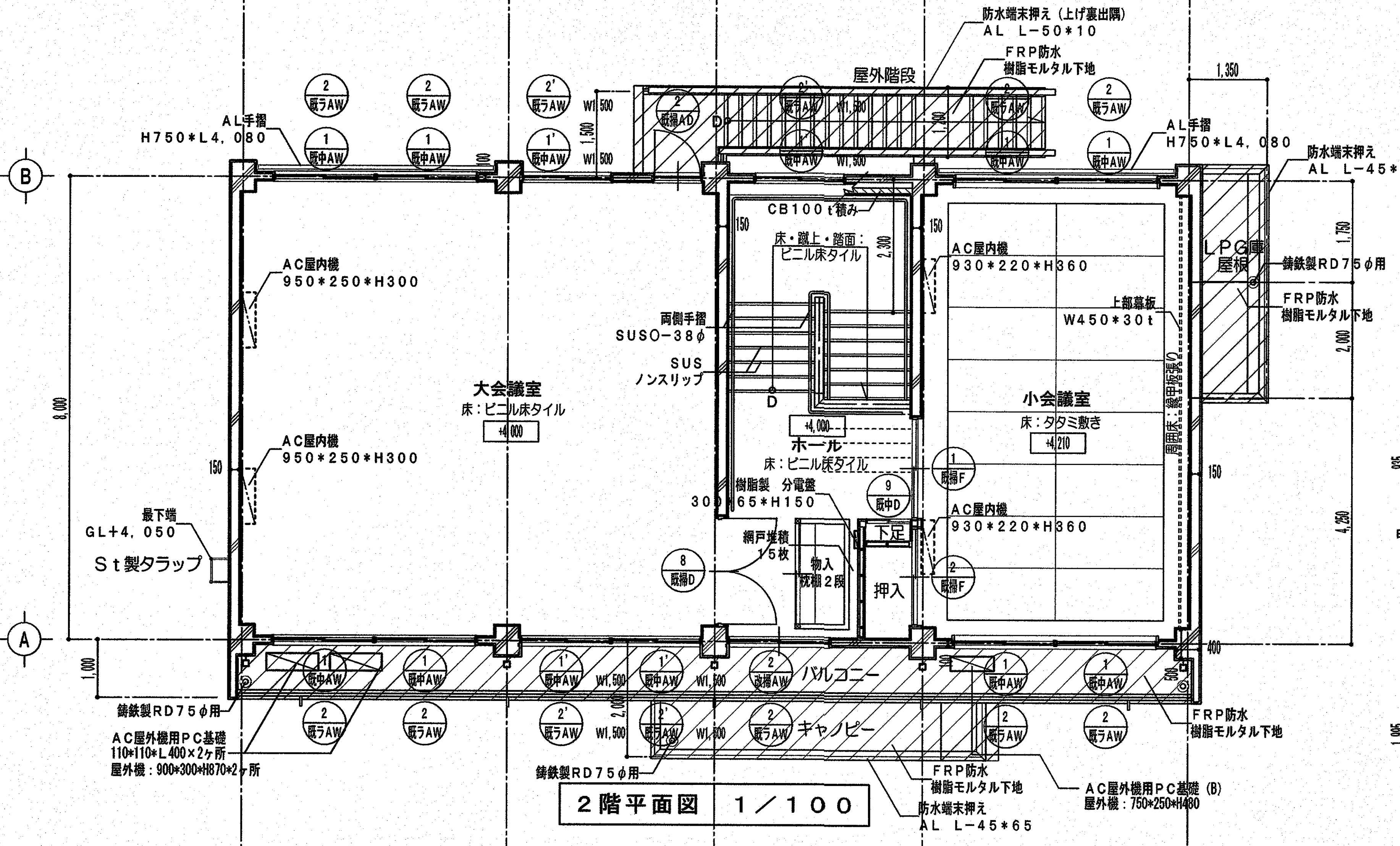
面積表

延床面積（㎡）	268.40	RC部： 268.40 W 部：
建築面積（㎡）	146.84	

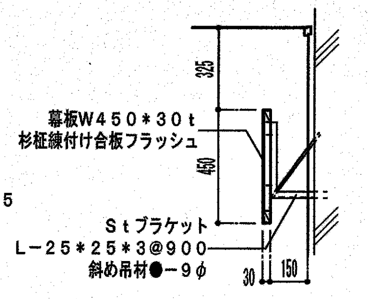
凡例

□	既存図を参照
▨	合併処理浄化槽設備図（解浄-1~8）参照
▨	事務室改修図（解-15）参照
▨	調理室改修図（解-16~17）参照
▨	外部リフレッシュ改修図（解-11）参照
数字／既中	既存図の建具リストを参照 ラ：ランマ 中：中敷 掃：掃出 を示す
数字／改中	増築図の建具リストを参照 ラ：ランマ 中：中敷 掃：掃出 を示す

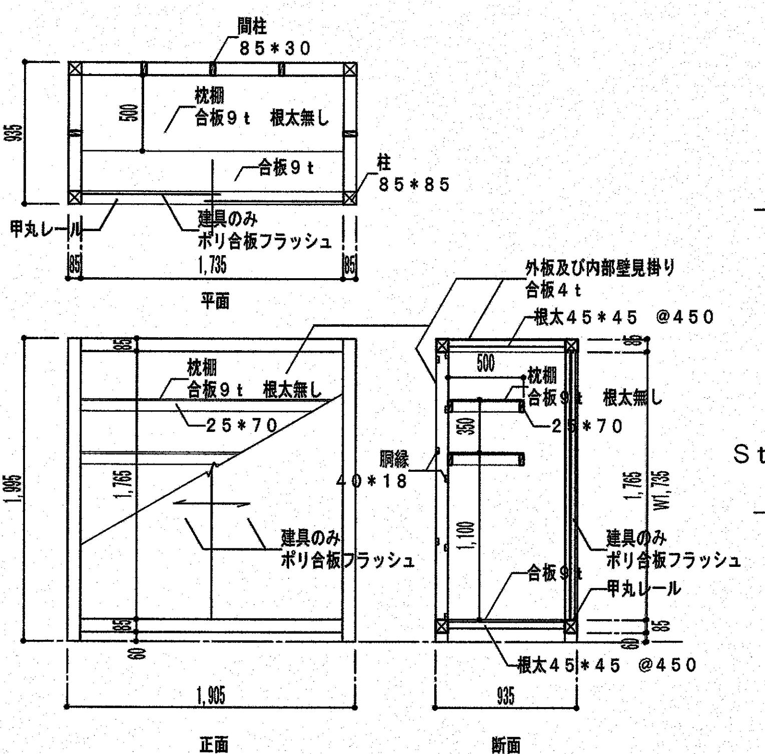
注）
1. 本図は新築及びその後何度かの改修を経た現時点の平面である
2. 既存図の建具記号にあるも左図に無い記号の建具は、改修時に解体撤去処分済み
3. 特記無き縦樋はSt□−100*100*4.5 FE塗り
4. 合併処理浄化槽及び流量調整槽は、市民会館の浄化槽図参照
   ※槽本体は市民会館解体時の解体対象外。
   同上関係の操作盤・警報盤等の関連設備は、別途工事にて移設（解浄-9、12参照）



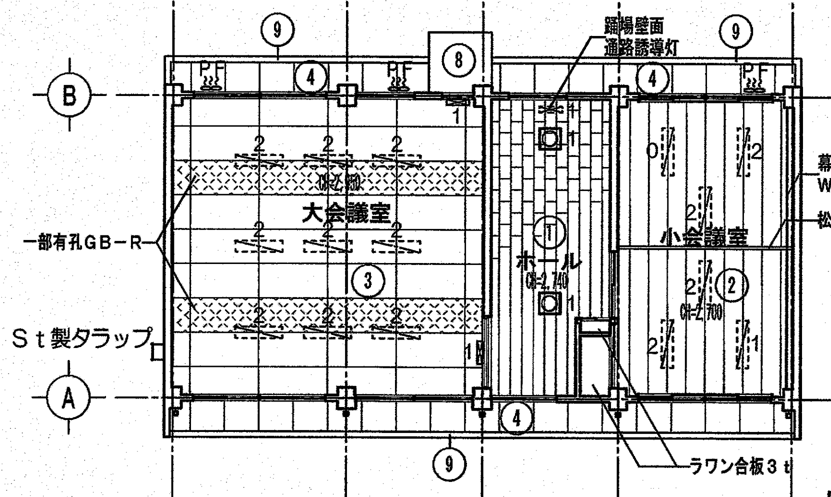
2階平面図 1/100



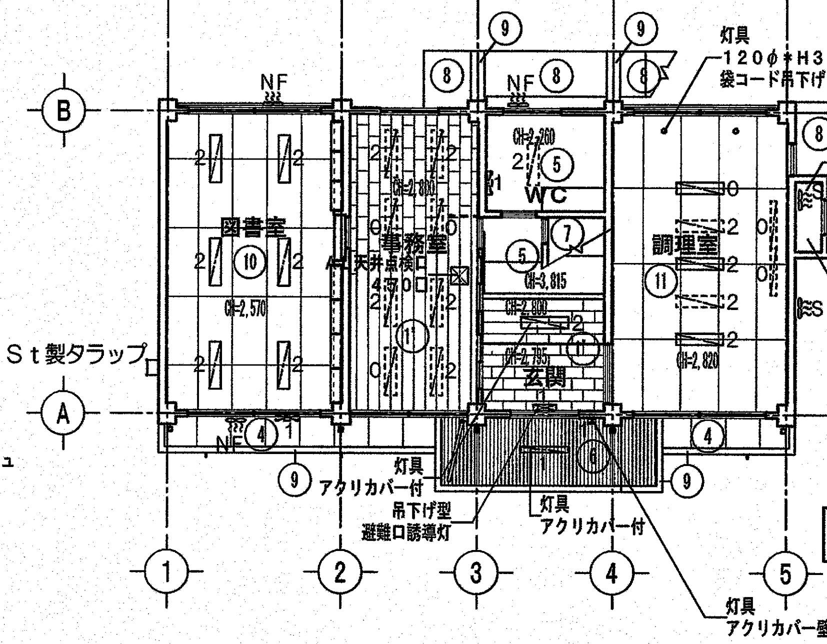
幕板 断面図 1/30



物入姿図 1/50



2階天井伏図 1/200



1階天井伏図 1/200

特記無き灯具はSt製、管球は直管蛍光灯とする。
C：サークライン 白：白熱灯

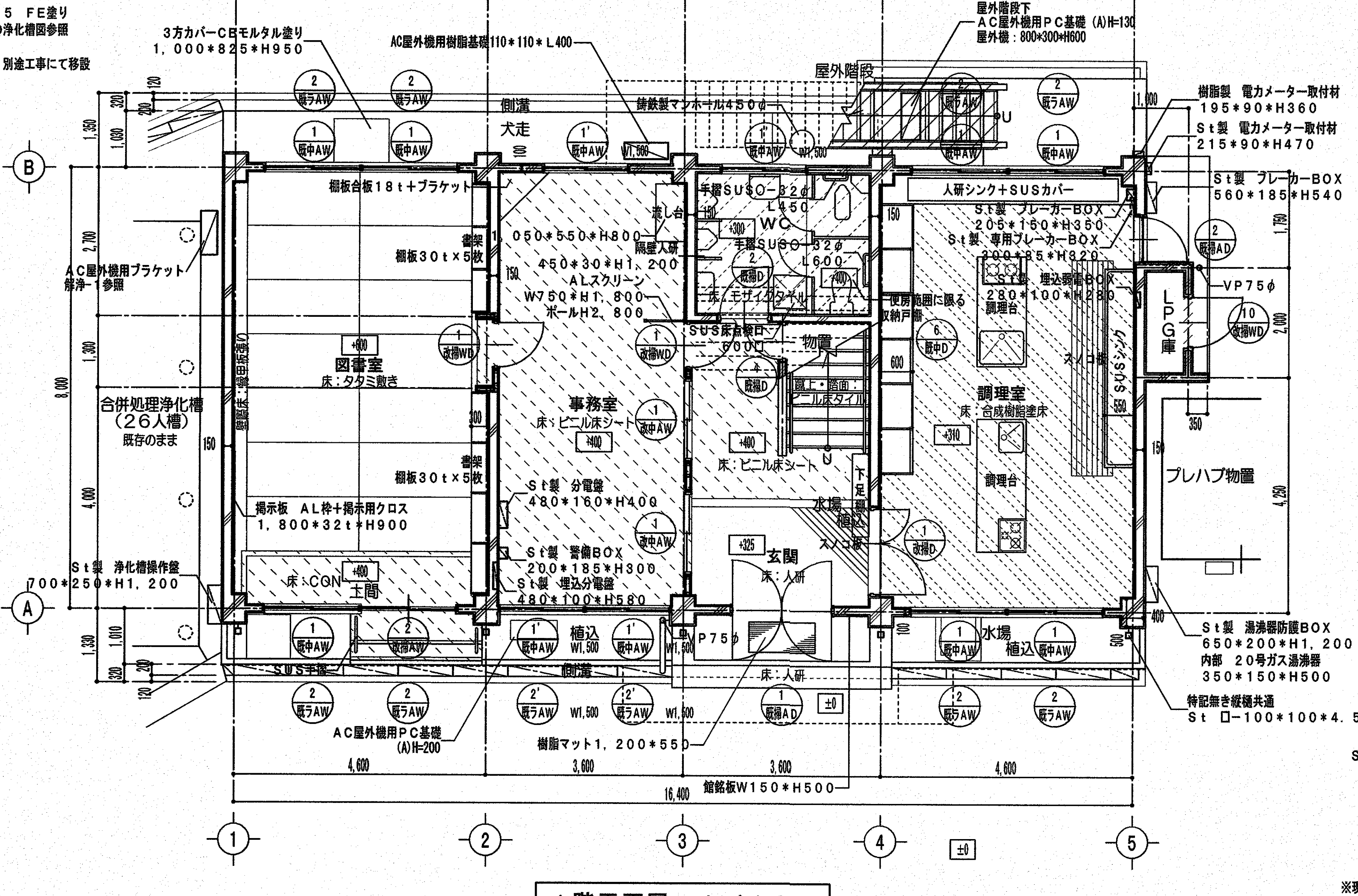
照明器具凡例	灯具型式	光源
▭	下面開放埋込型	40W×2
▭	下面開放埋込型	40W×1
▭	逆富士直付型	40W×2
▭	逆富士直付型	40W×1
◎	アクリカバー直付型	40W（C）×1
▭	アクリカバー壁直付型	20W×1
▭	アクリカバー壁付（吊下げ）型通路（避難口）誘導灯	20W×1
•	吊下型ペンダント	40W（白）×1

注）管球の数量は灯具記号に数字を付し、現に装着されている本数を示す。

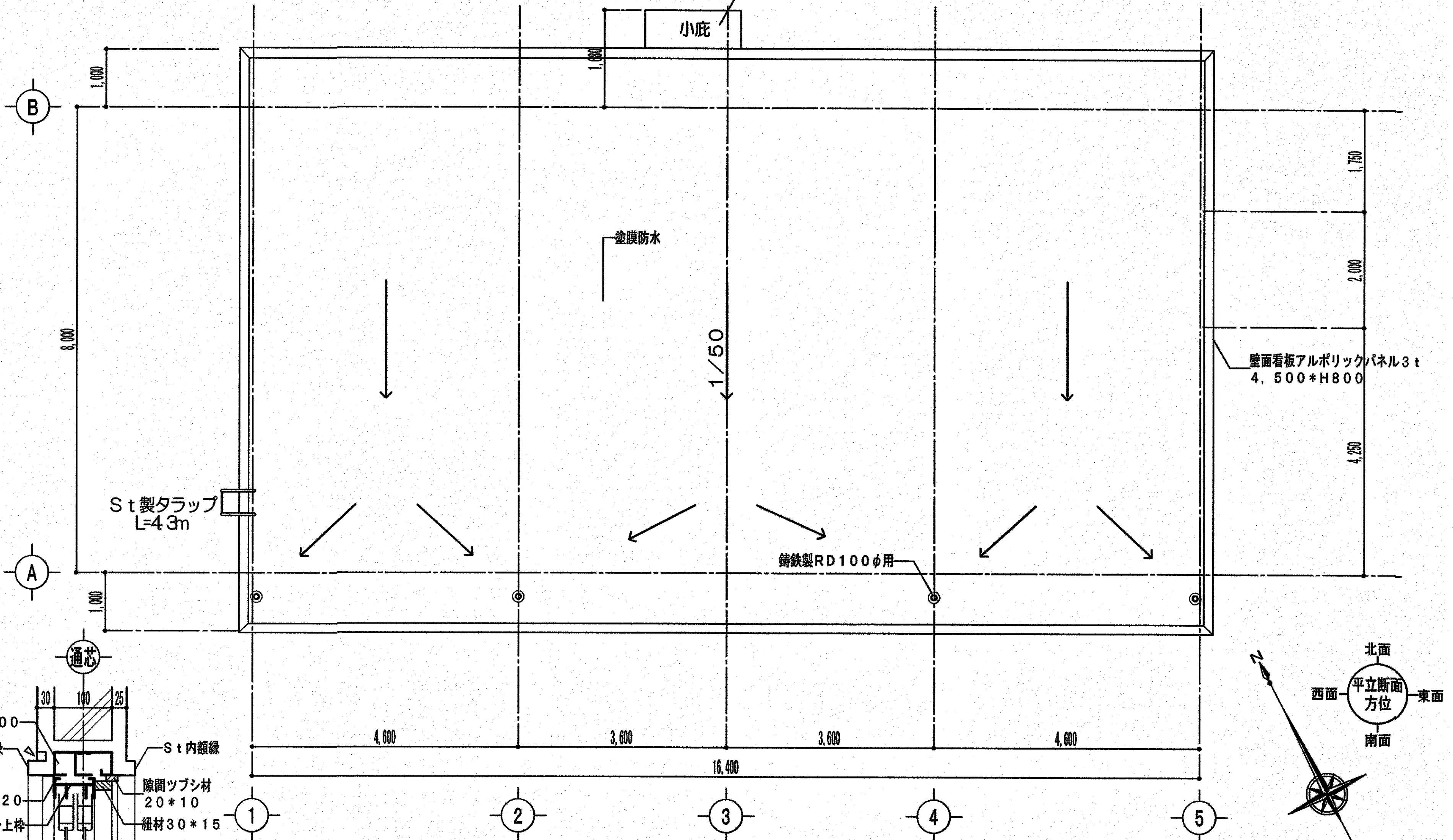
換気扇凡例
- 換気扇を示す
SF 鋼板製フードを示す
PF 樹脂製フードを示す
NF フード無しを示す

天井仕上記号
① 岩綿吸音板9t直張り
①' GB−R9tの上 岩綿吸音板9t張り
② 杉柾ベニヤ3t目透し張り
③ GB−R9t目透し張りEP
④ 有孔石綿板4t目透し張りEP
⑤ RC下地プラスター塗り
⑥ カラー鋼板0.3tスパンドレル張り
⑦ モルタル塗り
⑧ モルタル刷毛引外装薄塗材E（砂壁状）
⑨ モルタル刷毛引複層塗材E
⑩ 不燃化粧板6t（木目模様）目透し張り
⑪ GB−R12t目透し張りEP

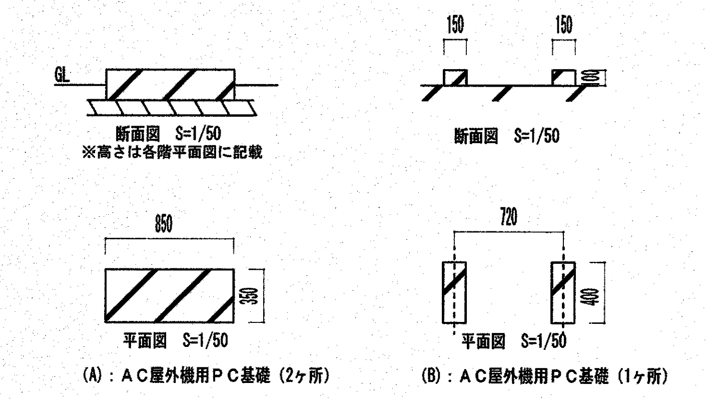
CH 当該室の床面からの天井高を示す



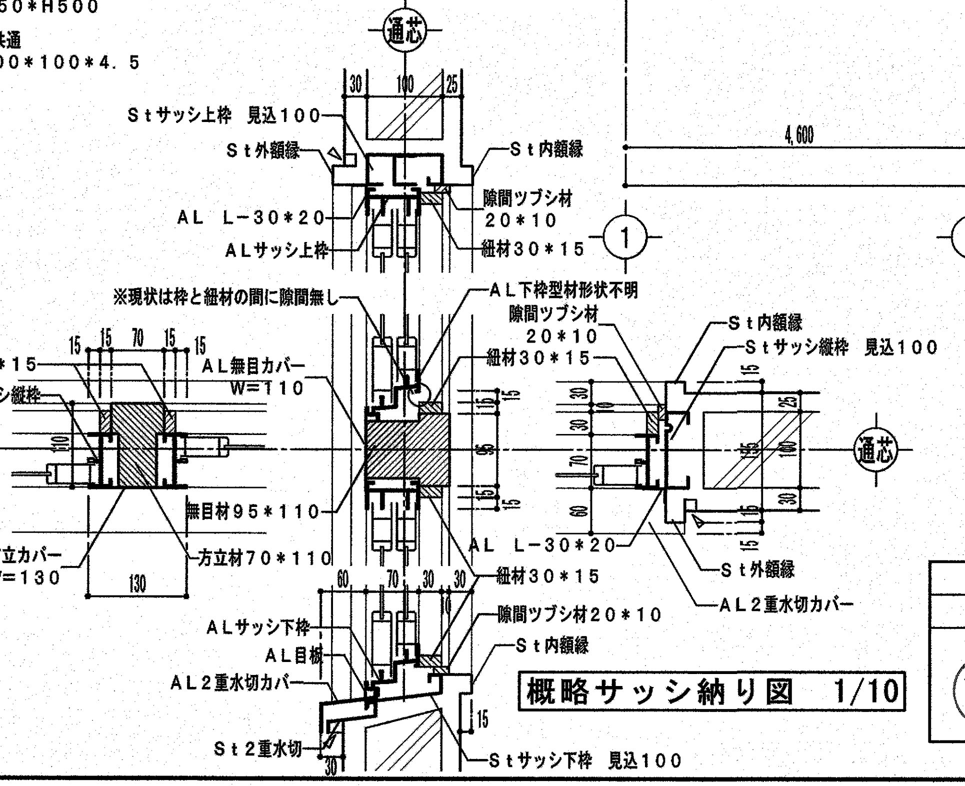
1階平面図 1/100



屋根伏図 1/100



（A）：AC屋外機用PC基礎（2ヶ所）
（B）：AC屋外機用PC基礎（1ヶ所）



概略サッシ納り図 1/10

高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
横山	澤田	畠山	松木

海老川市民会館解体工事

建築意匠図	現況平面図・屋根伏図
DATE/ 2026/8	SCALE/1/200・100・50・30・10
SHEET NO	解−4

㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822−5797（代）
FAX (088) 822−5799

一級建築士大臣登録第196852号
田 中 健 一
DRAWN BY K. 田中
CHECKED BY

1. 設計概要

(1) 工事名称　朝倉南横町 福祉館

(2) 工事場所　高知市南横町

(3) 構造概要　鉄筋コンクリート造 2階建
コンクリート陸屋根　外壁　モルタル塗りリシン吹付目地切り，一部タイル貼り

建築面積　146.84 ㎡
延面積　268.40 ㎡

(4) 工事期間　昭和　年　月　日より　昭和 47 年 3 月 31 日まで

(5) 別途工事　給水，排水，衛生工事 及び プロパン配管工事，電気工事

2. 仕上表

(1) 外部仕上表

	床	腰（基礎）	壁	庇 ベランダ	軒天	備考
南面	出入口人造石研出し 床土入レ，床レンガ小端立側溝付 非常階段，モルタルミガキ 犬走り側溝モルタルミガキ	モルタル塗り 刷毛引	モルタル塗り刷毛引	スパンドレル（カラー）#28 石綿板貼り 4% 石綿板貼 4% 又はボード 6%	石綿板貼り 4%	角樋，VP丸樋 手スリ，鉄骨OP 2回 旗竿，掲示板マルホール 非常階段 換気穴 換気穴
北面		全上	全上		全上	
東面		全上	全上			
西面		全上	全上			

屋根

主屋根 ---- ユニロン防水第1仕様 又は カネボーゴーレックスA工法，入隅には ユニロン防水フィルム貼布，
勾配 1:50　責任施工 5ケ年間，　ルーフドレイン立型 φ100（#28 亜鉛鉄板）
竪樋 □-100×50×2.3　OP 2回ヌリ

ベランダ ---- ユニロン防水第1仕様 又は カネボーゴーレックスA工法，入隅には ユニロン防水フィルム貼布
モルタルミガキ ⑦25%　床面排水ルーフドレイン φ75 立型　VP φ75 竪樋

非常階段 ---- コンクリート打 モルタルミガキ モルタル刷毛引，　手摺 …… 鉄骨造 H=1100 OP 2回ヌリ
リシン吹付　ノンスリップタイル貼り

花ダン …… 床土入レ，赤レンガ小端立

塗装 …… 木部，鉄部 OP 2回ヌリ，石綿板⑦4% ヘキサイト 2回ヌリ 及び，ポリマ#600 2回ヌリ
イージーコート 2回ヌリ

(2) 内部仕上表

	床	巾木	腰	壁	天井	備考
玄関ホール	人造石研出しカスイ厚さ 目地棒入り 巾-3×30	人造石研出し	モルタルミガキ，イージーコート2回塗り H=1200 一部プリント合板貼り	プラスター塗	メラミン合板貼り 又は 同等品 竿縁 60×24-300@ クリヤーラッカー2回	
ローカ	モルタルミガキ 塩ビタイル（硬質）	ソフト巾木	全上 プラスター塗	全上	クロス合板貼り，プラスター塗り， ベニヤ板⑦5.5% クロス貼り	
階段	全上 ノンスリップ付（平安L-554）	モルタルミガキ イージーコート2回	モルタルミガキ，イージーコート2回 手摺 人造石研出し	全上	プラスター塗 不燃吸音板	踏板，現場テラゾー
WC	モザイクタイル貼り	腰掛 モザイクタイル貼り 1部モルタルミガキ	腰掛 1部モルタルミガキ モザイクタイル貼り	全上	プラスター塗 不燃吸音板	複合パネル ⑦3.0% カウンター，棚
事務室	**※事務室改修図参照**					
図書室	**床：畳　一部コンクリート**	**センイ壁**	**センイ壁**	**センイ壁**	**不燃吸音板 点検口（303*606）**	**本棚　クリアラッカー２回塗り**
調理室 大会議室 小会議室 押入 プロパン置場 物入	**※調理室改修図参照** モルタルミガキ 塩ビタイル（軟質） タタミ トップ パーライト貼り ベニヤ板 TⅡ⑦5.5% モルタルミガキ	モルタルミガキ ソフト巾木 モルタルミガキ	全上 プラスター下地 センイ壁塗 ベニヤ板 TⅡ ⑦5.5% モルタルミガキ	センイ壁塗 又はプラスター塗 全上 ベニヤ板 TⅡ ⑦5.5% モルタルミガキ	全上 （〃） 防火ベニヤ板底目地貼り ⑦3% 吊木φ60 ベニヤ板 TⅡ ⑦ % モルタルミガキ	（アラタメロ）有孔ボード貼り 暗幕金物取付2ケ 暗幕　2ケ 中段 タナ取付
塗装	木部，鉄部 OP 2回塗り　但し 和室の木部は クリヤーラッカー仕上　モルタルミガキ ポリマ 6000# イージーコート2回塗り					

特記仕様書

§ 一般事項

(1). 設計図書中記載なき場合は 特記仕様書 仕上表，設計図（設計図は詳細図優先）共通仕様書 の順で優先する。

(2) 工事中 35% カメラにて 係員の指示する個所の撮影をし 提出する事

(3). 竣工後，カラー写真 2面，撮影の上，四ツ切 各1部 提出する。

§ 仮設工事

(1) 仮囲 工事場周囲に 危険防止柵 取付

(2) 監督員詰所　2坪程度とし，石油ストーブ 机，イス，製図板，湯沸ポットを備える。

§ 土工事

(1). 根伐　所定の深さより 50cm 深く掘り，砂利置き換え，転圧を行うものとする。

(2). 栗石　地中梁 下面も 敷きバラスまきとする。

(3). 床土　花ダンに 5.0㎥程度盛土する。

§ 鉄筋コンクリート工事

(1). コンクリートの品質
a) 鉄筋コンクリート用，セメント量 317 kg/㎥ 使用
b). 無筋コンクリート用，セメント量 250 kg/㎥ 〃

(2). 生コンクリート使用 可　但し 事前に 係員の承認を受ける。

(3). 本特記仕様書，共通仕様書に現われていない部分は 学会の標準仕様書による。

§ 木工事

ラワン材 …… 柾目白身勝，色のバラツキ少ないもの。　米松 …… 無節，やにもち不可
アガチス …… その他

構造材 …… 外材

§ 左官工事

(1). リシン吹付 …… エマルリシン 又は キクスイリシン

(2) 人造石研出し …… 白セメント使用 色粉及び種石は 係員に見本提出，種石は 15% 以上の大きさ使用

(3) 防水工事 …… コンクリート面のレイタンス その他の よごれを良く取り除き 木ゴテにて水勾配にならい平滑に均す。
防水工事施工前，コンクリート面を充分に検査し 豆板，レイタンス不陸等は斫り取り 所定の防水工事施工
ユニロン防水第1仕様，カネボーゴーレックスA工法，のどちらかとする
仕様書通り 責任施工

(4) 防水モルタル塗 …… ミシケン防水液入り

(5) 床，タイル下地 …… 所定の高さで水平良く 平たんに金ゴテ仕上とする。

§ 雑工事

(1). ソフト巾木 又は ゼニラート巾木 使用

(2). 室名札　枠はホワイトブロンズ，板はアクリライト 字を書く。プロパン置場は 赤字で「火気厳禁」と記入

(3) 文字板　大理石（黒） 150×450　文字は 7字 又は 5字 埋込み.

§ 塗装工事　日本ペイント，関西ペイント

材料は密封のままとし 商標品名 JISマーク 製造 年月日等の明記のあるものを搬入する。
下塗は色を違えて 塗ること。

追記　各材料は，明記されたものの他，同等品以上のもので，係員の承認を受けたものを使用の事

外部廻り サッシュは 全て アルミサッシュとする

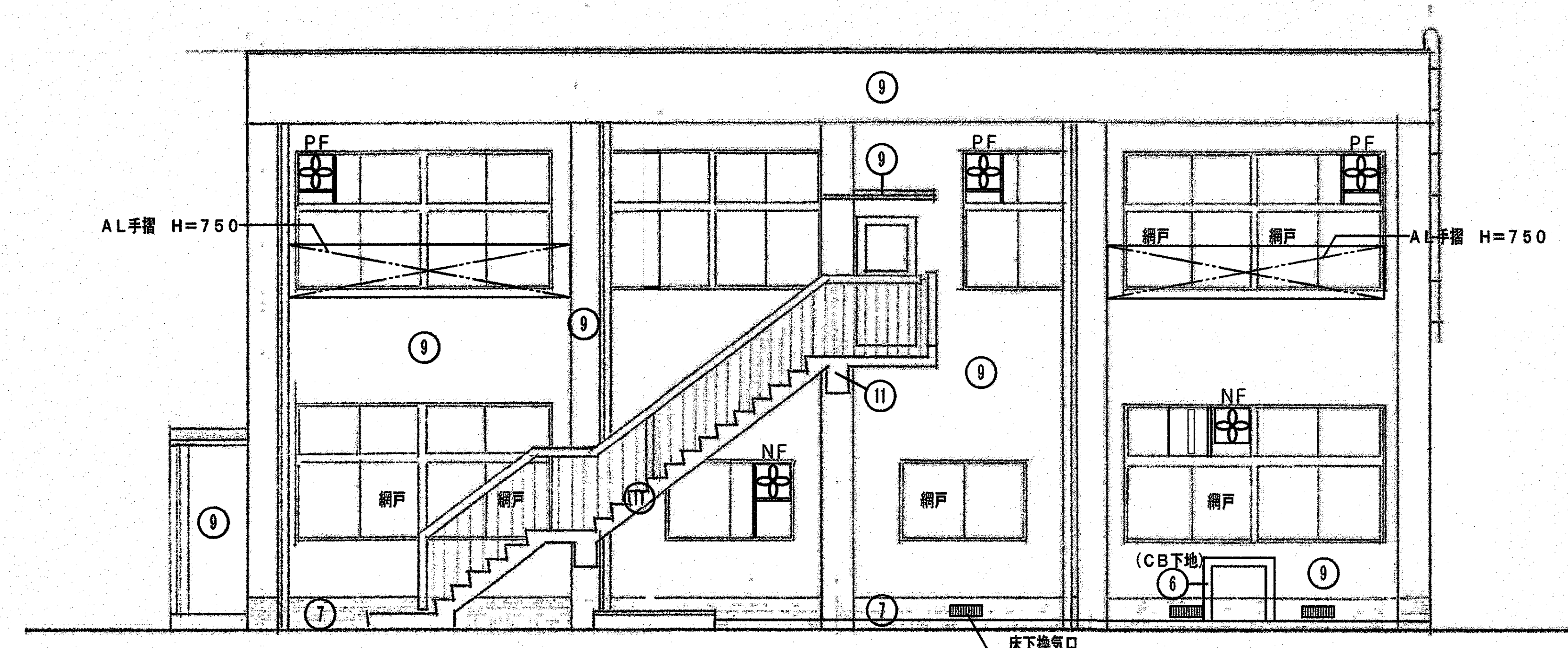
参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

海老川市民会館解体工事		
建築解体図	既存特記仕様書・仕上表	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/−	SHEET NO 解－5

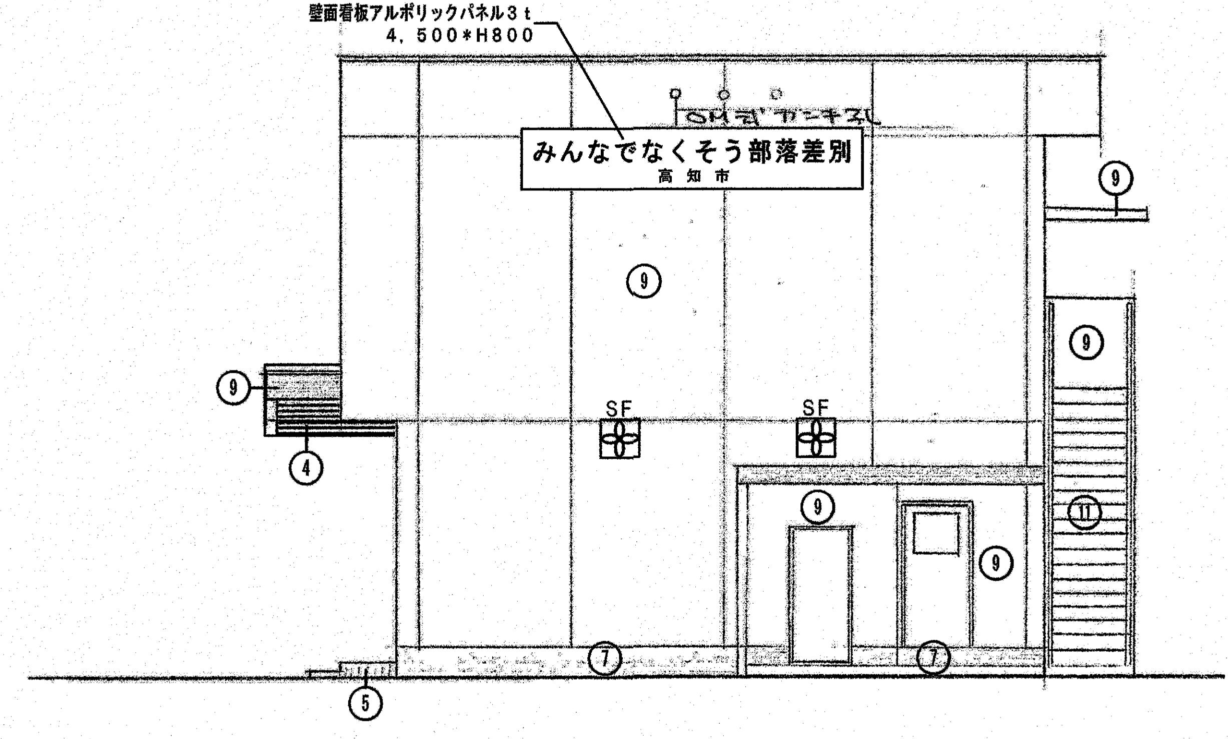
㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第196852号 田 中 健 一	DRAWN BY	CHECKED BY

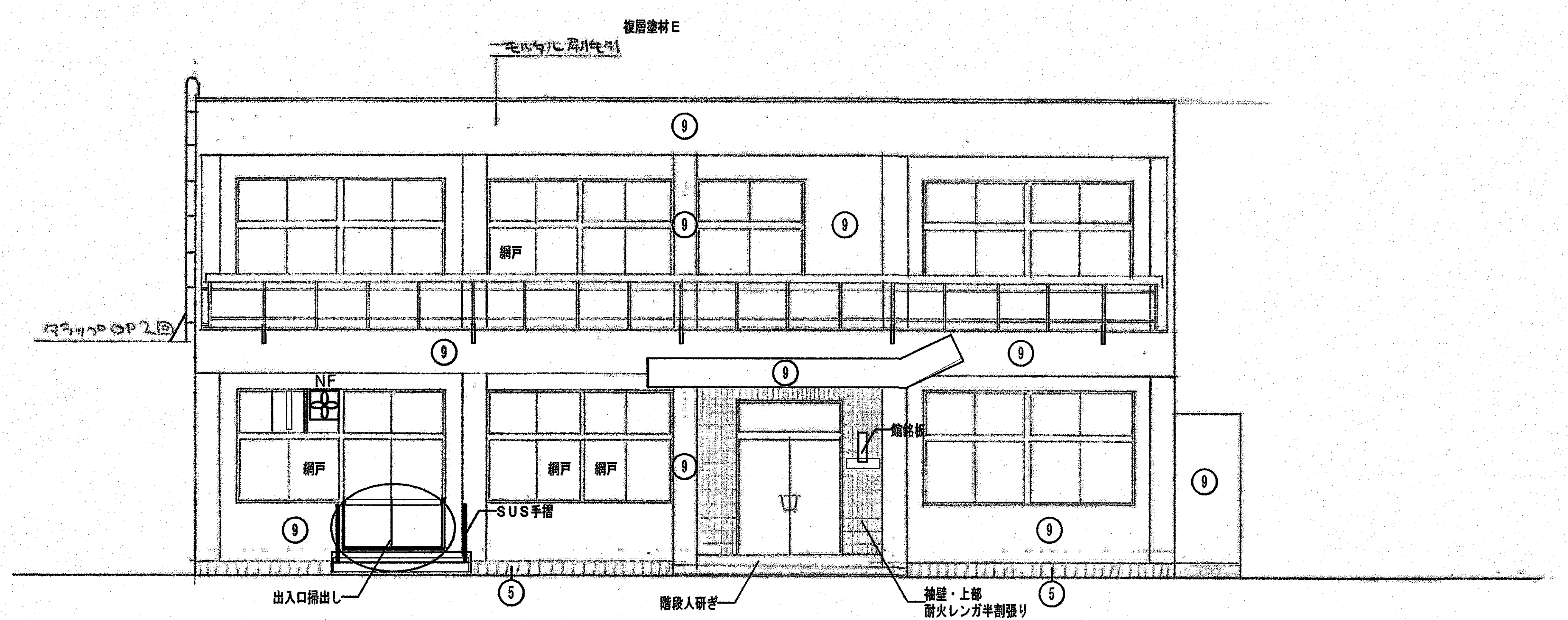


※屋外階段の手摺は現況と相異により別図参照

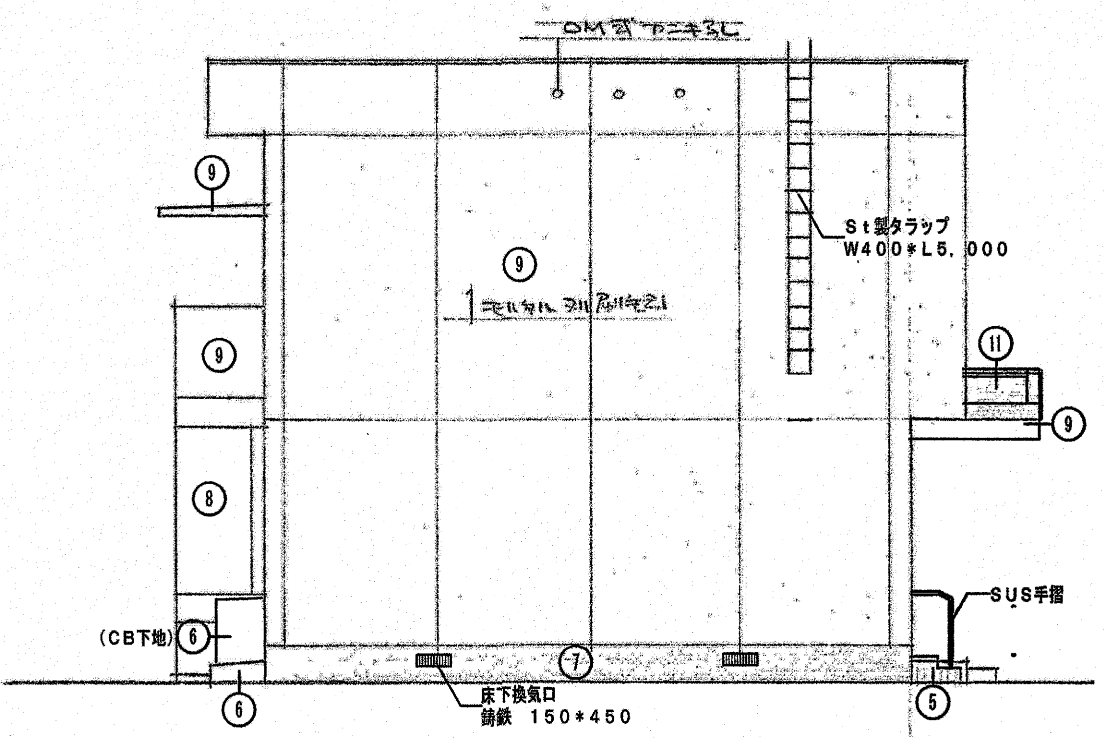
北立面図 1/100



東立面図 1/100



南立面図 1/100



西立面図 1/100

外部仕上記号

④ カラー鋼板0．3tスパンドレル張り
⑤ 赤レンガ積み210*100*60t
⑥ モルタル塗りのまま
⑦ モルタル刷毛引のまま
⑧ モルタル刷毛引外装薄塗材E（砂壁状）
⑨ モルタル刷毛引複層塗材E
⑩ 予備
⑪ モルタル塗りFRP防水

換気扇凡例

⊞ 換気扇を示す
SF 鋼板製フードを示す
PF 樹脂製フードを示す
NF フード無しを示す

※網戸の種別はサラン

参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

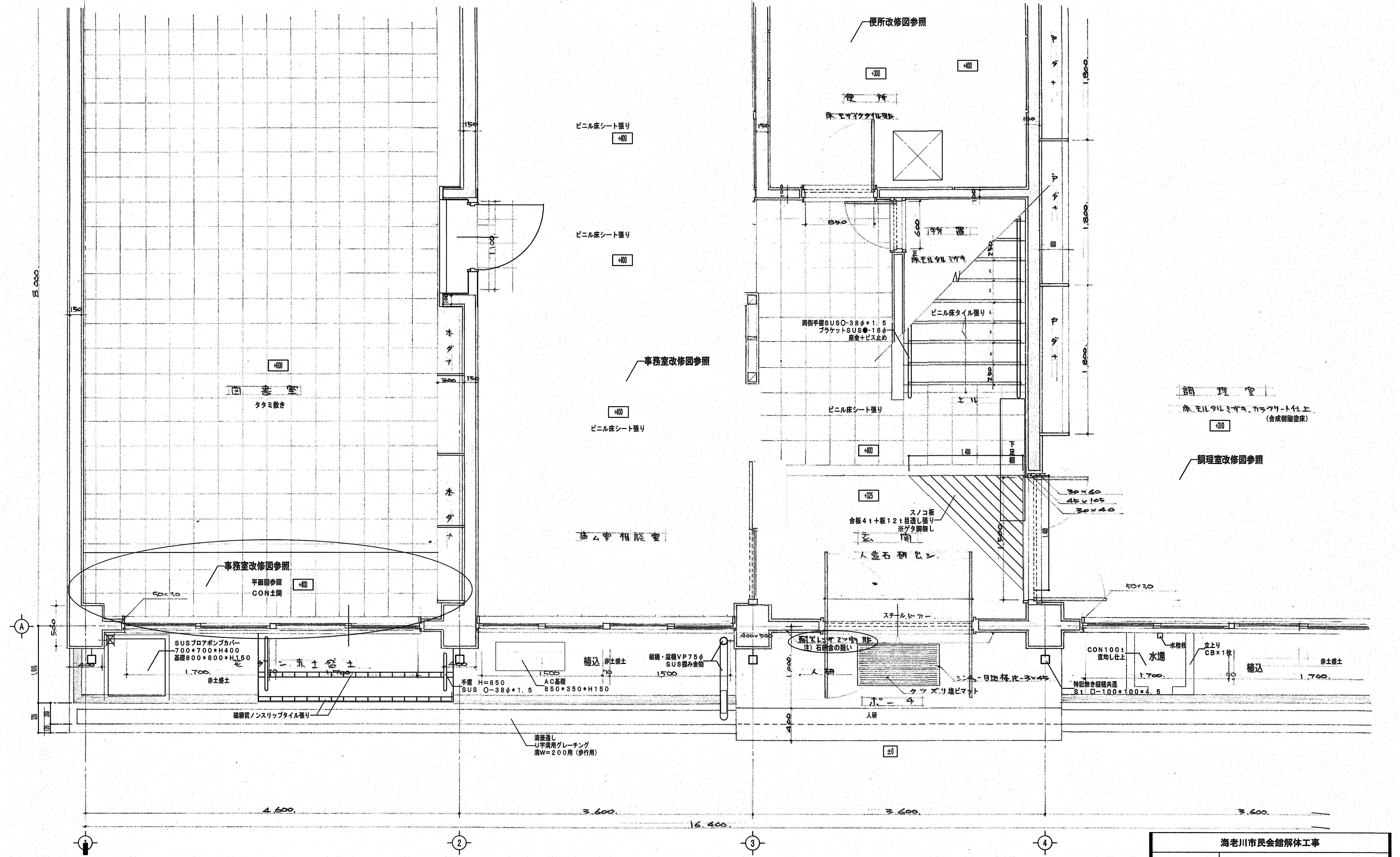
海老川市民会館解体工事

建築解体図 立面図

DATE/ 2026/8 SCALE/ 1/100 SHEET NO 解ー6

㈱ A S A 設計事務所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第196852号
田中健一
DRAWN BY
CHECKED BY



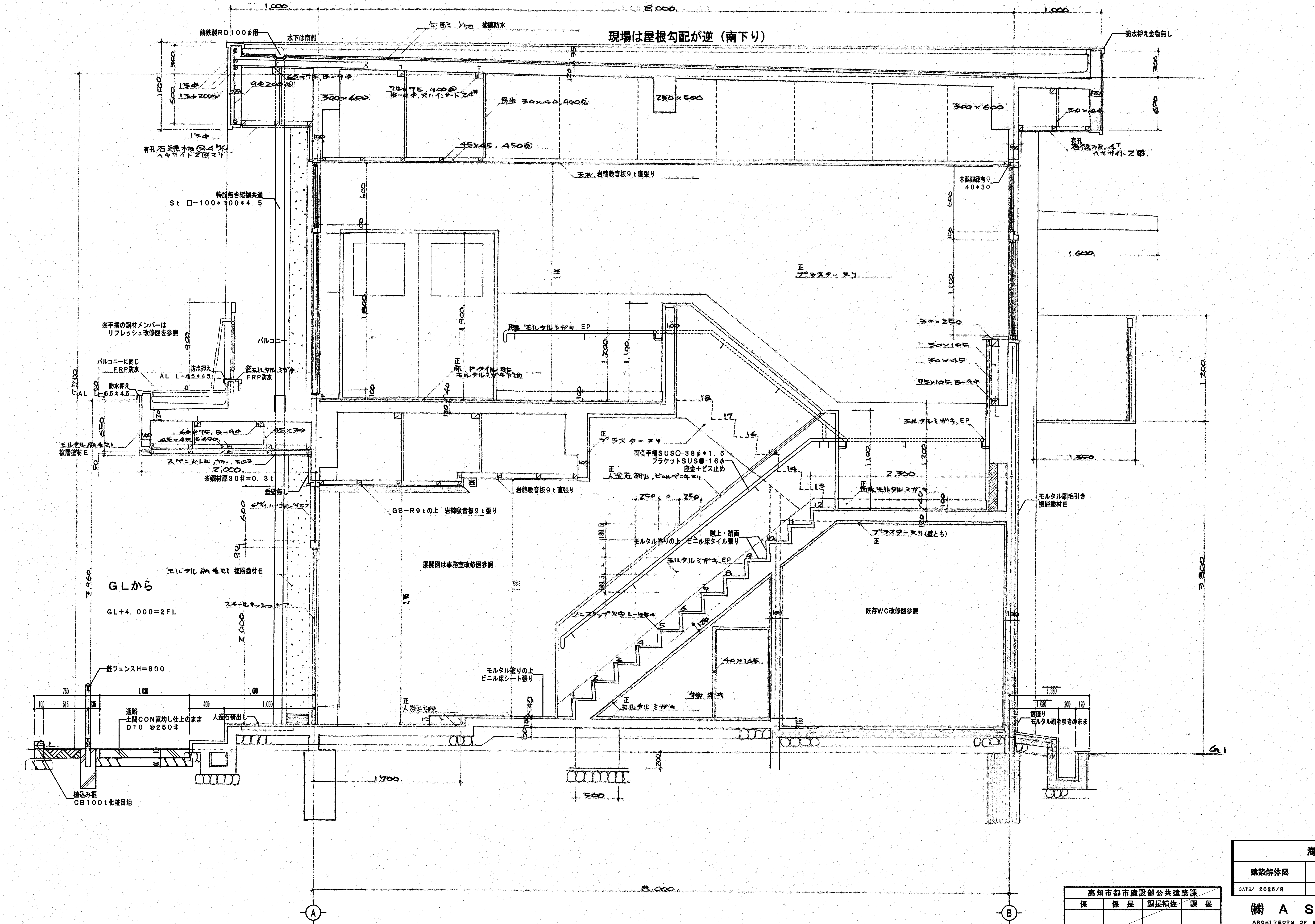
高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

参考図

海老川市民会館解体工事		
建築解体図	平面詳細図	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/30	SHEET NO 解－7

㈱ ＡＳＡ設計事務所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第196852号		
田中健一	DRAWN BY	CHECKED BY



参考図

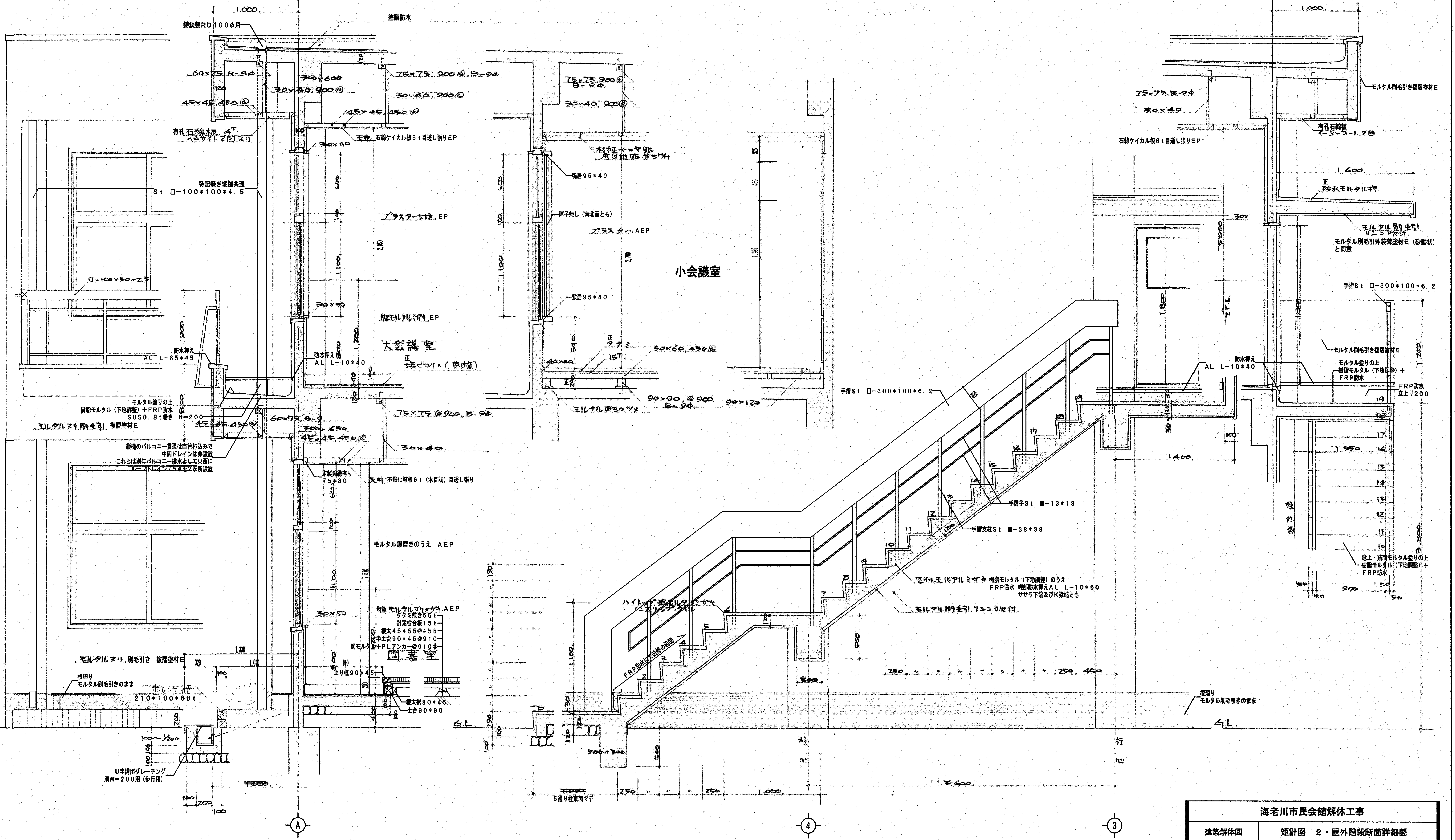
海老川市民会館解体工事

建築解体図	矩計図 1	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/30	SHEET NO 解−8

㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822−5797 (代)
FAX (088) 822−5799

一級建築士大臣登録第196852号		
田 中 健 一	DRAWN BY	CHECKED BY

高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長



参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長

海老川市民会館解体工事

建築解体図

矩計図　2・屋外階段断面詳細図

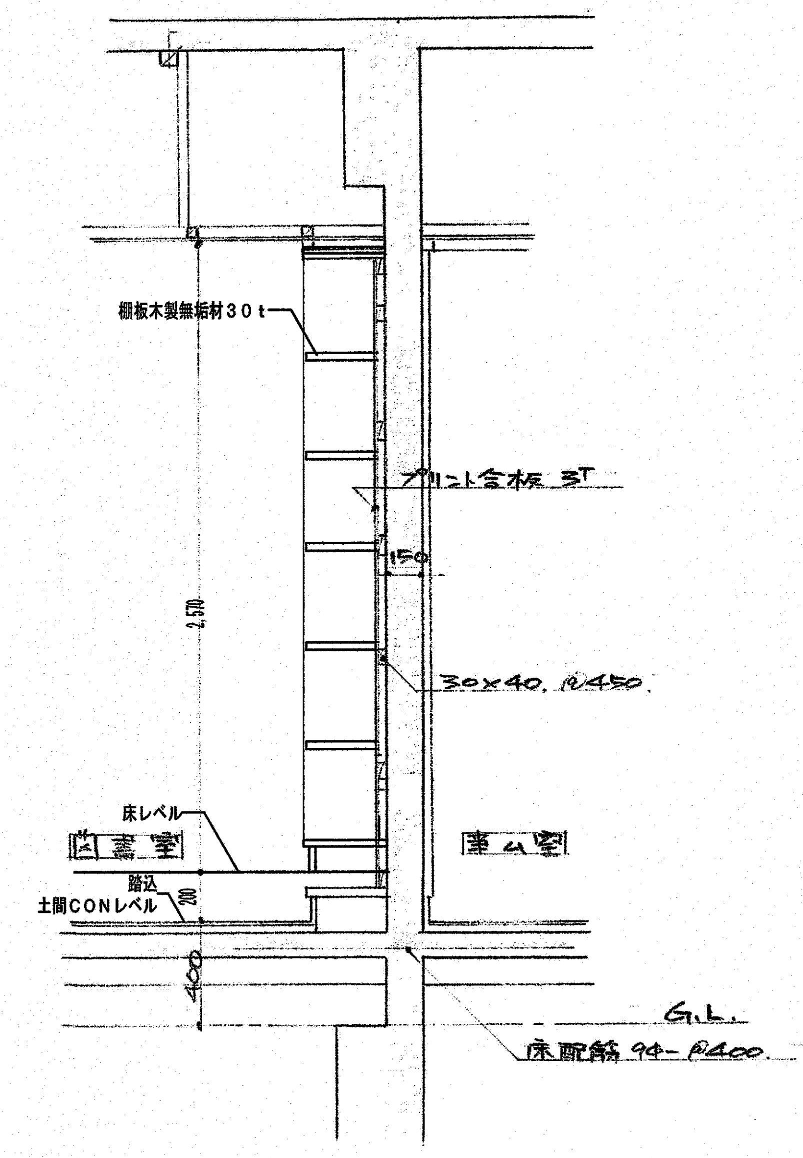
DATE/ 2026/8

SCALE/ 1/30

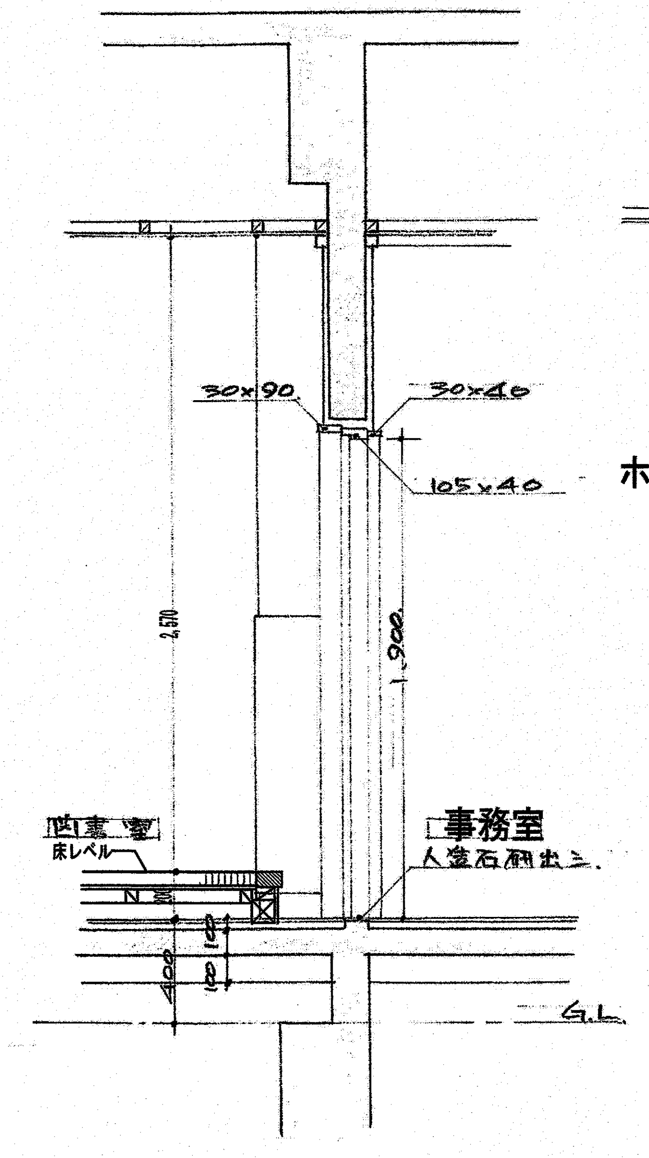
SHEET NO 解−9

㈱ＡＳＡ設計事務所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

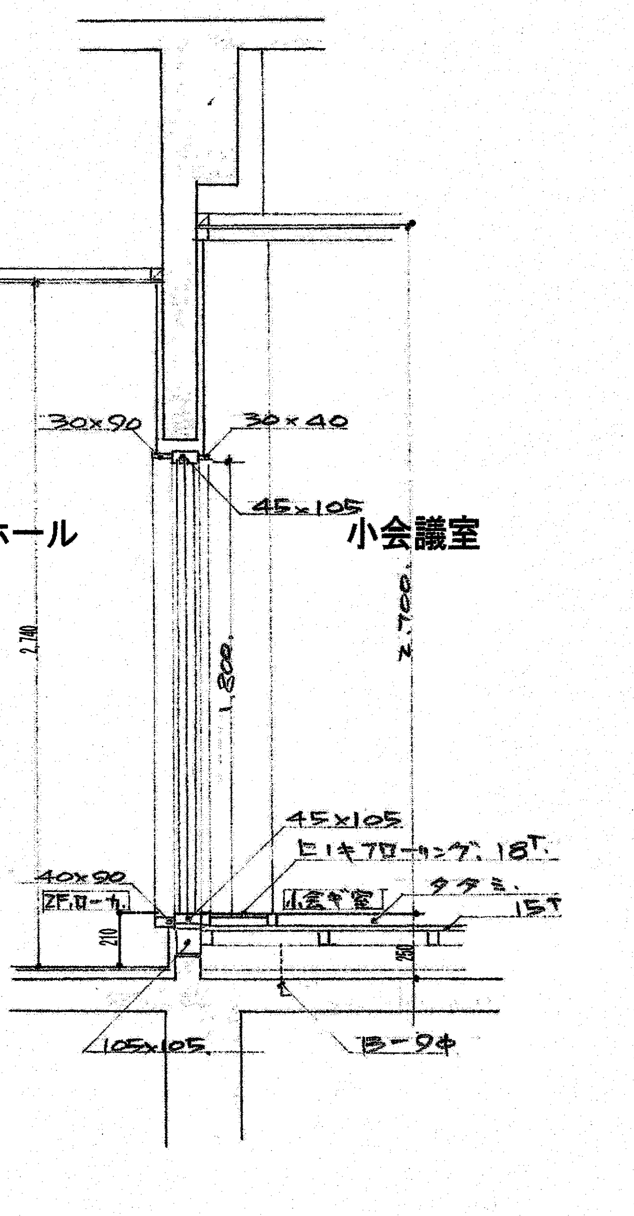
一級建築士大臣登録第196852号
田中健一
DRAWN BY
CHECKED BY



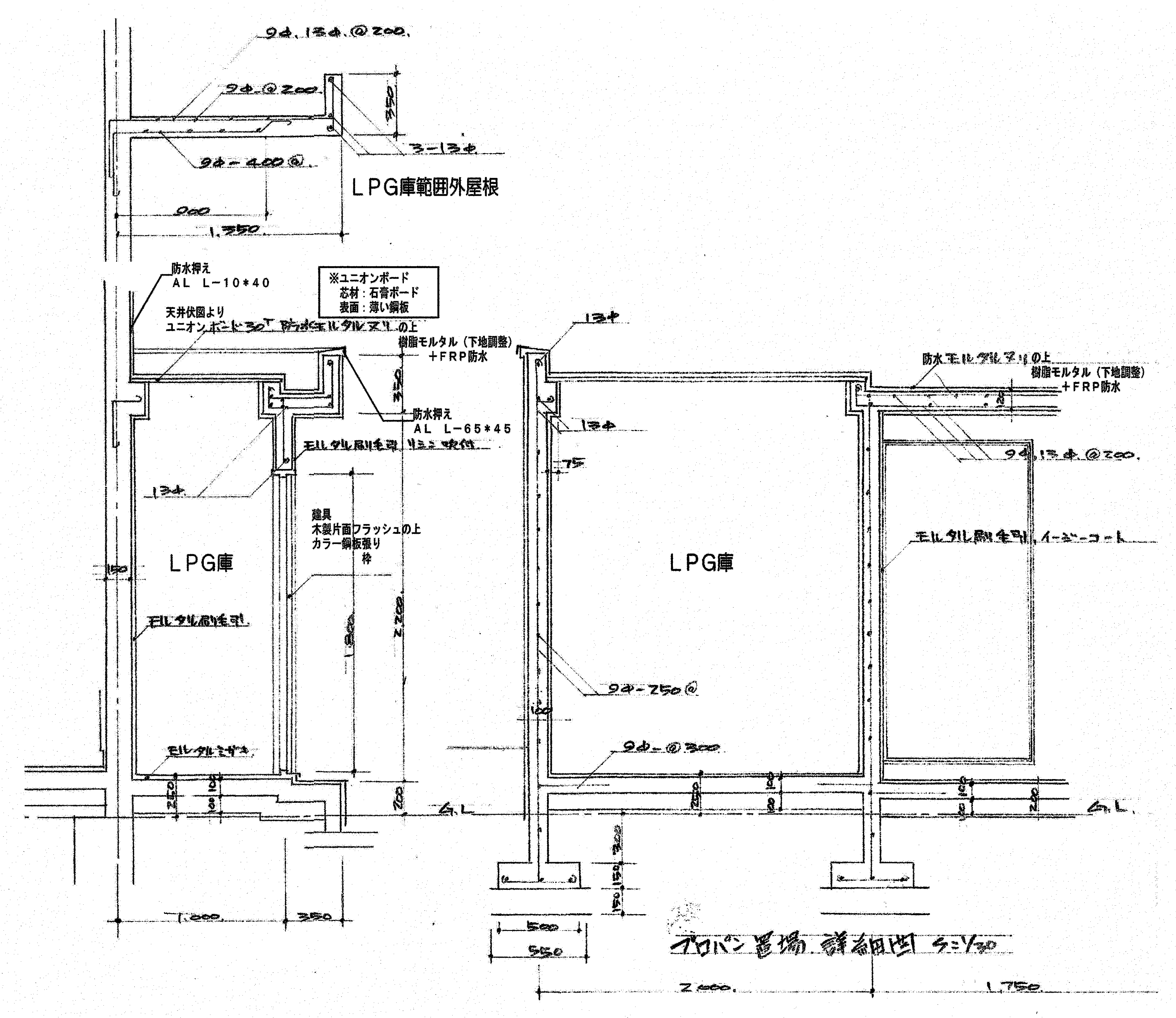
図書室木タナ詳細図 S=1/30



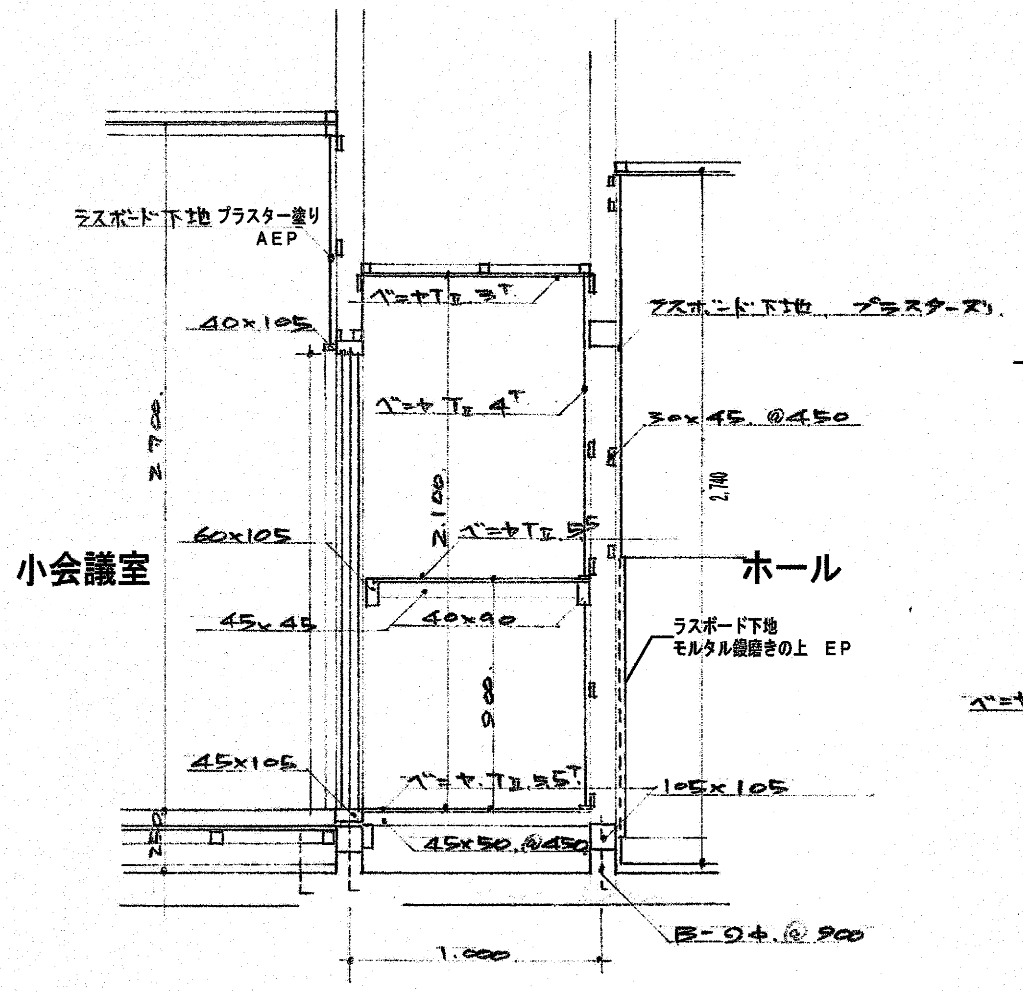
図書室出入口詳細図 S=1/30



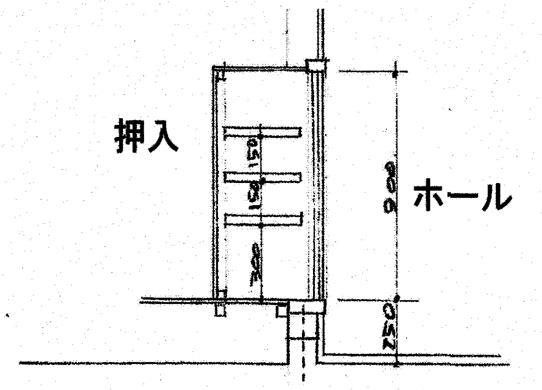
2階小会ギ室出入口 S=1/30

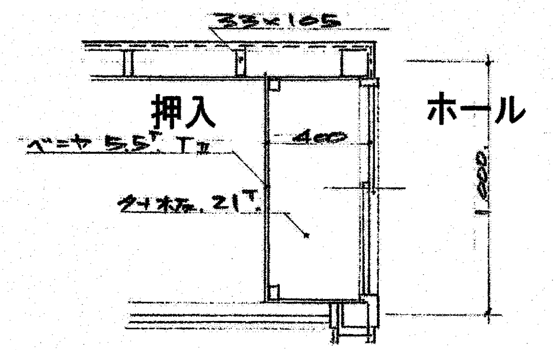


プロパン置場 詳細図 S=1/30



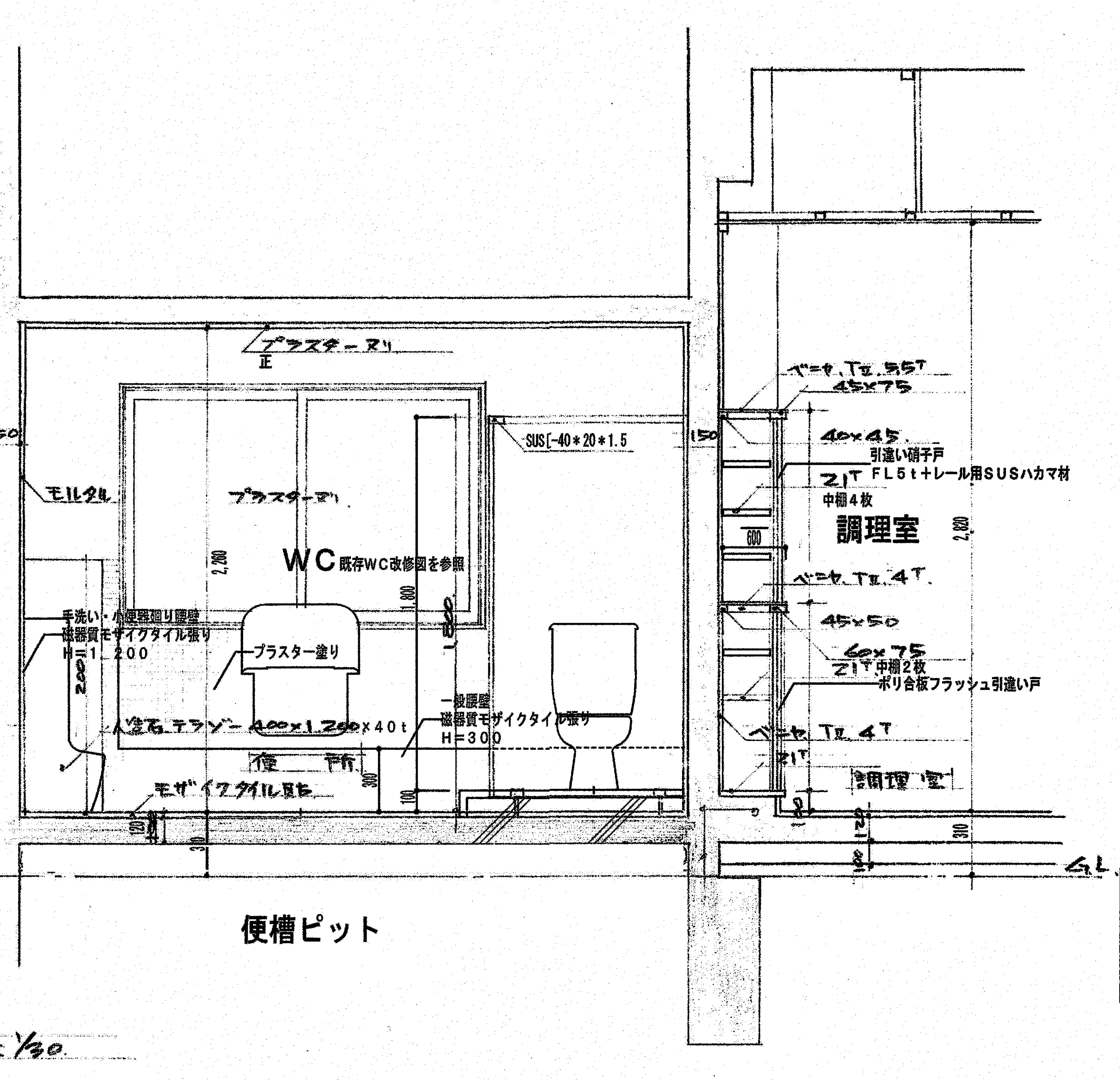
押入詳細図 S=1/30





正
押入下部箱平面 S=1/30

事務室
事務室改修図参照



便所台所 S=1/30

参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

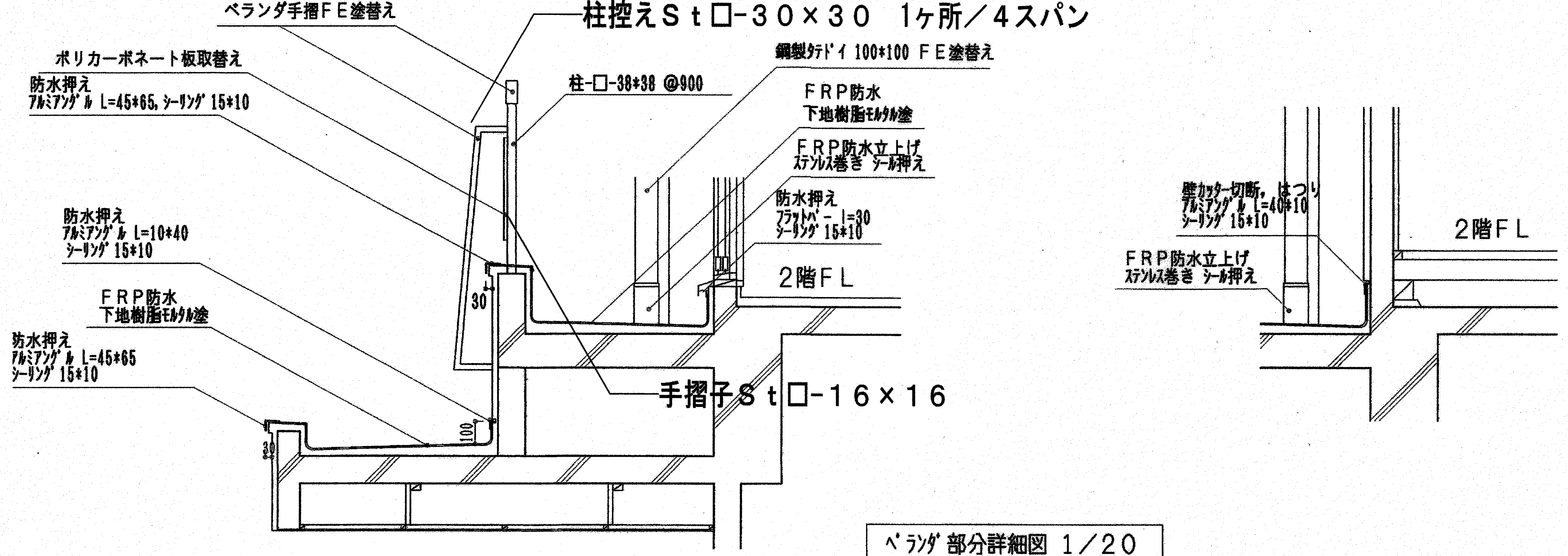
海老川市民会館解体工事

建築解体図	各部詳細図

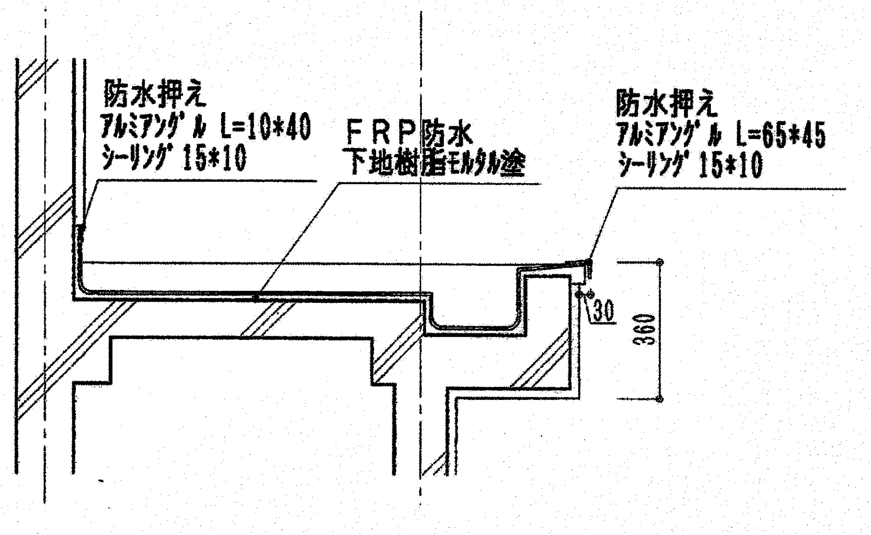
DATE/ 2026/8 SCALE/ 1/30・100 SHEET NO 解－10

㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

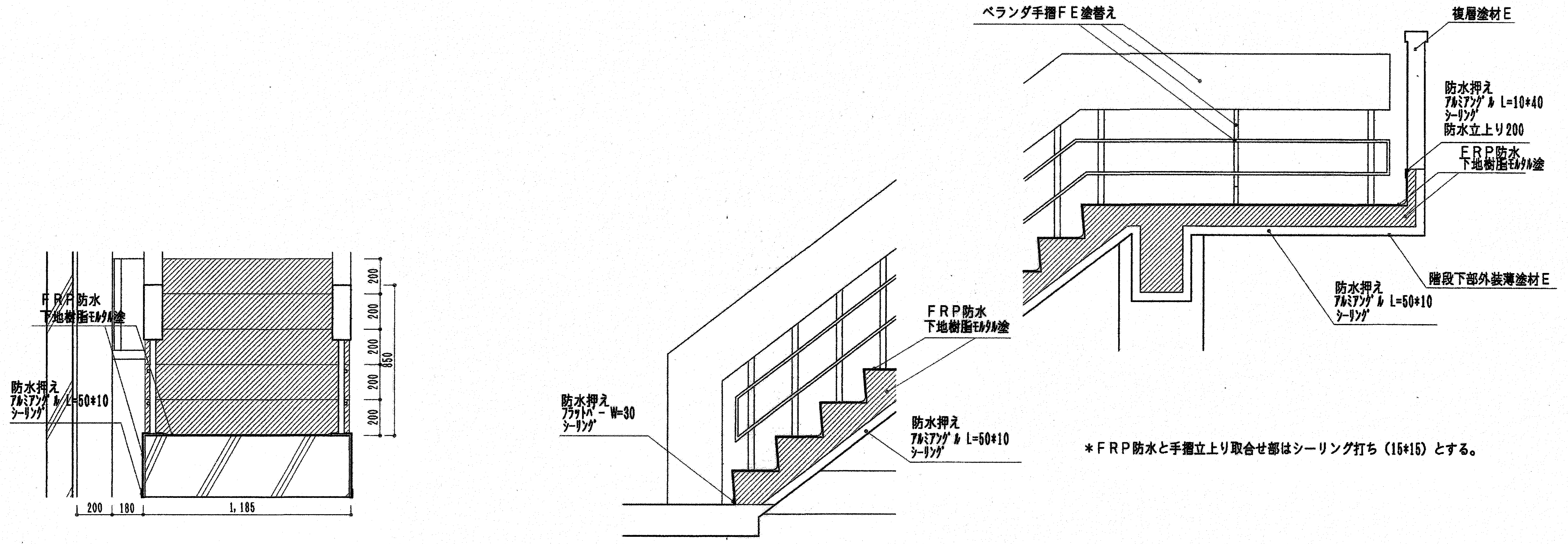
一級建築士大臣登録第196852号
田中健一
DRAWN BY
CHECKED BY



ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ部分詳細図 1／20



ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ庫部分詳細図 1／20



＊ＦＲＰ防水と手摺立上り取合せ部はシーリング打ち（15*15）とする。

屋外階段部分詳細図 1／20

参考図

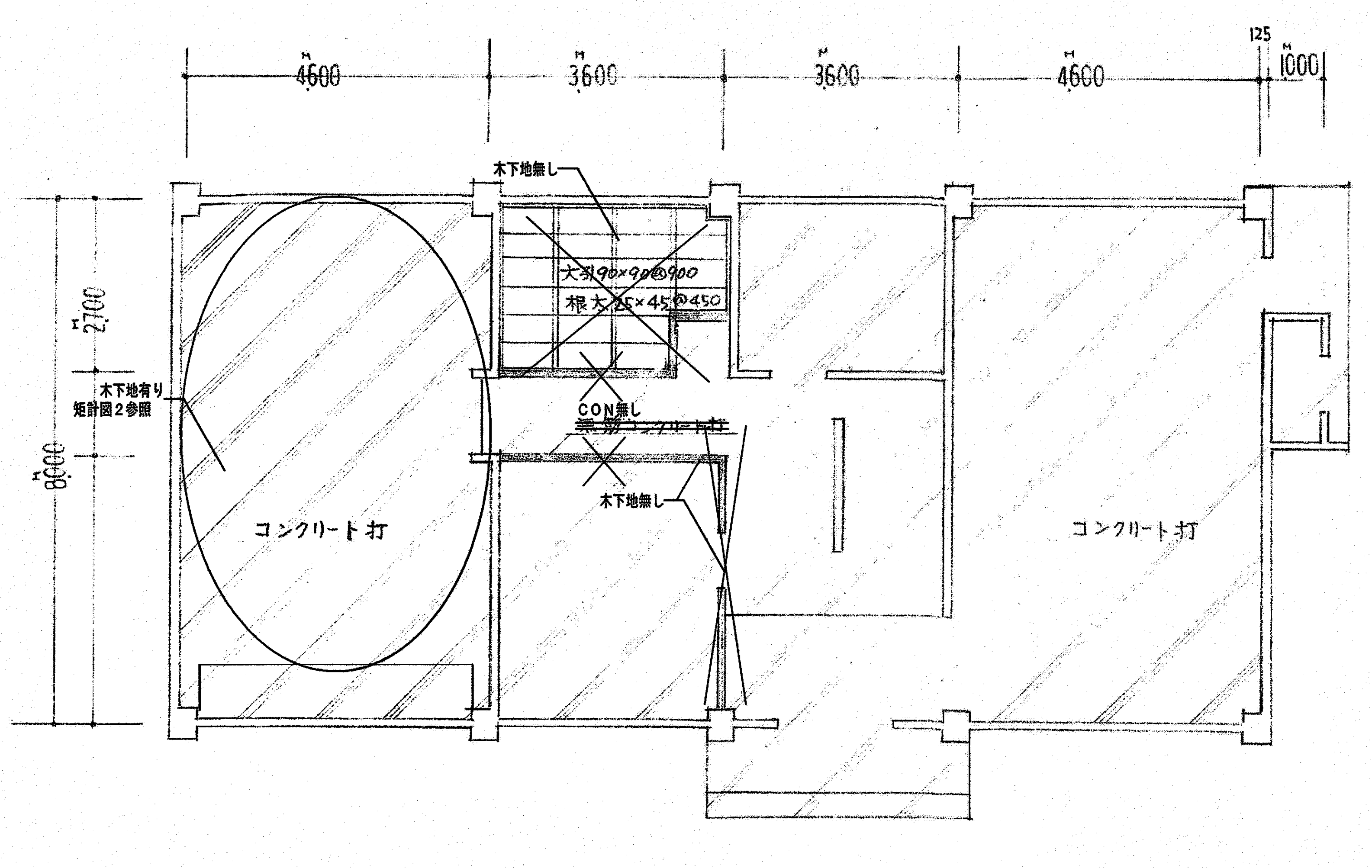
高知市都市建設部公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長

海老川市民会館解体工事

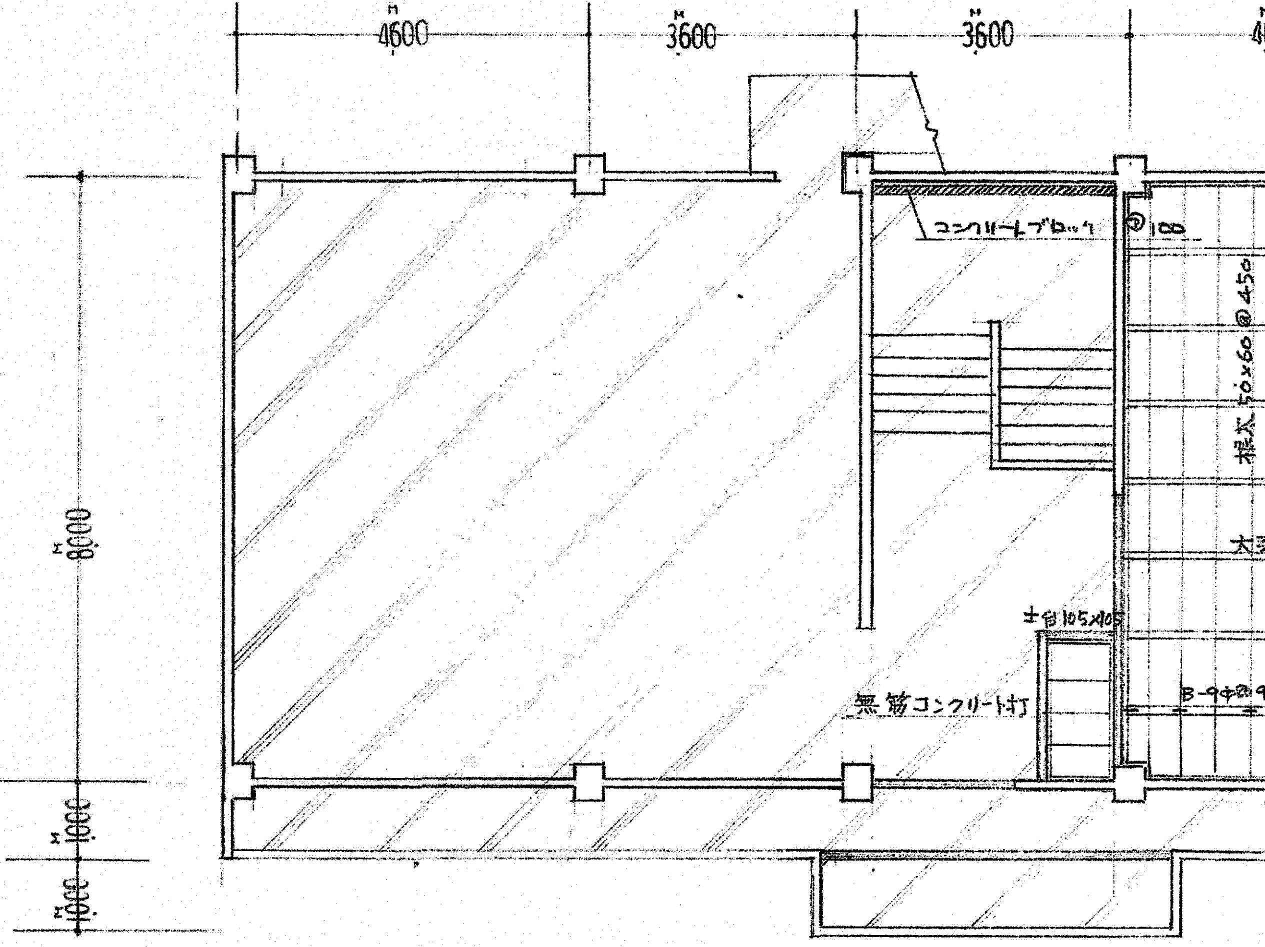
建築解体図	改修詳細図（外部リフレッシュ改修時設計図）	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/20	SHEET NO 解ー１１

㈱ Ａ Ｓ Ａ 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第１９６８５２号		
田 中 健 一	DRAWN BY	CHECKED BY

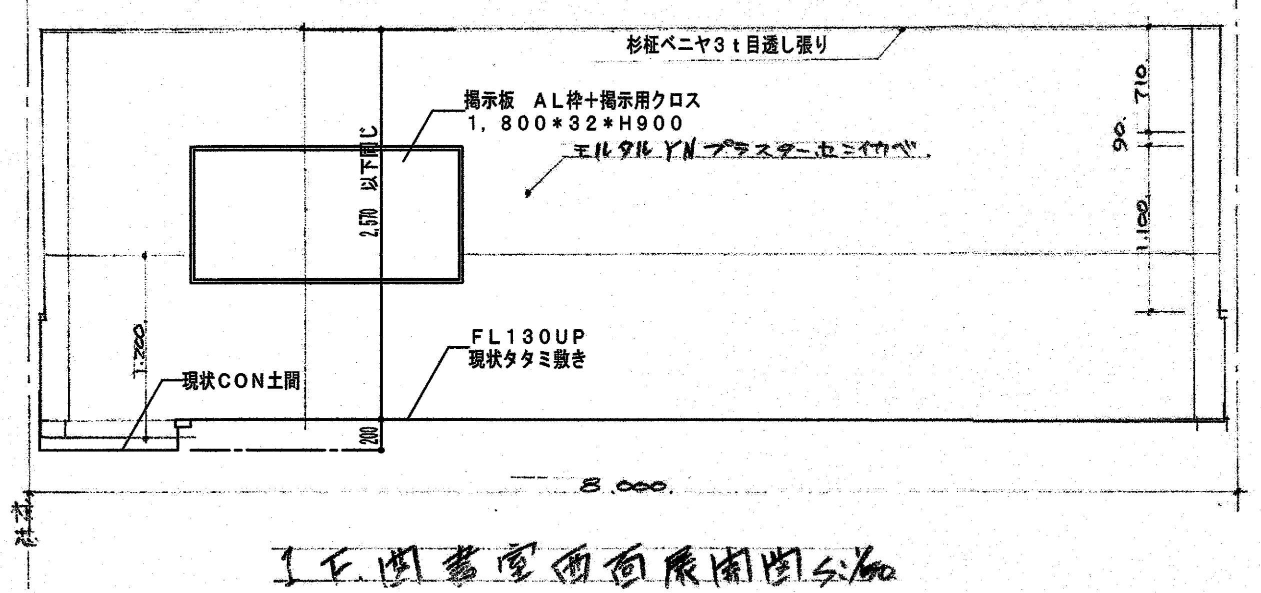


1 階 床 伏 図 SCALE 1/100

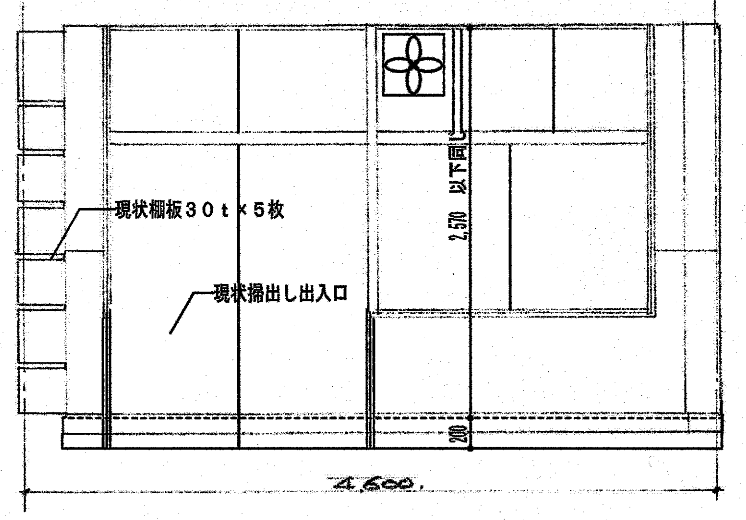


2 階 床 伏 図 SCALE 1/100

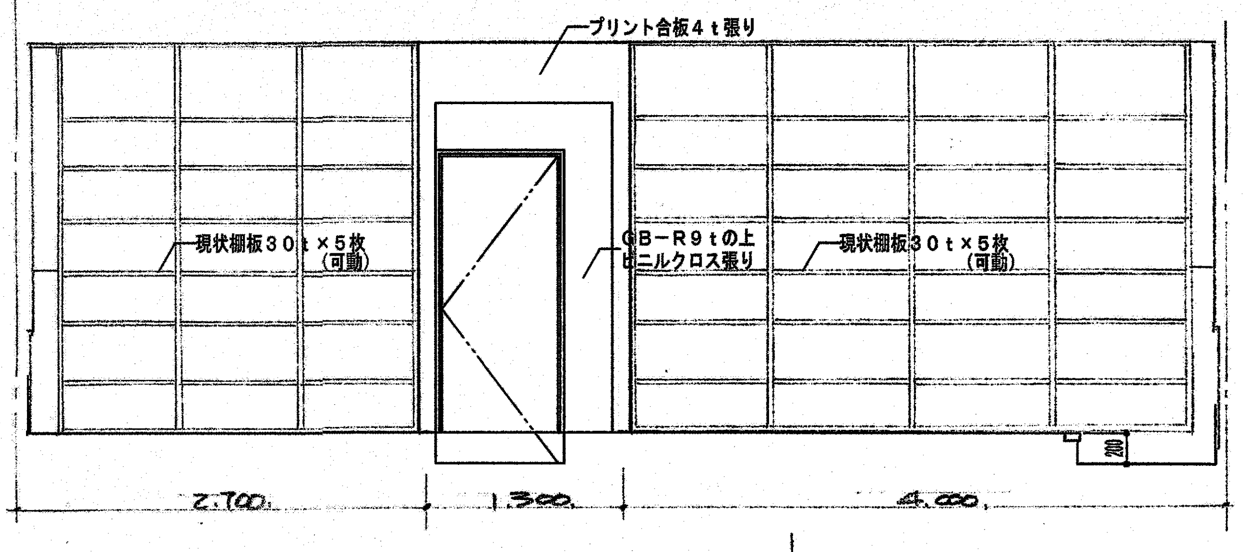
展開図 1/50



1F.図書室西面展開図 S=1/50

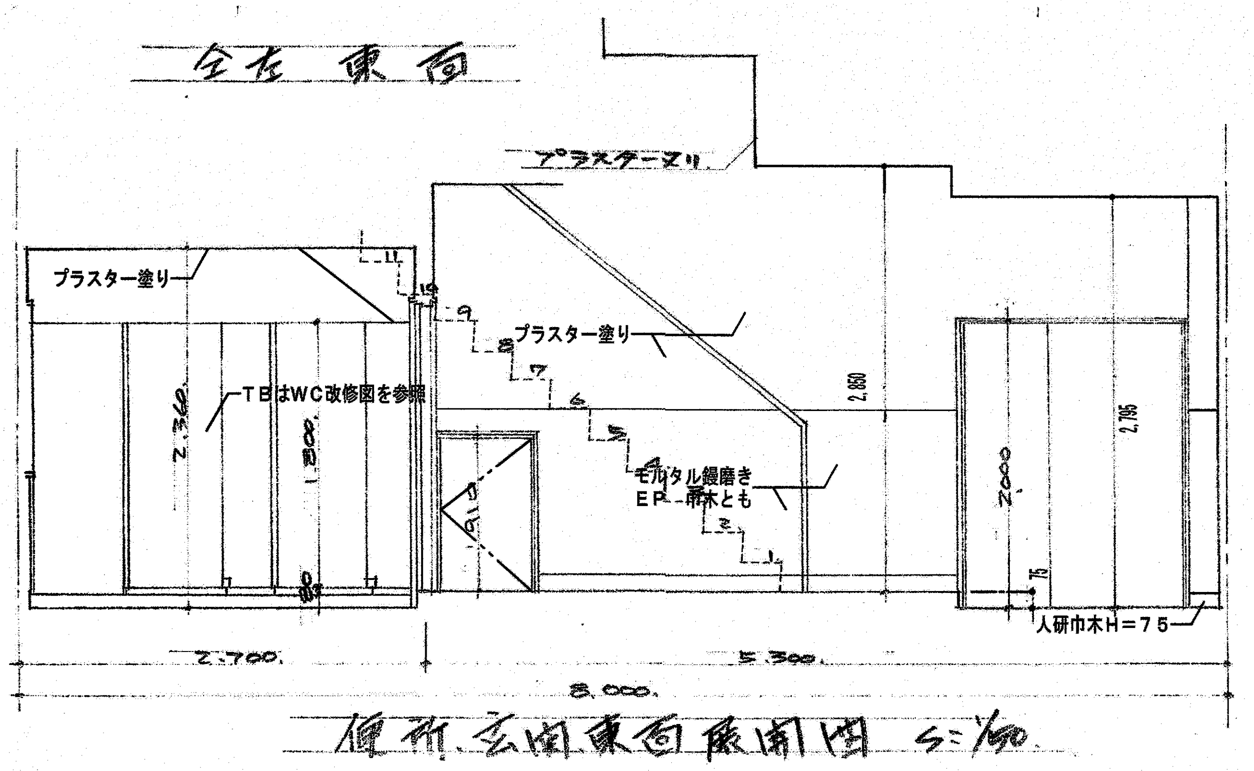


仝左　南面

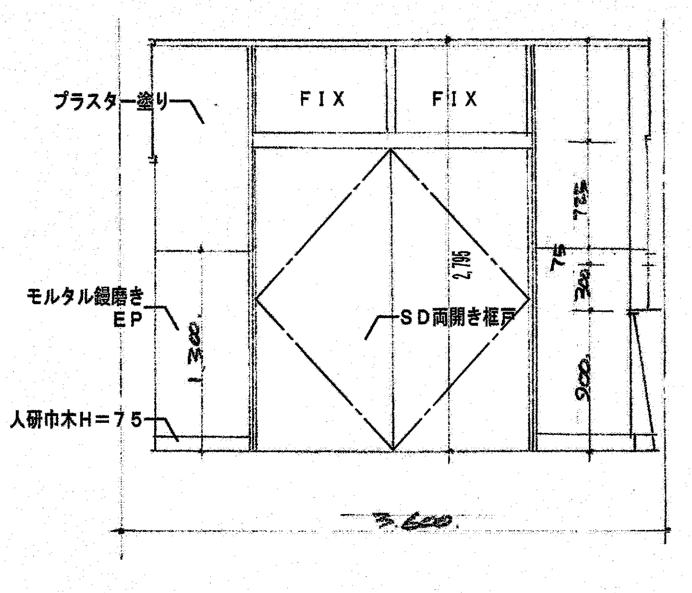


仝左　東面

仝左　東面



便所.玄関東面展開図 S=1/50



玄関南面展開図 S=1/50

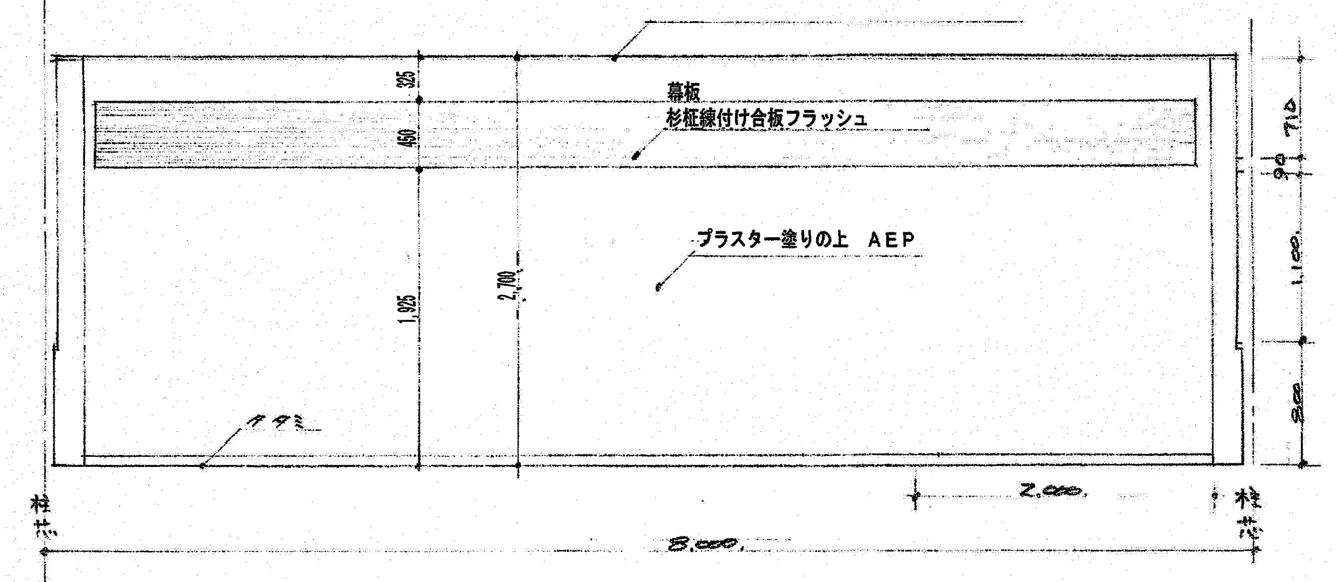
参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長

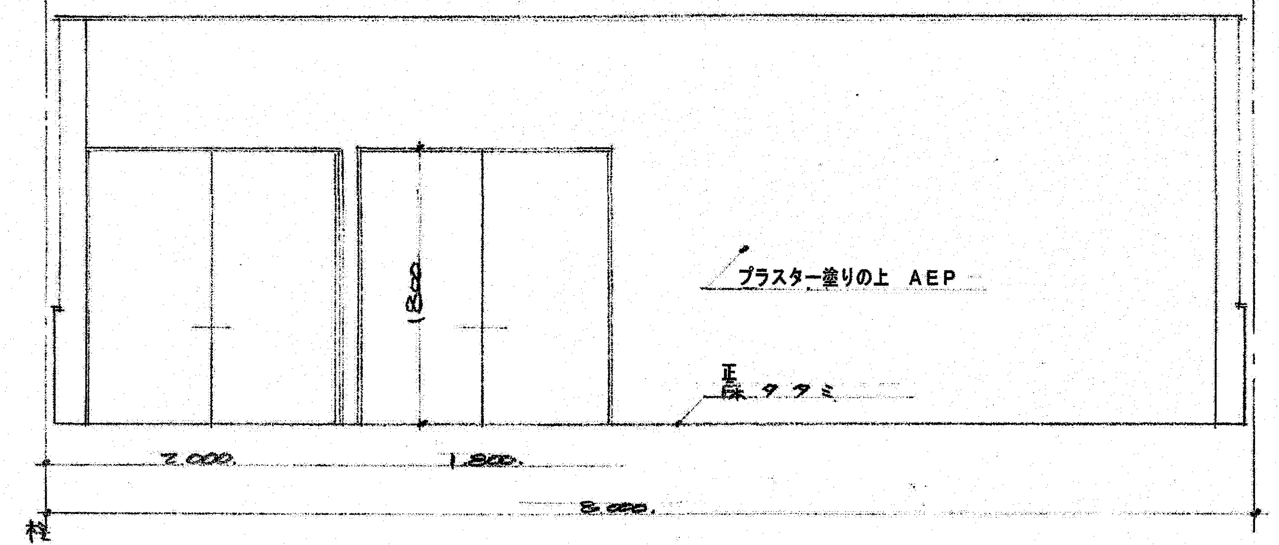
海老川市民会館解体工事		
建築解体図	各階床伏図・展開図　1	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/50	SHEET NO 解－１２

㈱ ＡＳＡ設計事務所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

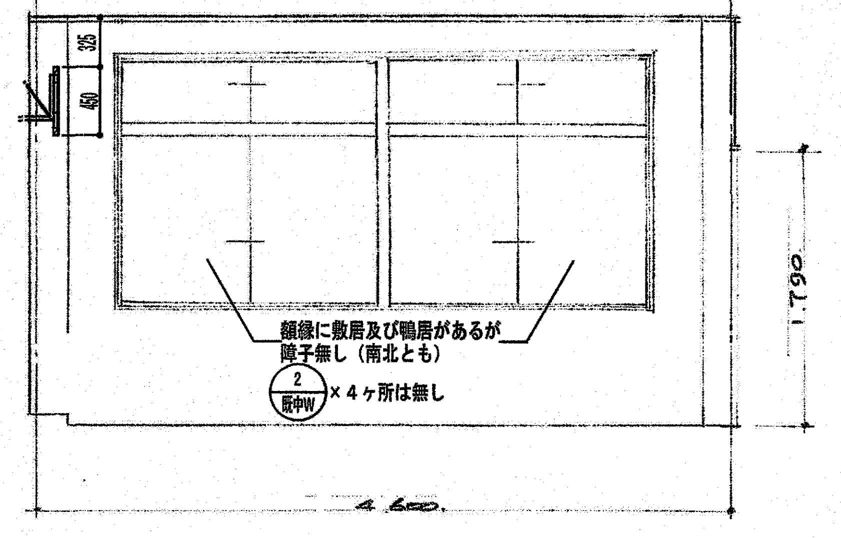
一級建築士大臣登録第１９６８５２号		
田 中 健 一	DRAWN BY	CHECKED BY



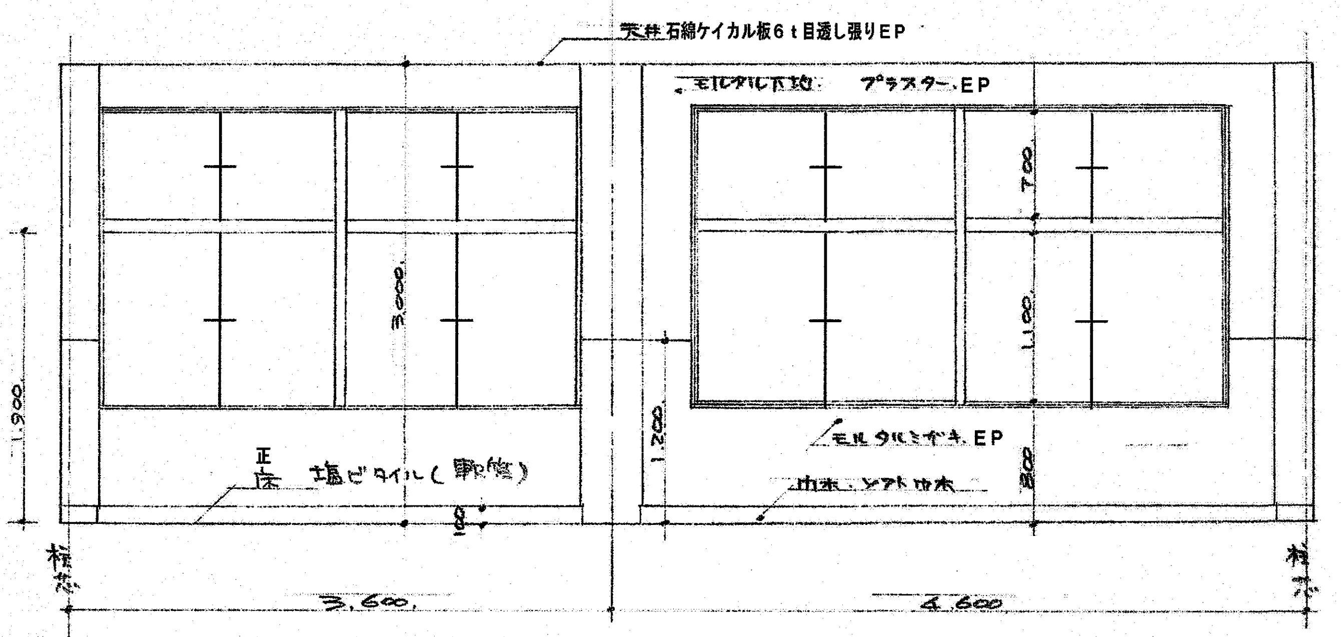
2F.小会議室東面展開図 S1/50



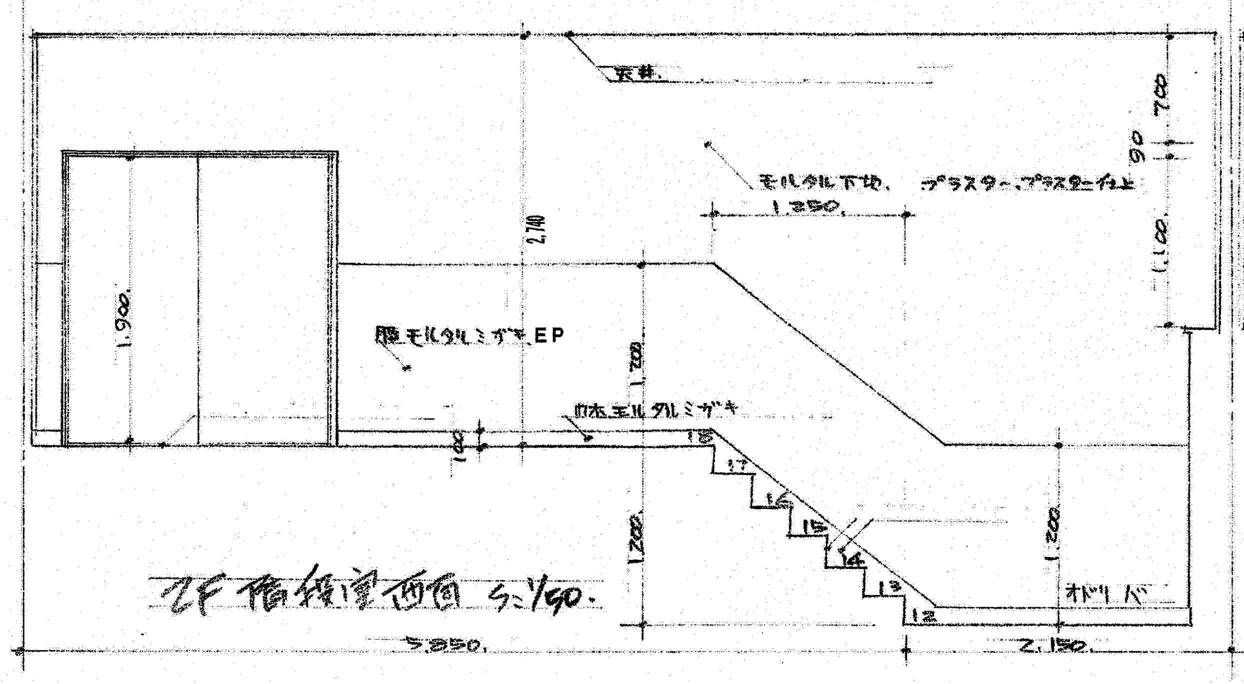
仝右 西面



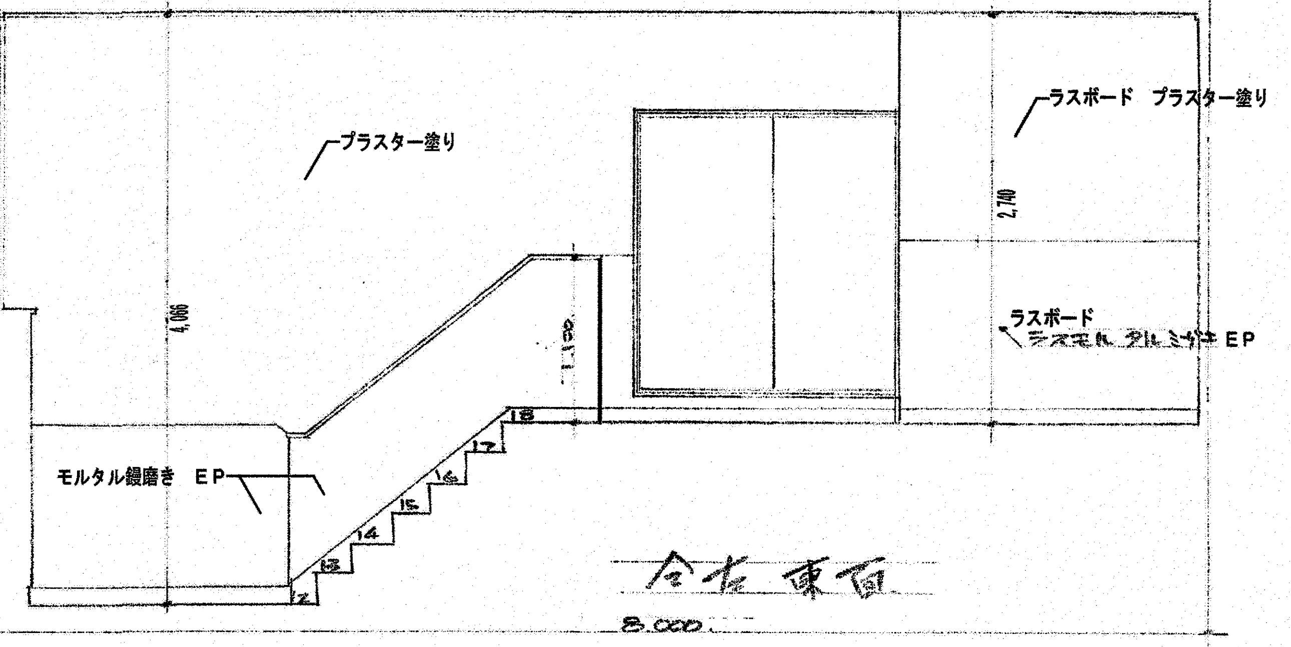
仝右 南面



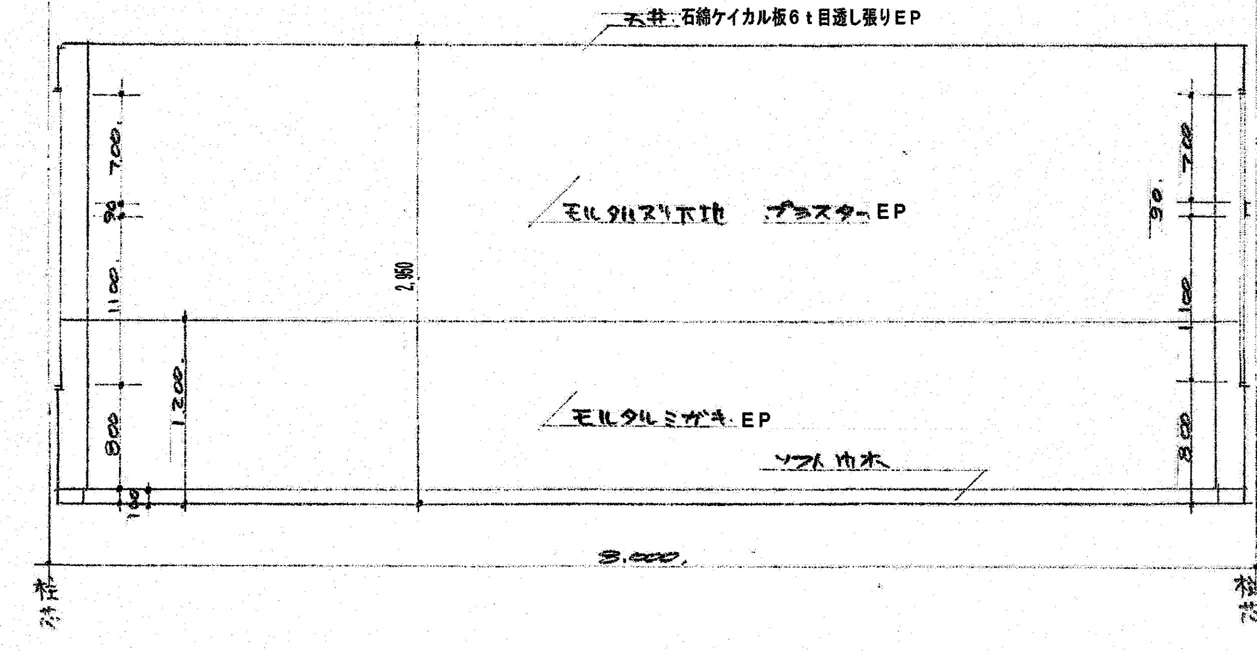
2F.大会議室南面展開図 S1/50.



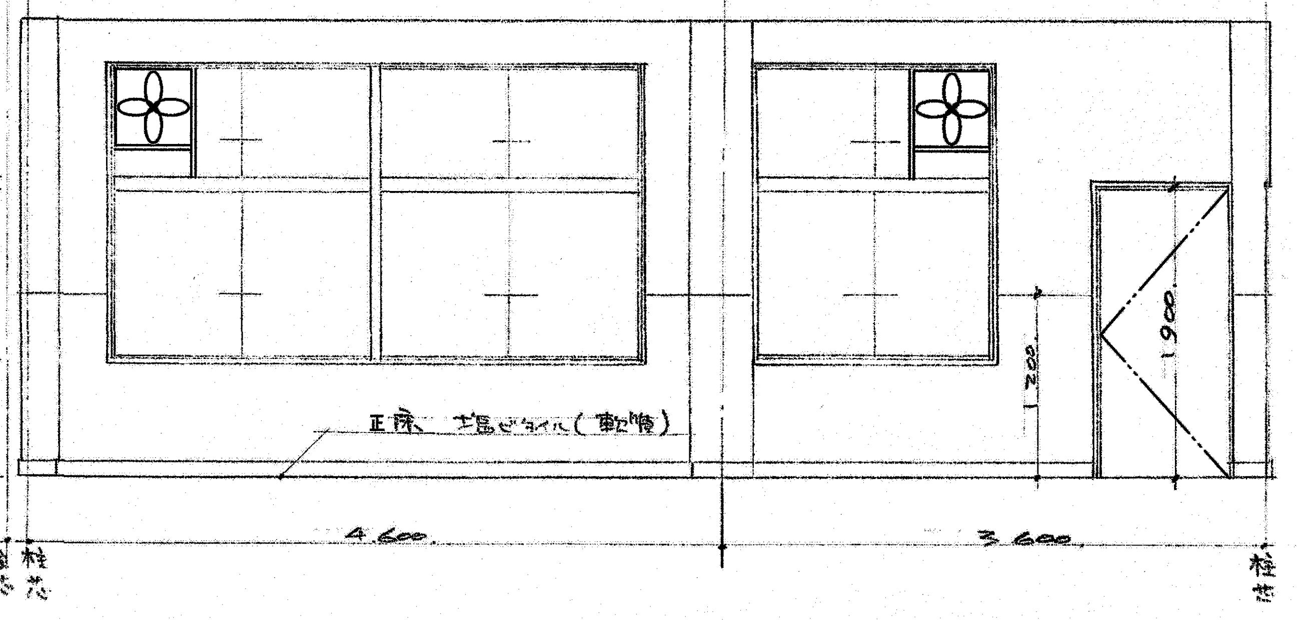
2F 階段室西面 S1/50.



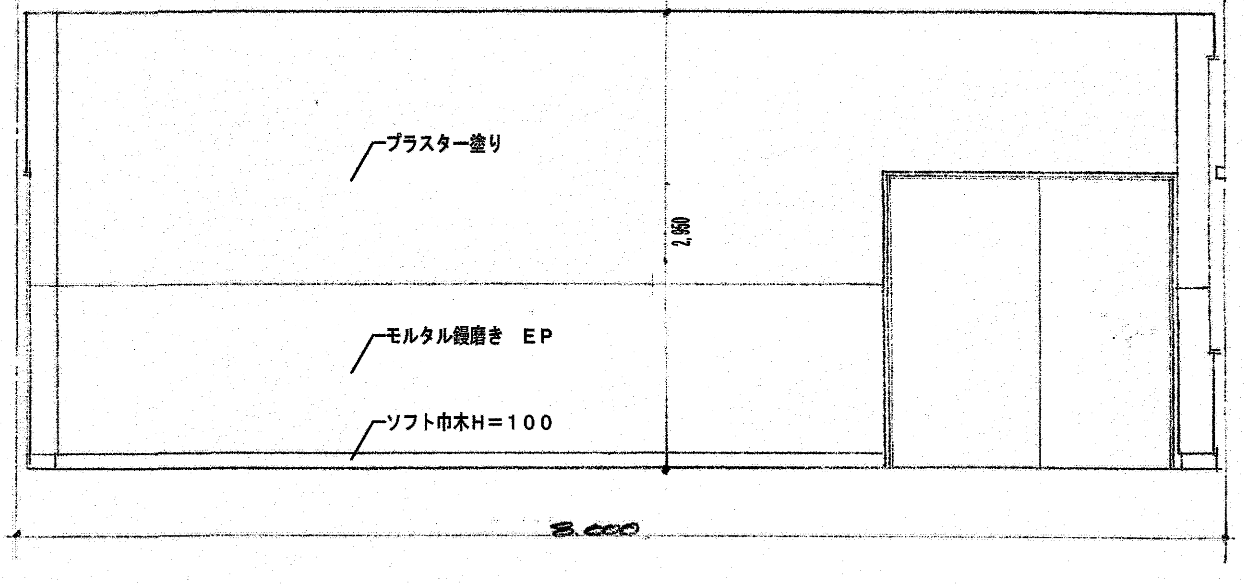
仝右 東面


天井 石綿ケイカル板６ｔ目透し張りEP
モルタルズリ下地　プラスターEP
モルタルミガキ.EP
ソフト巾木
2,950
700
90
1,100
1,200
800
8,000.
柱芯

2F.大会議室西面展開図 S1/50



仝右 北面



仝右 東面

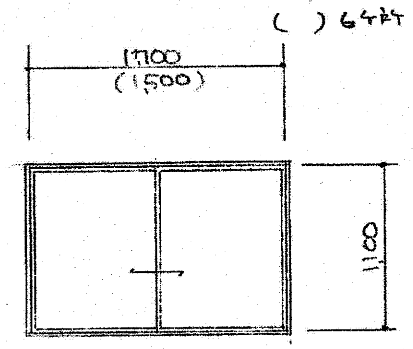
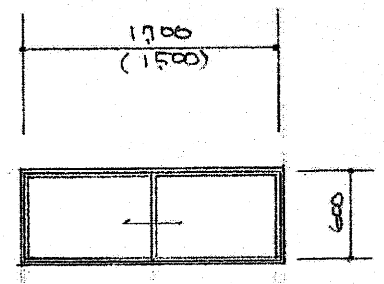
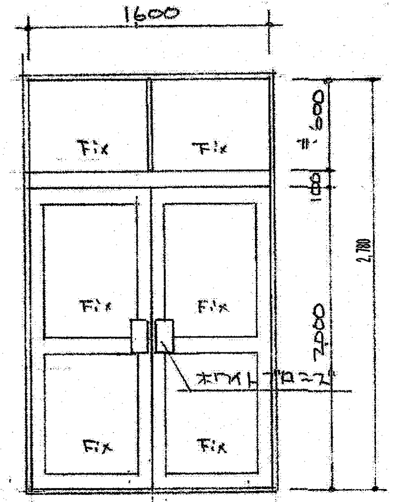
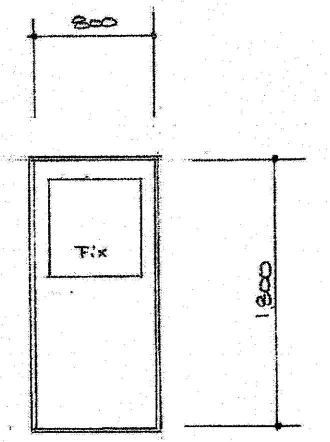
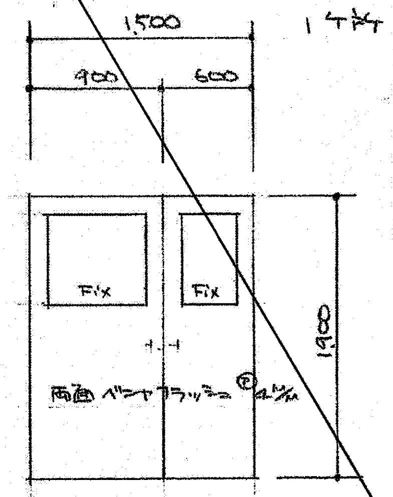
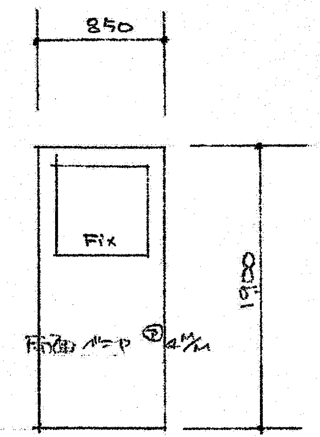
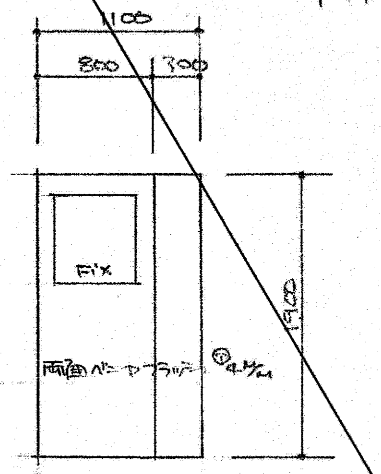
参考図

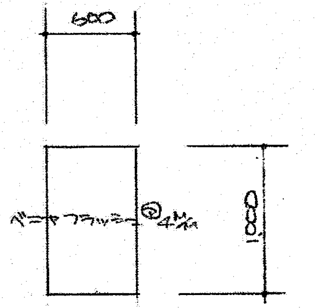
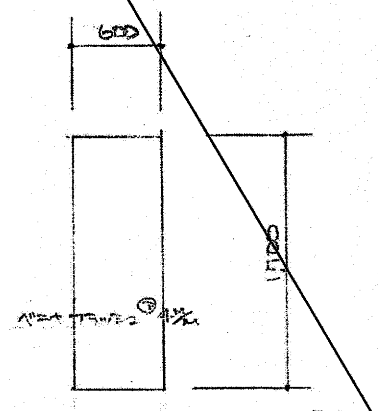
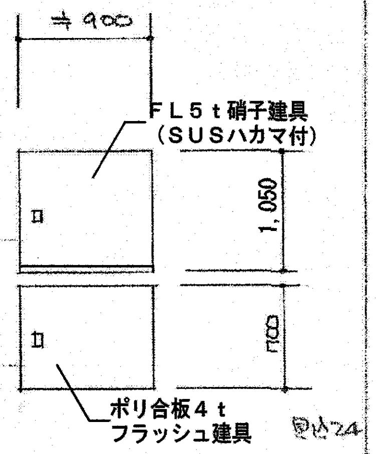
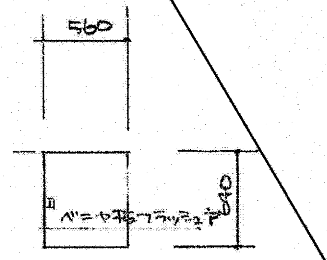
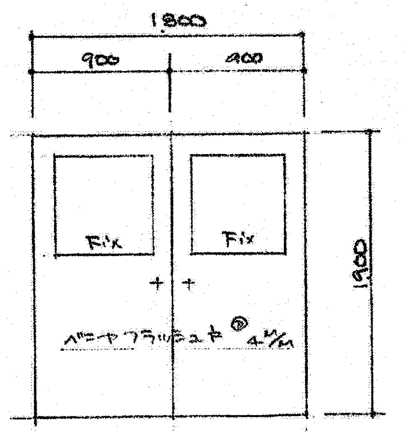
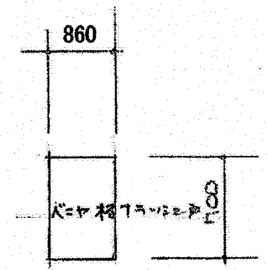
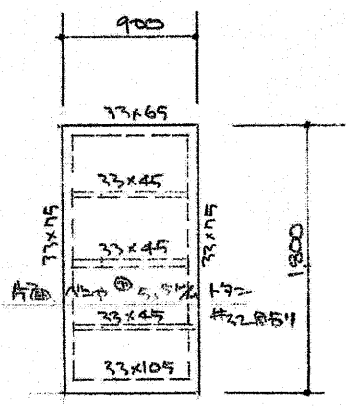
高知市都市建設部公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長

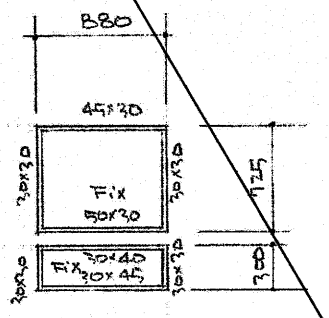
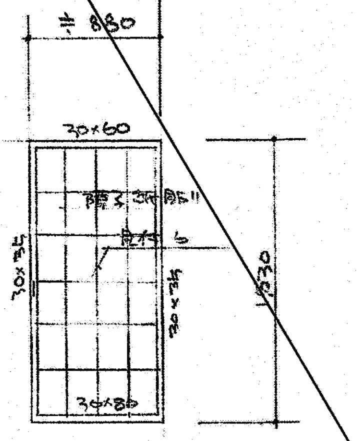
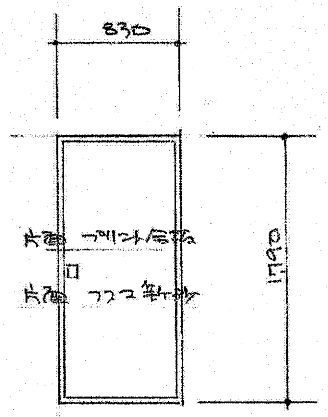
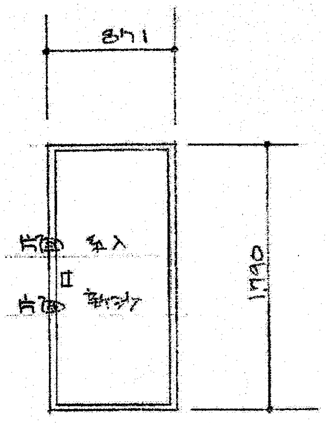
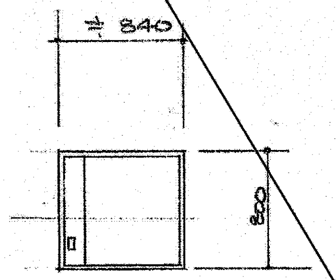
海老川市民会館解体工事		
建築解体図	展開図　2	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/50	SHEET NO 解－１３

㈱　Ａ　Ｓ　Ａ　設　計　事　務　所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第１９６８５２号		
田　中　健　一	DRAWN BY	CHECKED BY

符号 名称	AW 1 引違イガラス戸	AW 2 仝左	AD 1 両開キスチールドアー	AD 2 片開キアルミドアー			D 1 親子開キフラッシュ戸	D 2 片開キフラッシュ戸	D 3 親子開キフラッシュ戸
塗装							OP 2回	仝左	仝左
ガラス	トウメイⓅ5m/m	トウメイⓅ3m/m	ランマ トウメイⓅ3m/m プレートワイヤーⓅ6.8m/m	型ガラス			型ガラス	型ガラス	型ガラス
建具金物	附属金物一式	仝左	フロアーヒンジストッパ付、押板	T番、ロック錠			T番105 鉄製メラミン焼付3枚 ロック錠、空錠、フランス落シ	T番105、鉄製メラミン焼付3枚 ロック錠	仝左、フランス落シ ロック錠
形状	19ケ所 ( )6ケ所  註( )寸法ハAW1ノ場所ヲ示ス 個所14ケ所 = 850 W×1100 H ノアミ戸 見込70	18ケ所 ( )6ケ所  註( )寸法ハAW2ノ場所ヲ示ス 見込70	1ケ所  1600 Fix Fix 600 100 Fix Fix 2000 2,700 ホワイトブロンズ Fix Fix 見込70	3ケ所 ※WCは窓無し  見込70			1ケ所  1500 900 600 Fix Fix 1900 両面ベニヤフラッシュⓅ4m/m 見込33	3ケ所  見込33	1ケ所  1100 800 300 Fix 1900 両面ベニヤフラッシュⓅ4m/m 見込33

符号 名称	D 4 片開キフラッシュ戸	D 5 片開キフラッシュ戸	D 6 棚戸	D 7 カウンター 棚戸	D 8 両開キフラッシュ戸	D 9 カウンター 棚戸	D 10 片開キ戸 スチール枠		
塗装	OP 2回	仝左	仝左		OP 2回		OP 2回		
ガラス					型ガラス				
建具金物	T番2枚 箱錠	ラバトリーヒンジ 2個、表示錠 ガラス玉付 ゴンベ	甲丸レール、亜鉛引鉄製ワク、戸車24 角型取手	甲丸レール、戸車24 角型取手	T番105 鉄製メラミン焼付3枚 ロック錠 空錠 フランス落シ ア1D(25×300)	甲丸レール 亜鉛引鉄製 中6 戸車24 引手	T番105、3枚 掛金 ナンキン錠		
形状	1ケ所  見込30	3ケ所  見込30	 ≒900 FL5t硝子建具 (SUSハカマ付) 1,050 700 ポリ合板4t フラッシュ建具 見込24	 見込24	1ケ所  1800 900 900 Fix Fix 1900 ベニヤフラッシュ戸Ⓟ4m/m 見込33	 見込27	1ケ所  900 33×65 33×45 33×45 33×75 33×75 片面 ベニヤⓅ5.5m/m トタン #32張り 33×45 33×105 1800		

符号 名称	W 1 カウンター 中式 ガラス戸	W 2 引違イ障子		F 1 引違イ戸ブスマ	F 2 引違イ戸ブスマ	F 3 引違イ小フスマ			
塗装	樹脂塗料2回								
ガラス	トウメイⓅ2m/m								
建具金物	甲丸レール(亜鉛引鉄製) 7.5Φ 戸車38 中折ネジシメ(大) クローム メッキ	黒ちん彫込角型 平戸車32		平戸車 角型引手	引手、角型引手、カマチ ケヤキ	引手 角型引手 カマチ 桧 見込18 AT ホゾ巾120			
形状	 880 45×30 30×30 30×30 Fix 50×30 725 30×40 Fix 30×45 30×40 30×30 300	 ≒880 30×60 障子紙貼り 組子6 30×35 30×35 1530 30×80							

参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

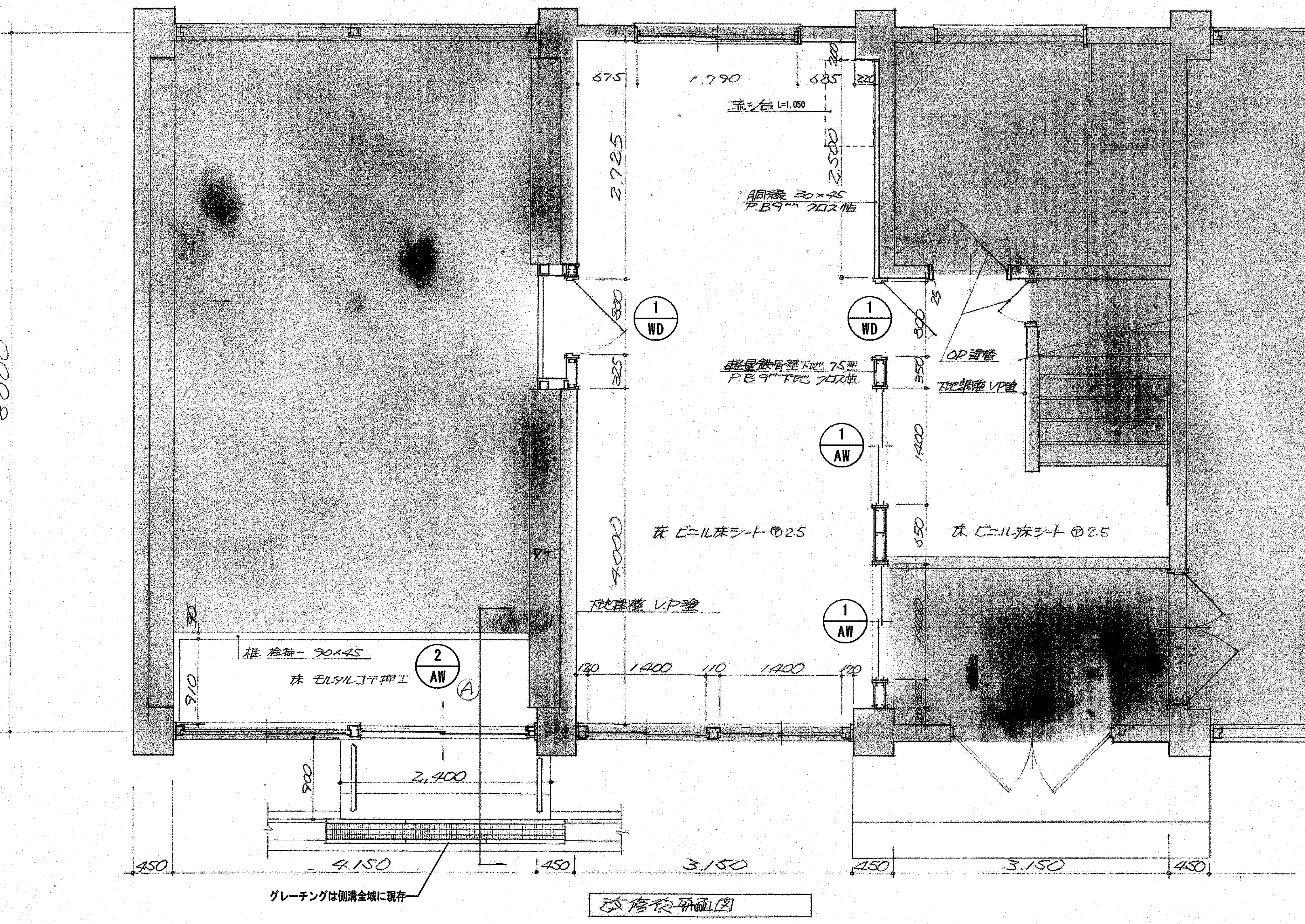
海老川市民会館解体工事

建築解体図　建具リスト

DATE/ 2026/8　SCALE/ 1/50　SHEET NO 解－14

㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

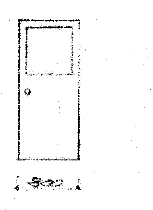
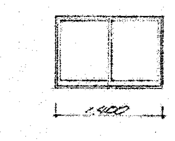
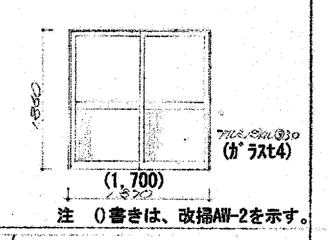
一級建築士大臣登録第196852号
田 中 健 一
DRAWN BY
CHECKED BY

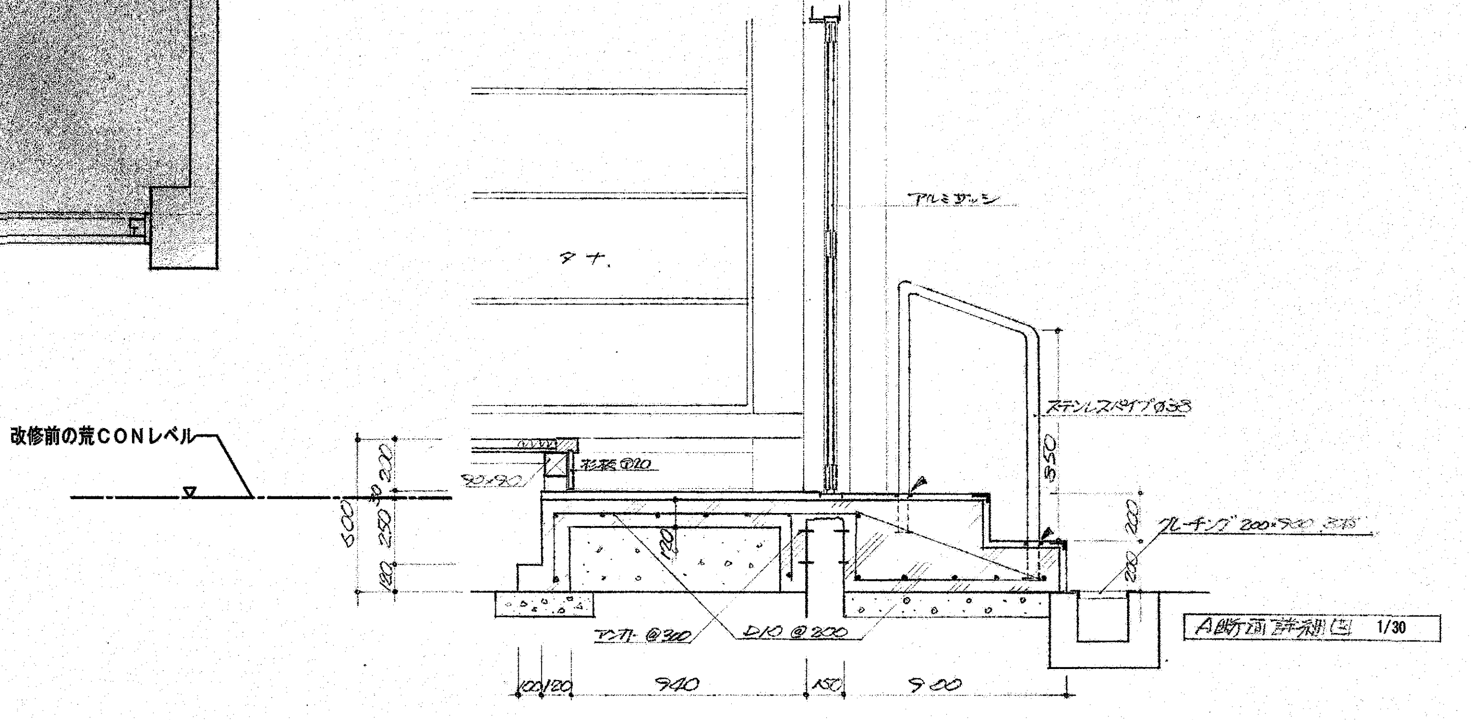


グレーチングは側溝全域に現存

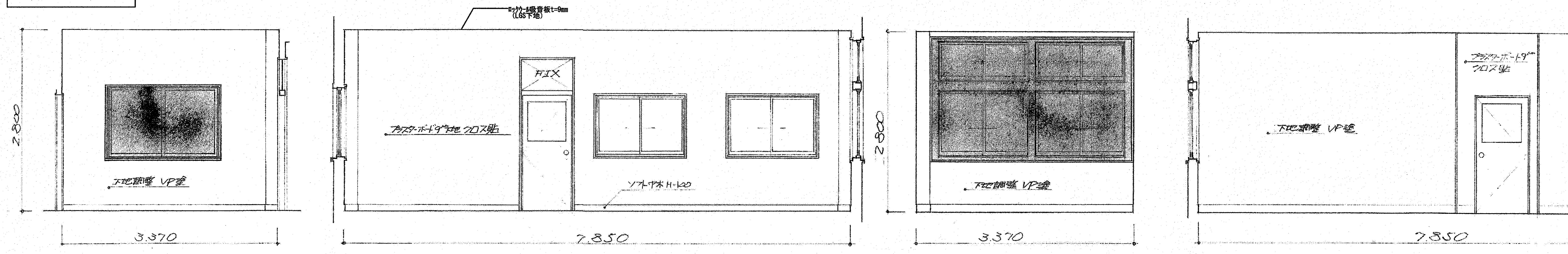
改修後平面図

建具表 1/100

記号	1/WD 木製 鍵付フラッシュドア	1/AW アルミ 引違い窓
寸法		
箇所	2	2
見込	36	60
硝子	フロートガラス T5.0（和室側下部ガラスT4.0）	フロートガラス T5.0
金物	木締モノロック、ステンレス丁番（3枚吊） ドアチェック	クレセント、アルミアングル
材種	積合板 ⑦4.0	アルミ（シルバー）
記号	2/AW アルミ 引違いドア	
寸法	 (1,700) 注 ()書きは、改修AW-2を示す。	
箇所	1	
見込	70	
硝子	フロートガラス T5.0	
金物	シリンダー錠、ステンレス下枠⑦2.0、耐力パーティングアルミ W=150	
材種	アルミ（シルバー）	



展開図 S=1/50


2800
下地調整 VP塗
3,370
ロックウール吸音板t=9mm (LGS下地)
FIX
プラスターボード下地 クロス貼
ソフト巾木 H=100
7,850
2800
下地調整 VP塗
3,370
プラスターボード クロス貼
下地調整 VP塗
7,850

参考図

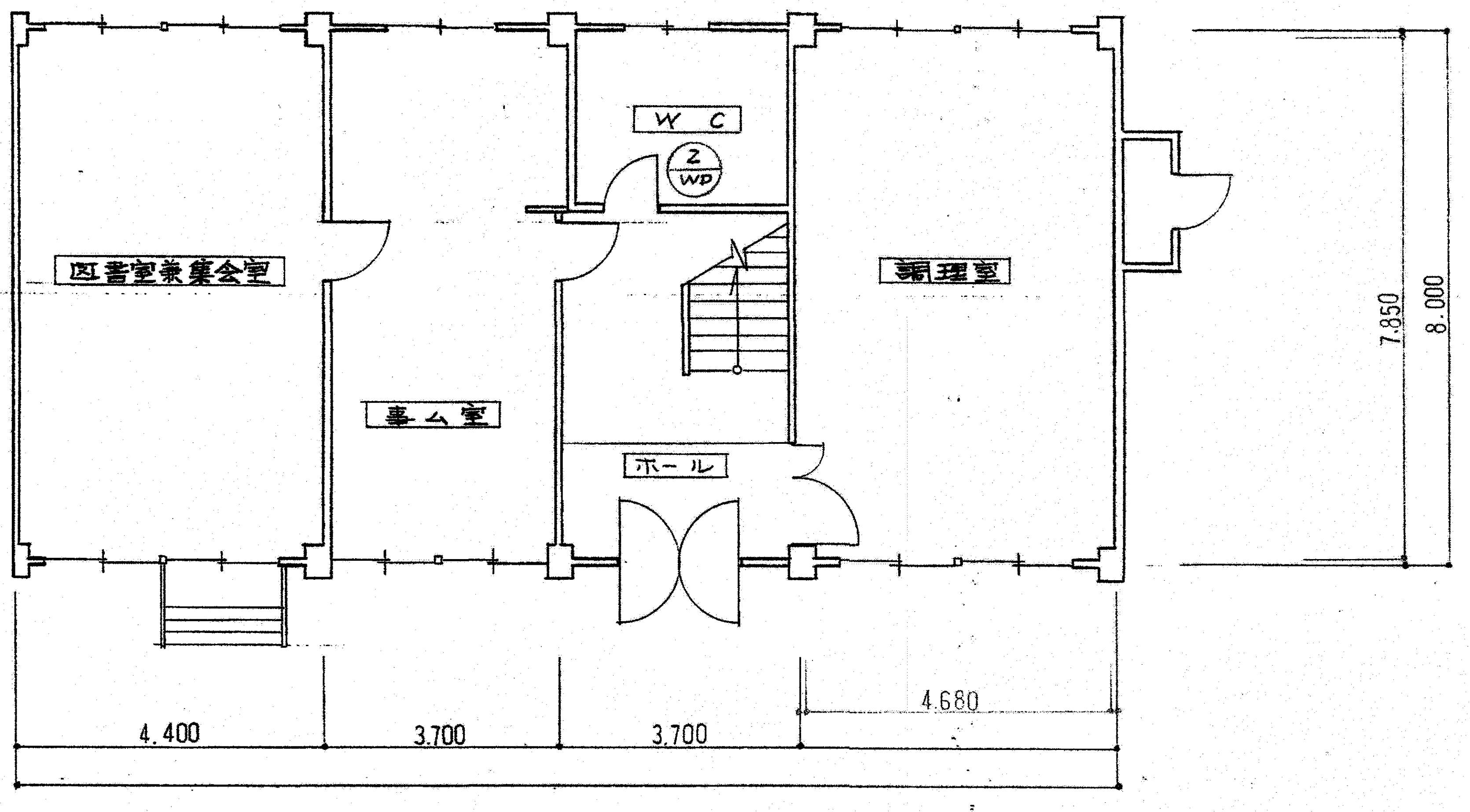
高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長

海老川市民会館解体工事

建築解体図	改修詳細図（事務室改修時設計書）	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/100・50・20	SHEET NO 解－15

㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

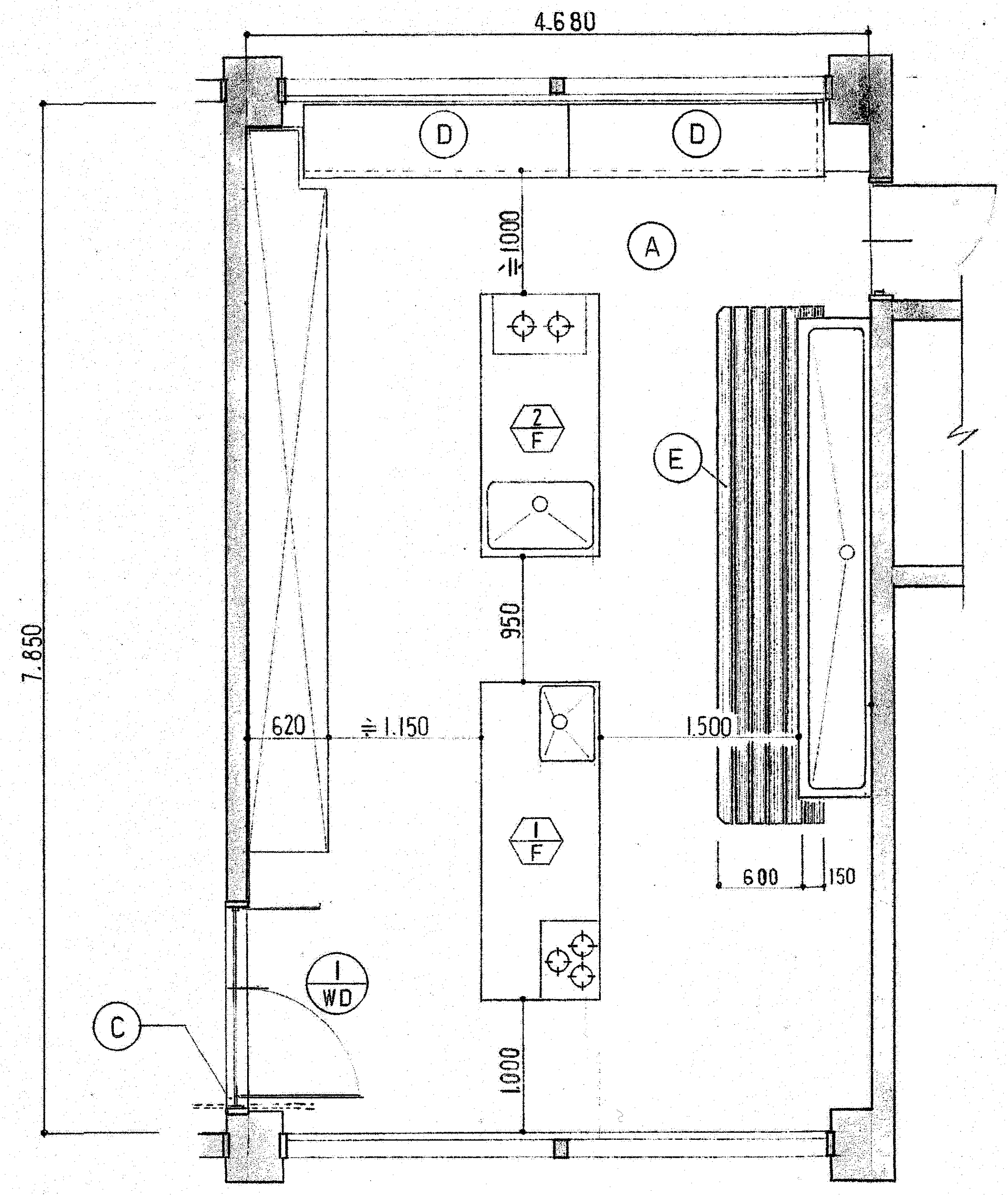
一級建築士大臣登録第196852号	DRAWN BY	CHECKED BY
田 中 健 一		



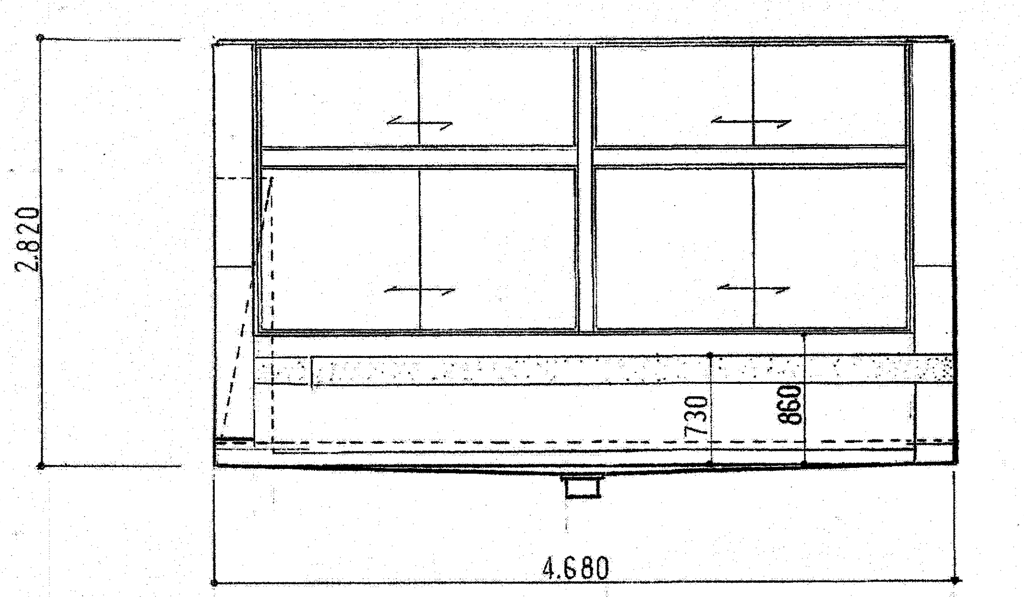
1 階 平 面 図 1/100

新設仕上表

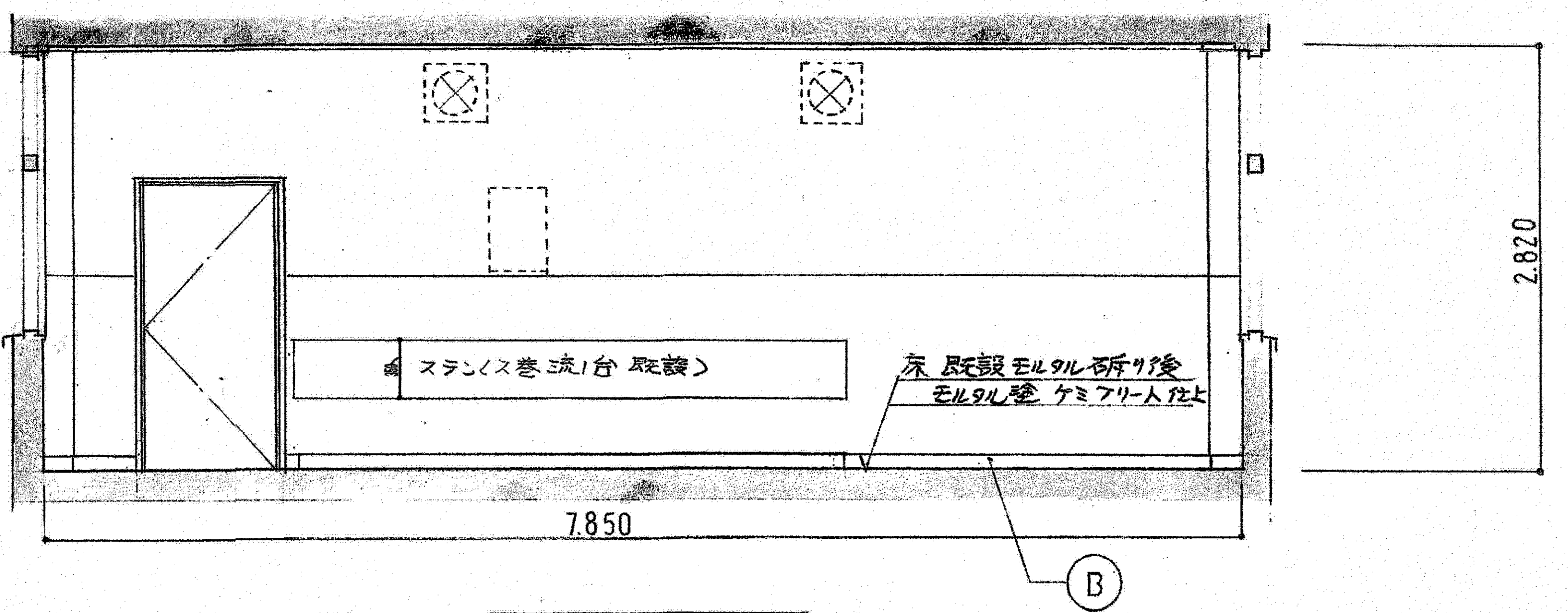
	床 溝及び家具台コンクリ打T. H=70
Ⓐ	床 モルタルコテ押エ ケミクリート仕上 30~60 32.8m²
Ⓑ	巾木ケミクリート 仕上 H=100 (モルタル補修後) 22.8m
Ⓒ	T・B 框 W≒170 × ℓ=1.500 取付 （設備配管後） 1ケ孔
1/WD	木製親子開きガラリ付ドア W1.42×H1.9 付属金物一式 CL塗 1ケ孔
Ⓓ	ステンレス ア1.0 (SUS304)張り 桟付棚板 W0.57×ℓ2.0 @30 2ケ孔
Ⓔ	桧 ア18 スノコ板 H≒90 W0.75×ℓ3.9 1ケ孔
1/F	調理台(既成品) L 2400× W 900× H 800 ガスレンジ付
2/F	調理台（仝上） 2000×900×800 ガスコンロ付
	家具周囲シール打 10×10 15m
	WD2(便)建付調整



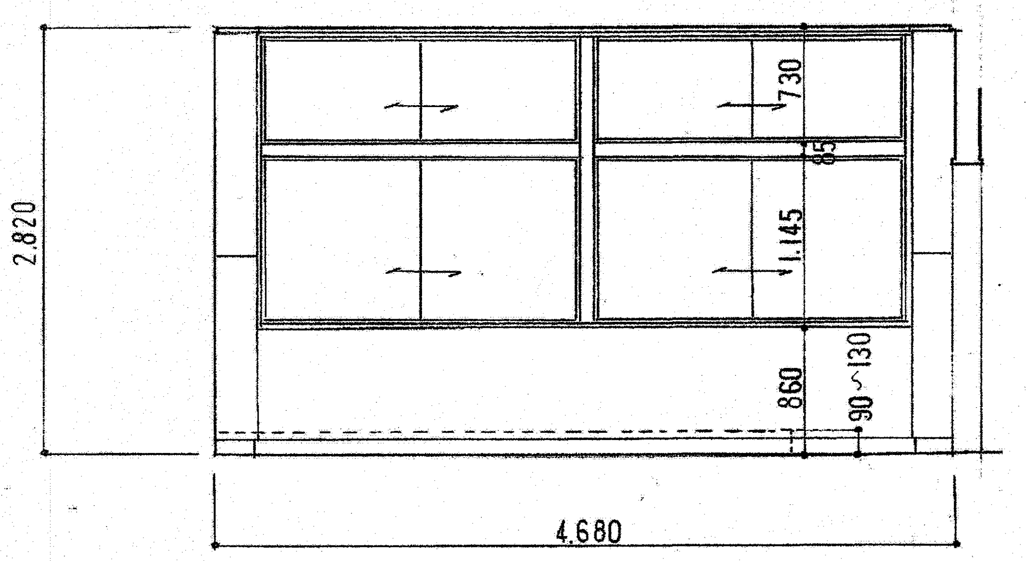
改修後平面図 1/50



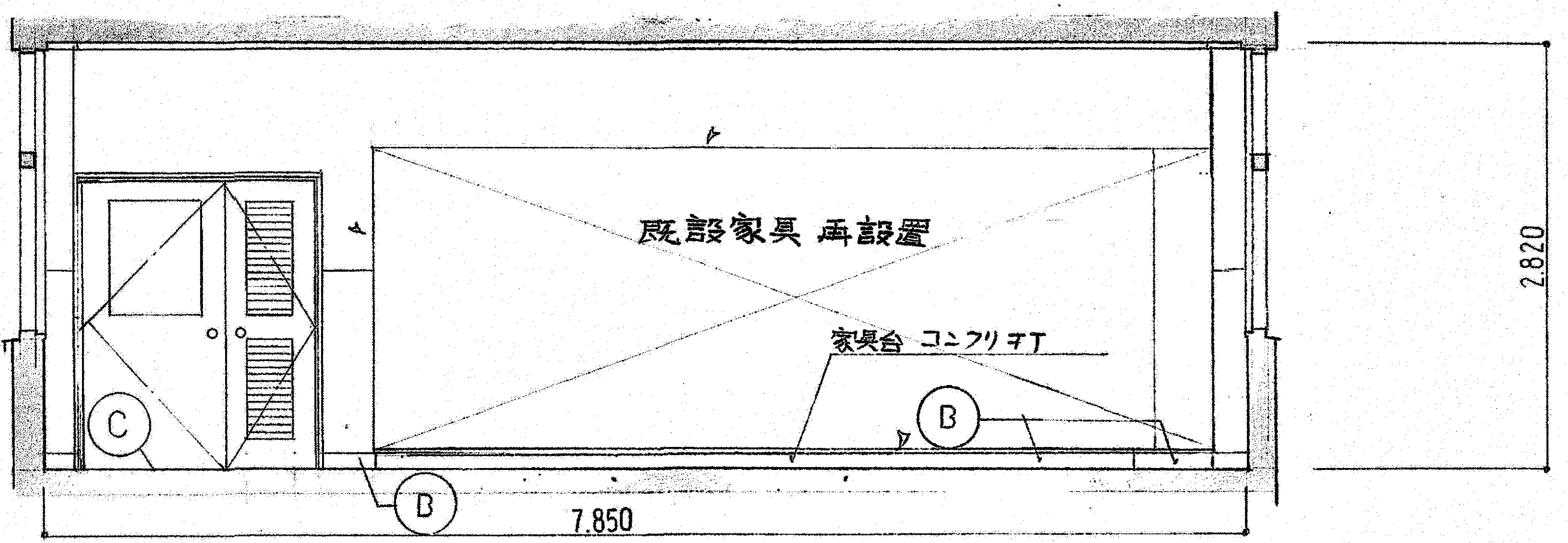
A 展 開 図



B 展 開 図



C 展 開 図



D 展 開 図

参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長

海老川市民会館解体工事

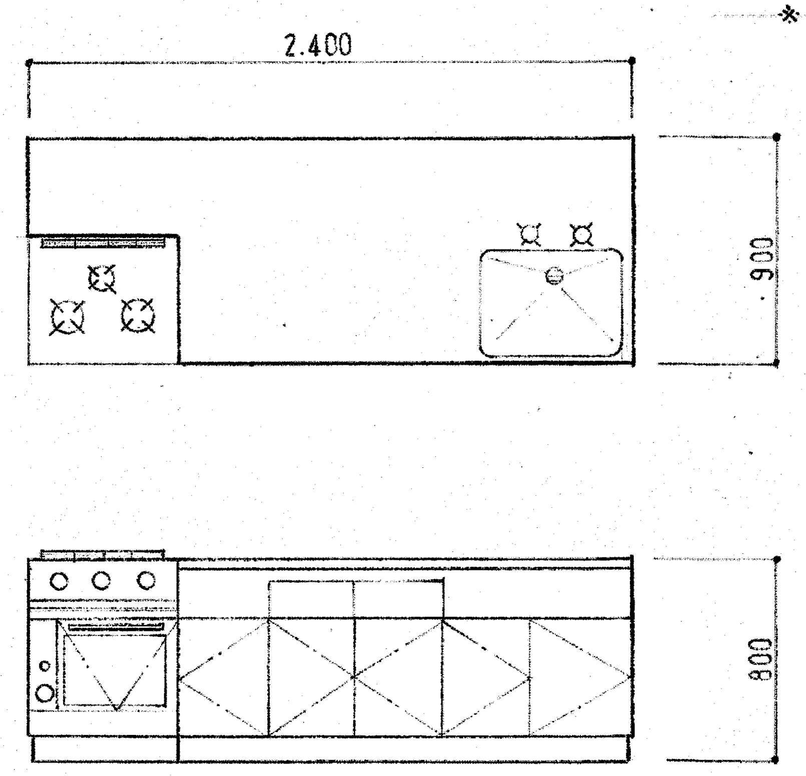
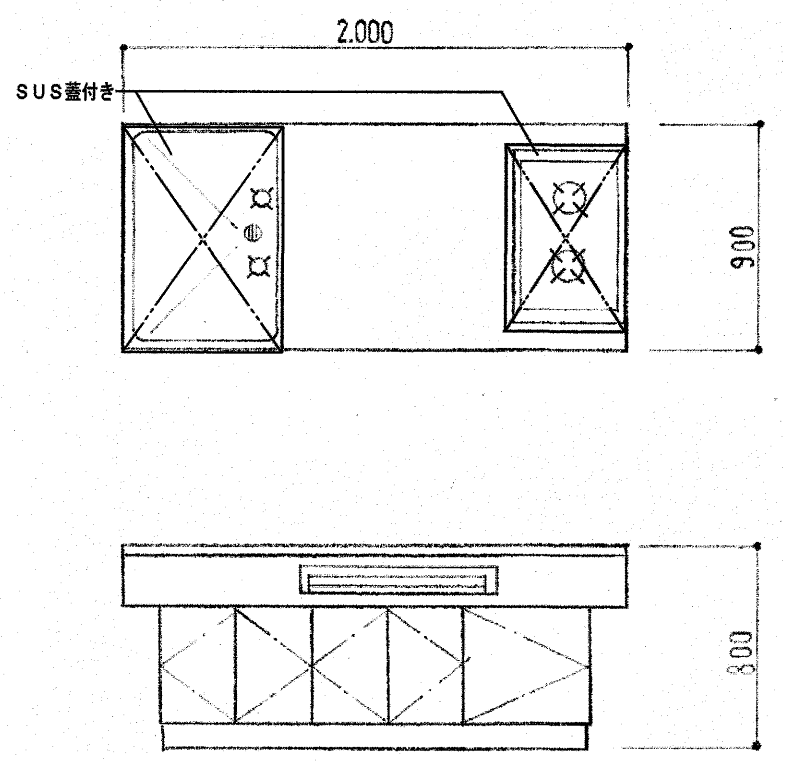
建築解体図

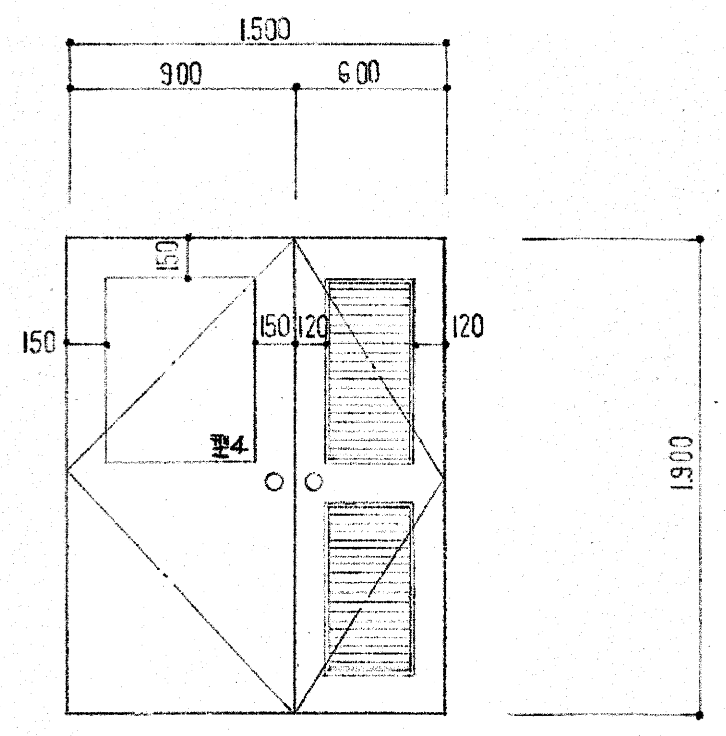
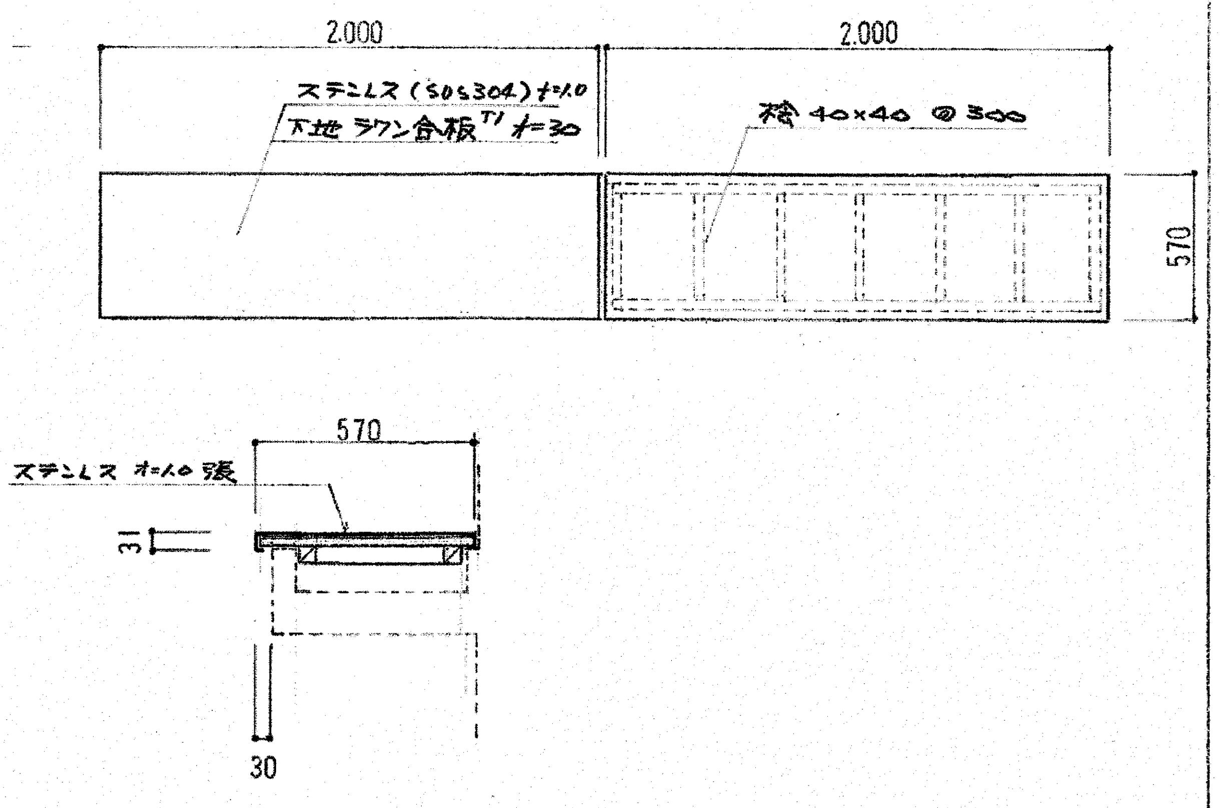
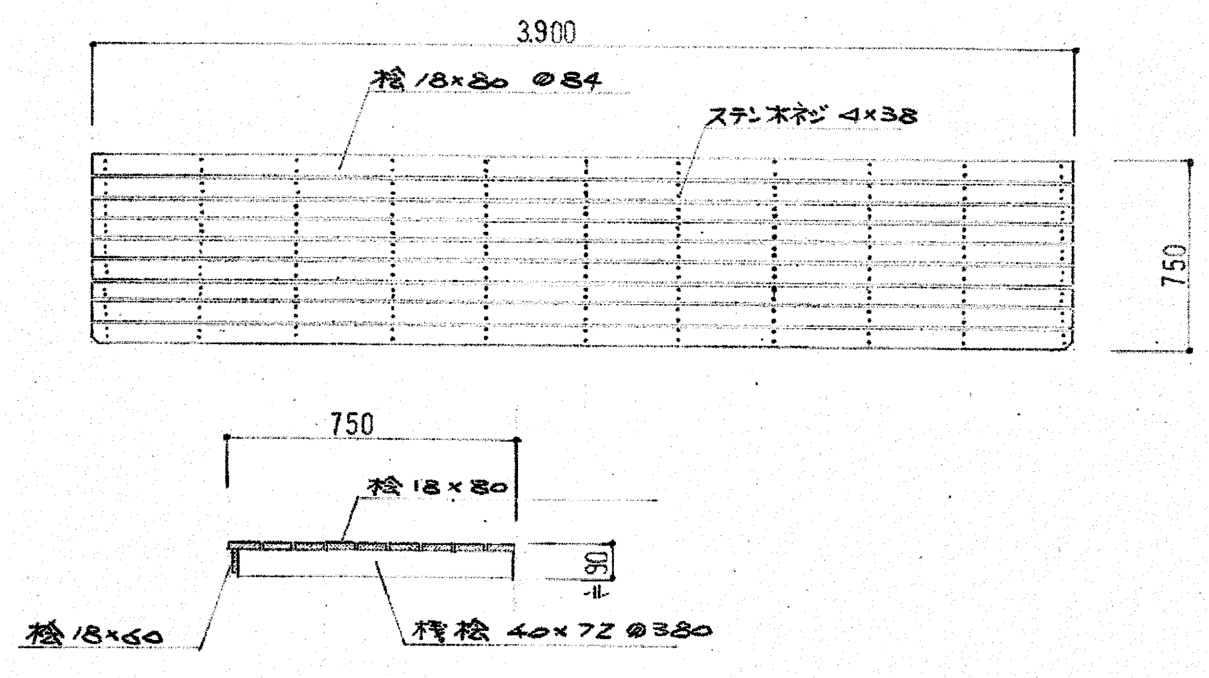
改修平面図・展開図
（調理室改修時設計図）

DATE/ 2026/8 SCALE/ 1/50 SHEET NO 解ー16

㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第196852号
田 中 健 一
DRAWN BY
CHECKED BY

記号 室名	1/F 既成学校用調理台 調理室	2/F 既成学校用調理台 調理室	
形状寸法	※参考図（詳細は施工図による） 	※ 参考図（詳細は施工図による） 	
材質	天板ステンレス SUS 430 t=1.0 本体ポリエステル樹脂合板 内装カラー合板	仝 左	
金物	給水栓 2個，コンセント（2連式）2個， ガスレンジ 1個	給水栓 2個，コンセント（2連式）2個，ガスコンロ 1個	
硝子			
塗装			
個所数	1ケ所 （その他 付属品 1式共）	1ケ所 （仝 左）	
	注．給排水．電気．ガス配管取付工事は別途	仝 左	

記号 室名	1/WD 木製親子開き ガラリ付 フラッシュ戸 調理室	D ステンレス張 桟付棚板 調理室	E 木製スノコ 調理室
形状寸法			
材質	桐合板 ア4（下）フラッシュ戸 ガラリ部分及び見えは桧 召し合せ框付 見込33	ラワンベニヤ（下）t=30下地 ステンレス t1.0（SUS304）張り棚板 桧桟40×40 @300付	桧 18×80 スノコ板 面取り仕上
金物	ステン（SUS304）丁番 ℓ=127 3枚吊 フランス落し D・C（2個）本締付ロック錠・空錠		ステンレス木ネジ 4×38
硝子	型ガラス 4（両面シール打）		
塗装	CL塗		素地
個所数	1ケ所	570×2,000 2ケ所	1

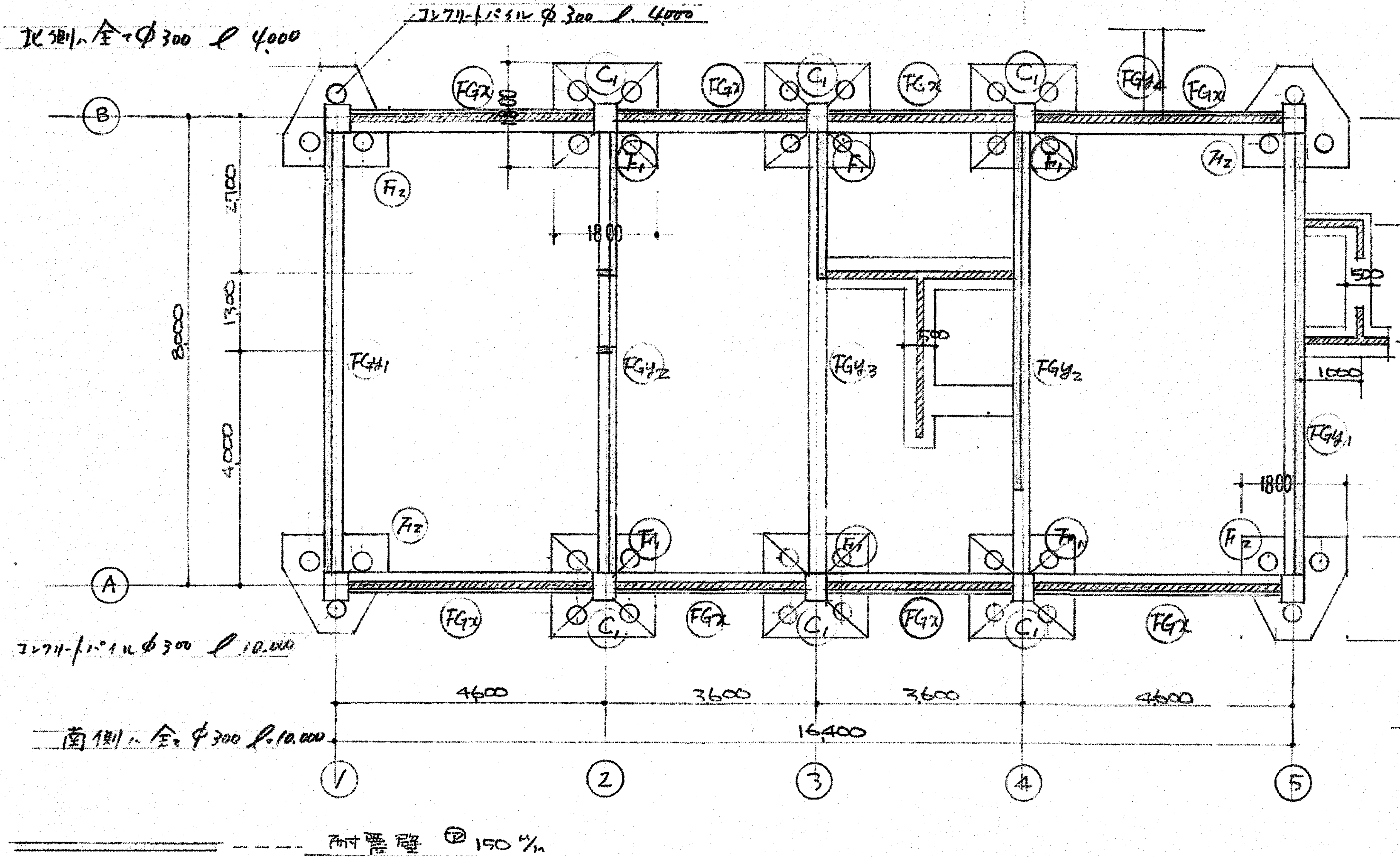
参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

海老川市民会館解体工事		
建築解体図	家具リスト・建具リスト （調理室改修時設計図）	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/30・20	SHEET NO 解－17

㈱ ASA設計事務所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL（088）822－5797（代）
FAX（088）822－5799

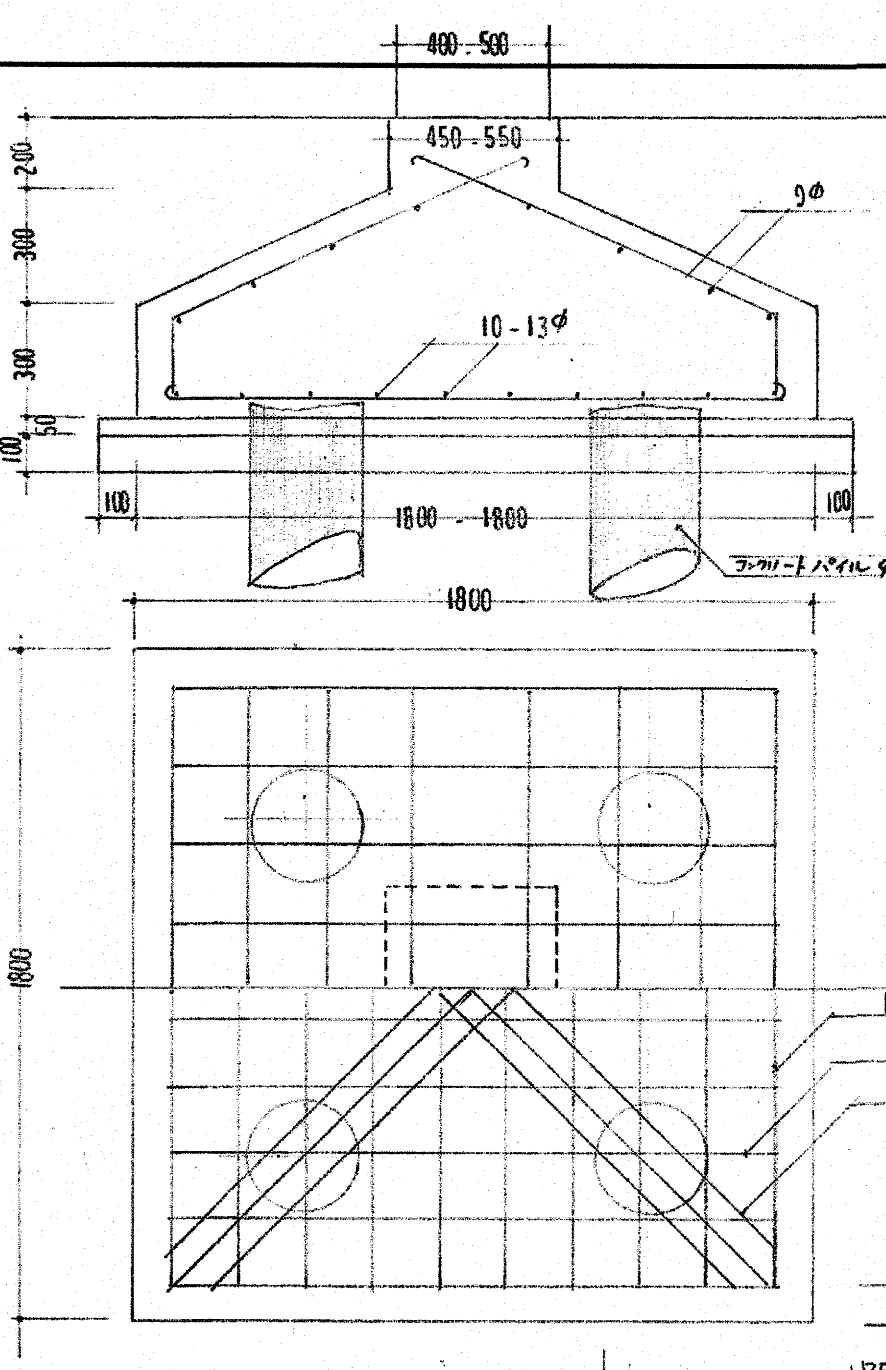
一級建築士大臣登録第196852号		
田中健一	DRAWN BY	CHECKED BY



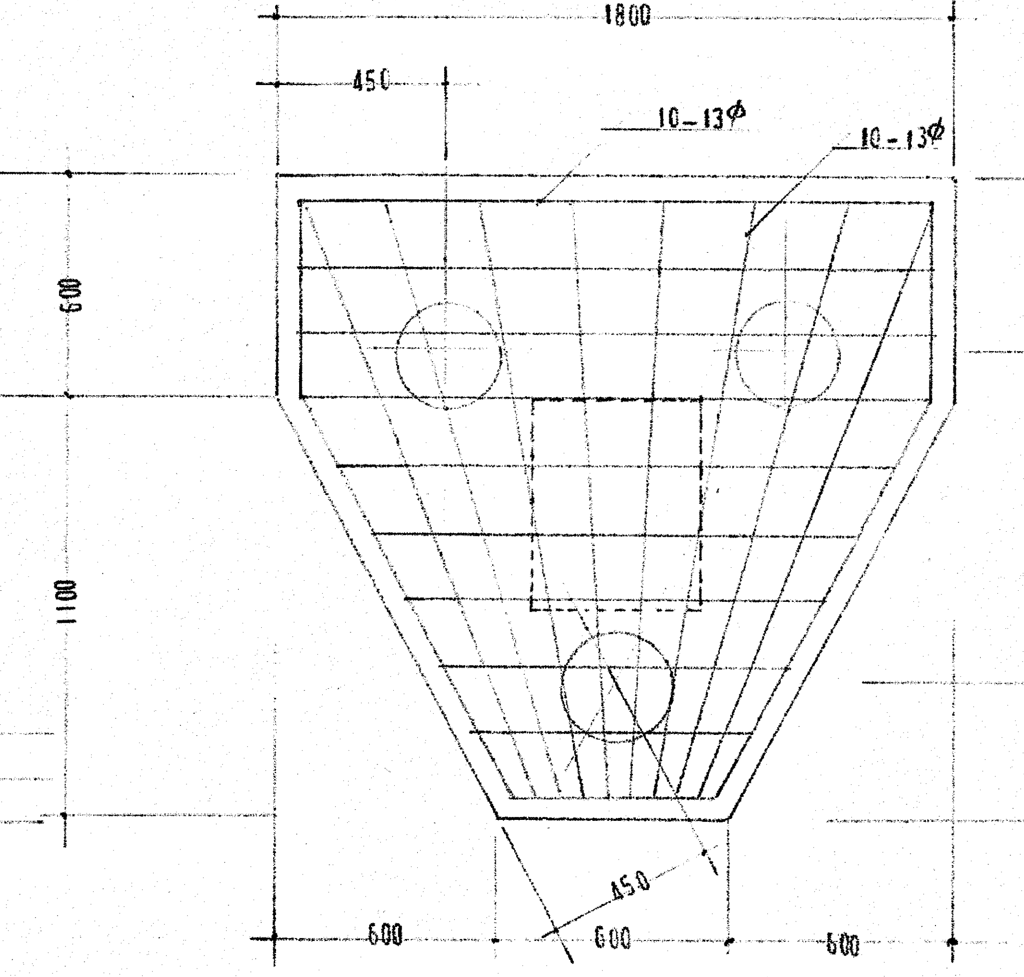
耐震壁 ⑦150 m/m

コンクリート壁 ⑦100〜120但シ、便所壁⑦150

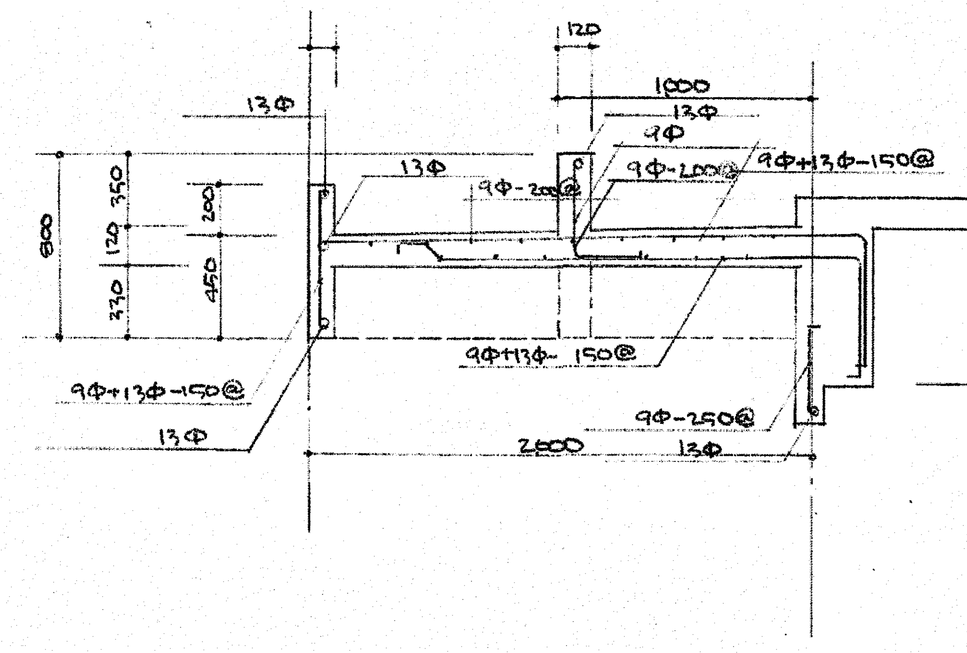
基礎伏図 1/100



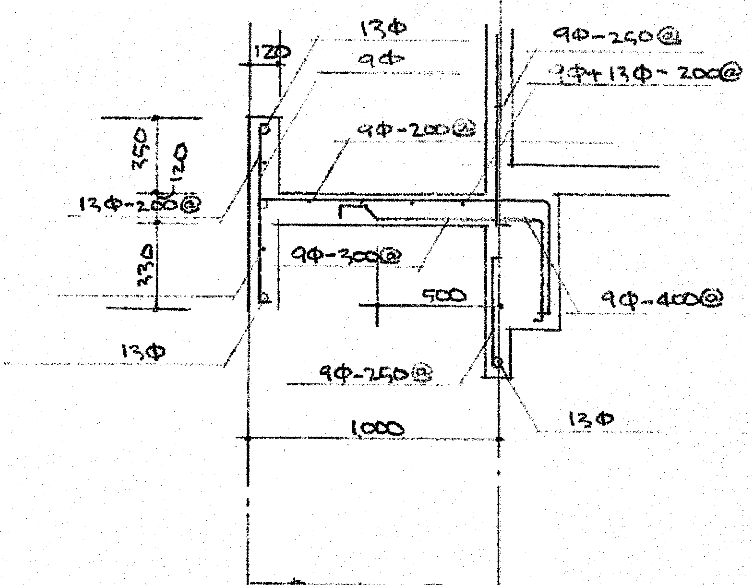
F1基礎



F2基礎　断面ハF1ニ全ジ

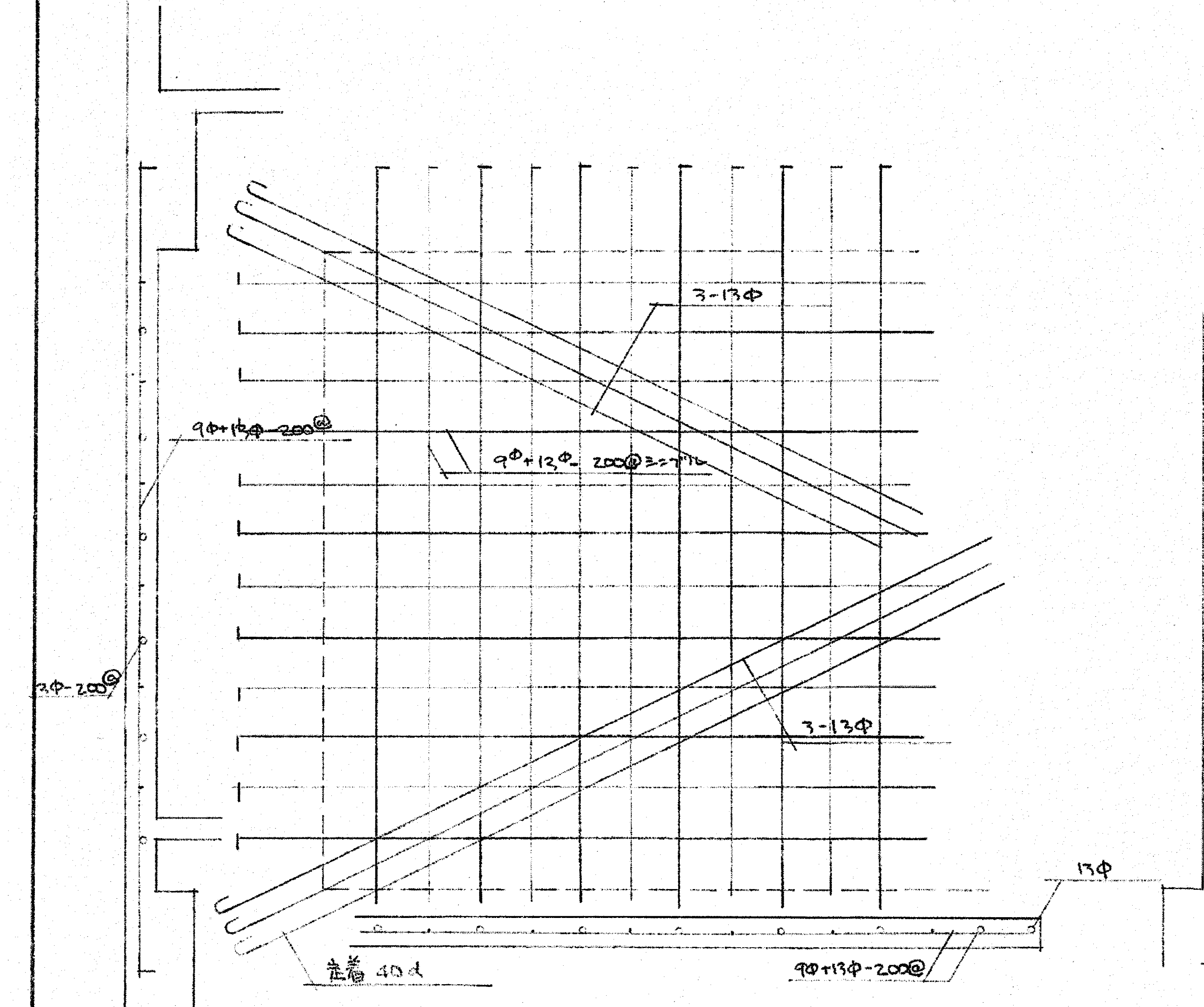


玄関床配筋図 1/30

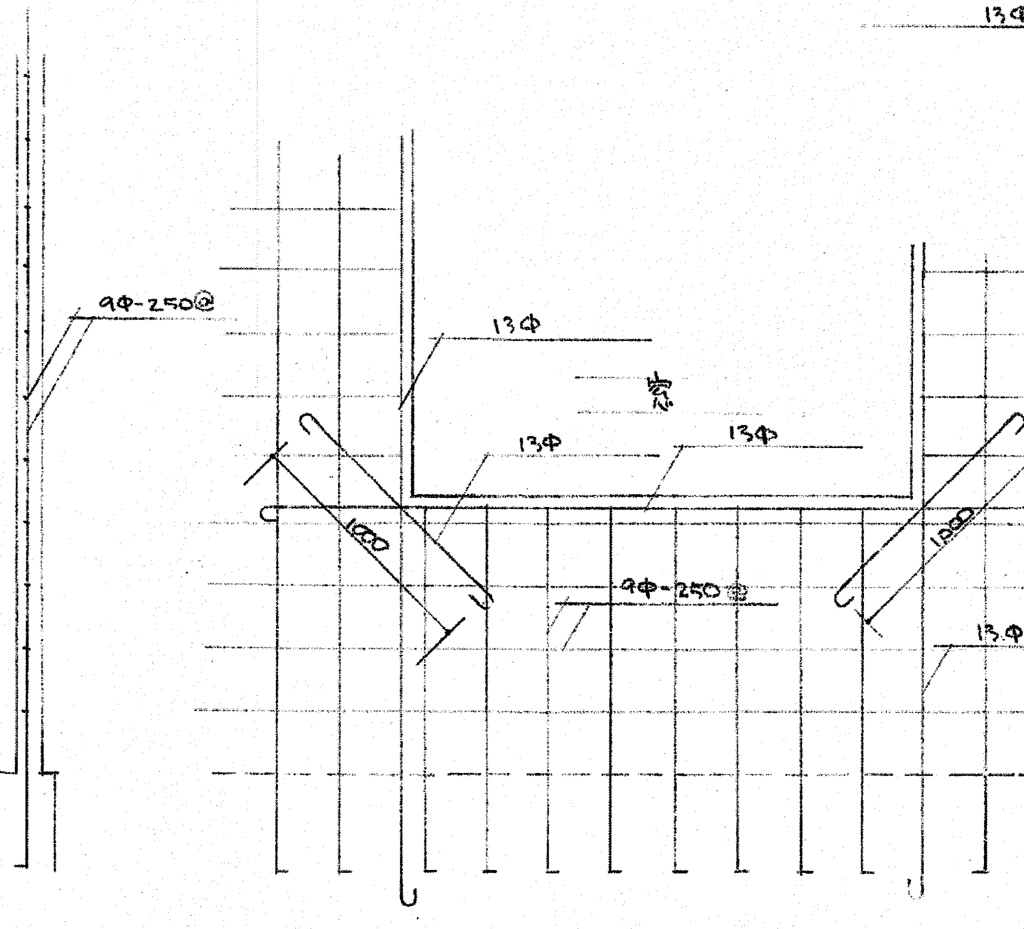


基上端モ同ジ

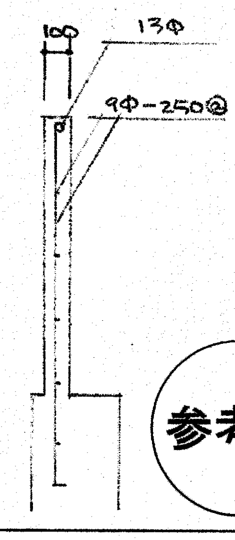
床ベランダ壁配筋図 1/30



耐震壁⑦150m/m 配筋図 1/30



その他の壁 ⑦100〜120m/m 配筋図 1/30



参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長

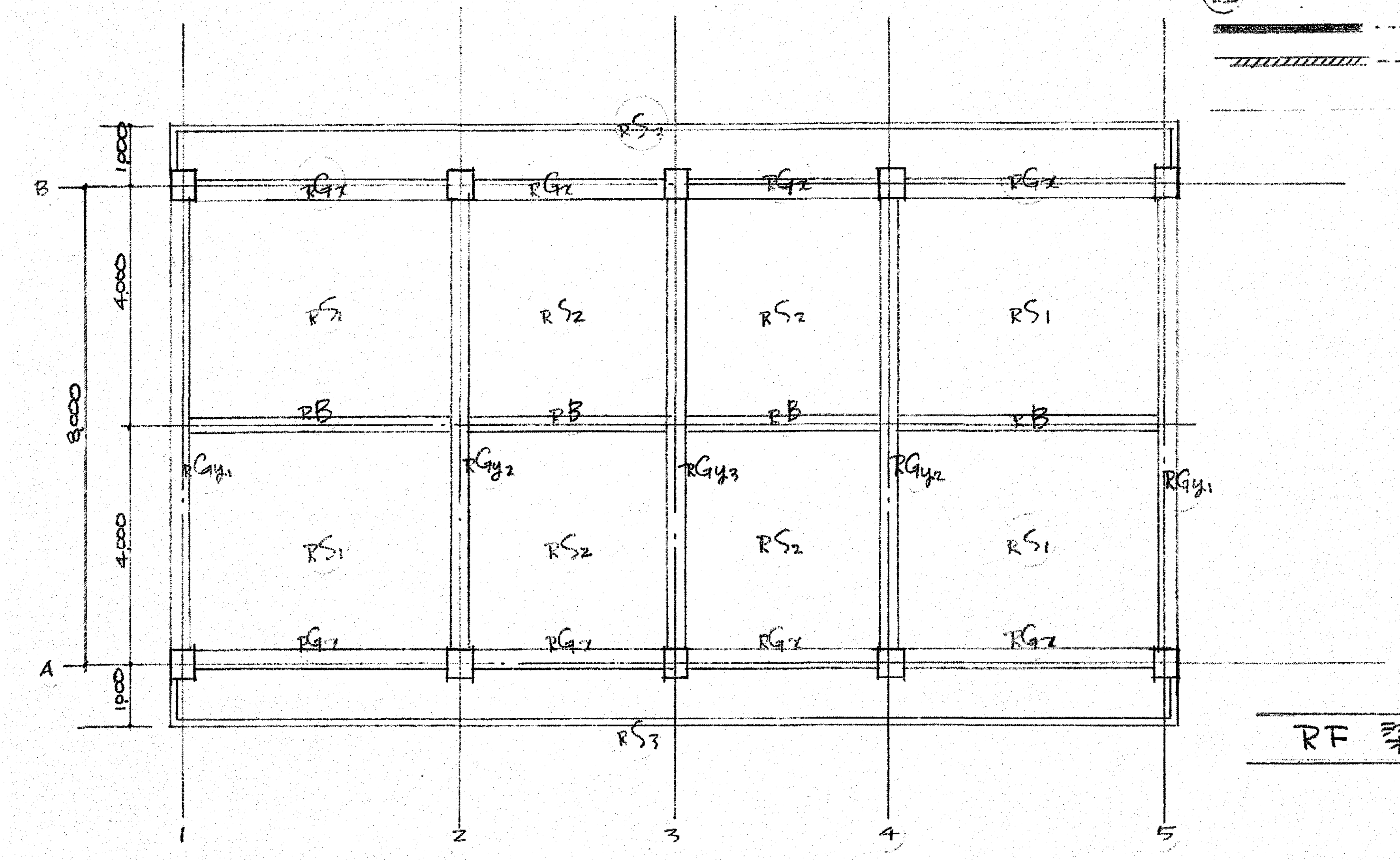
海老川市民会館解体工事

建築解体図	基礎伏図・基礎リスト・配筋詳細図	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/100・30	SHEET NO 解－18

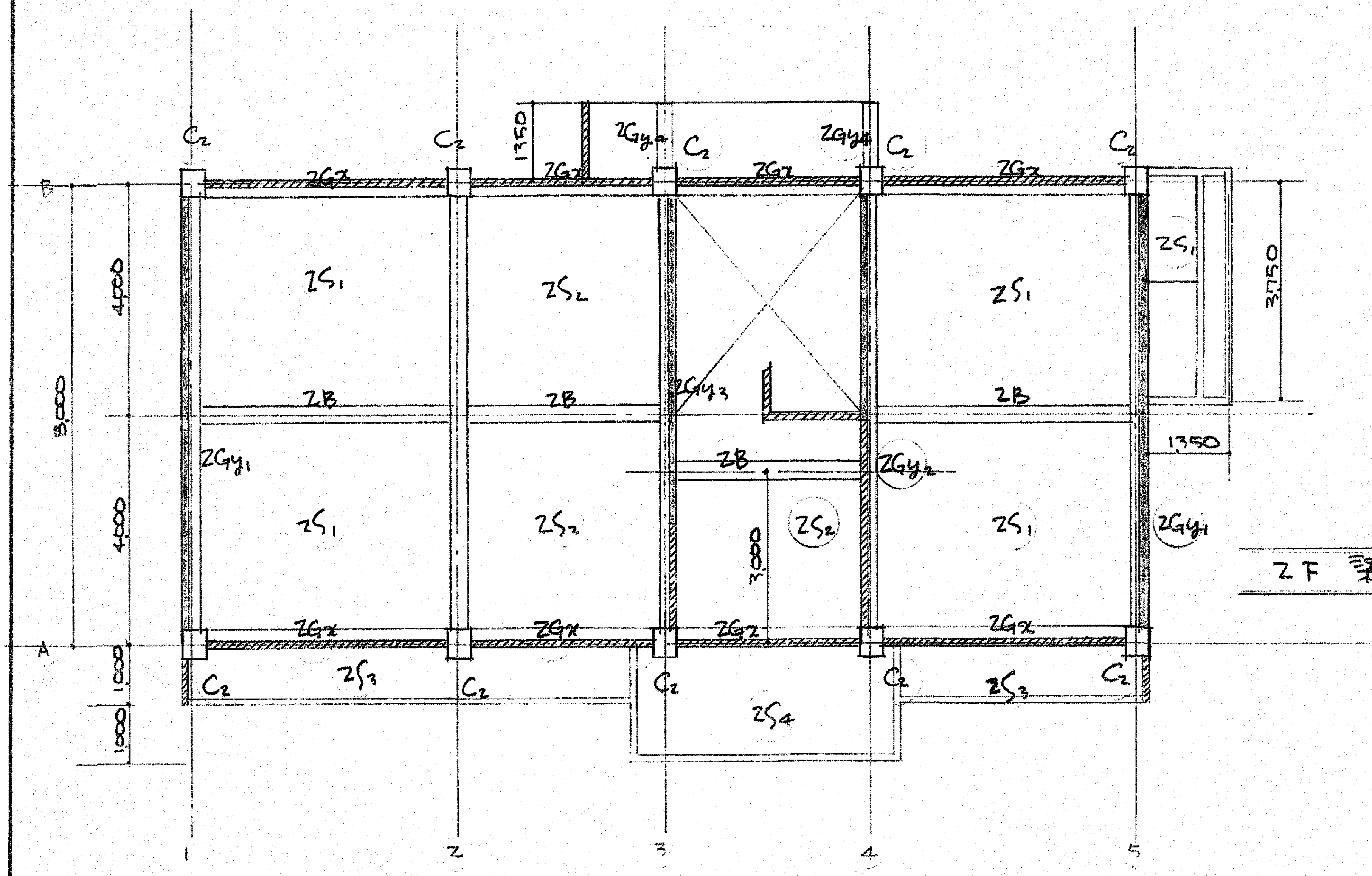
㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第196852号		
田中健一	DRAWN BY	CHECKED BY

㊟
■■■■ ……… 耐力壁 ⓣ150
▨▨▨▨ ……… コンクリート壁 ⓣ100〜120
但シ便槽壁ハ ⓣ150

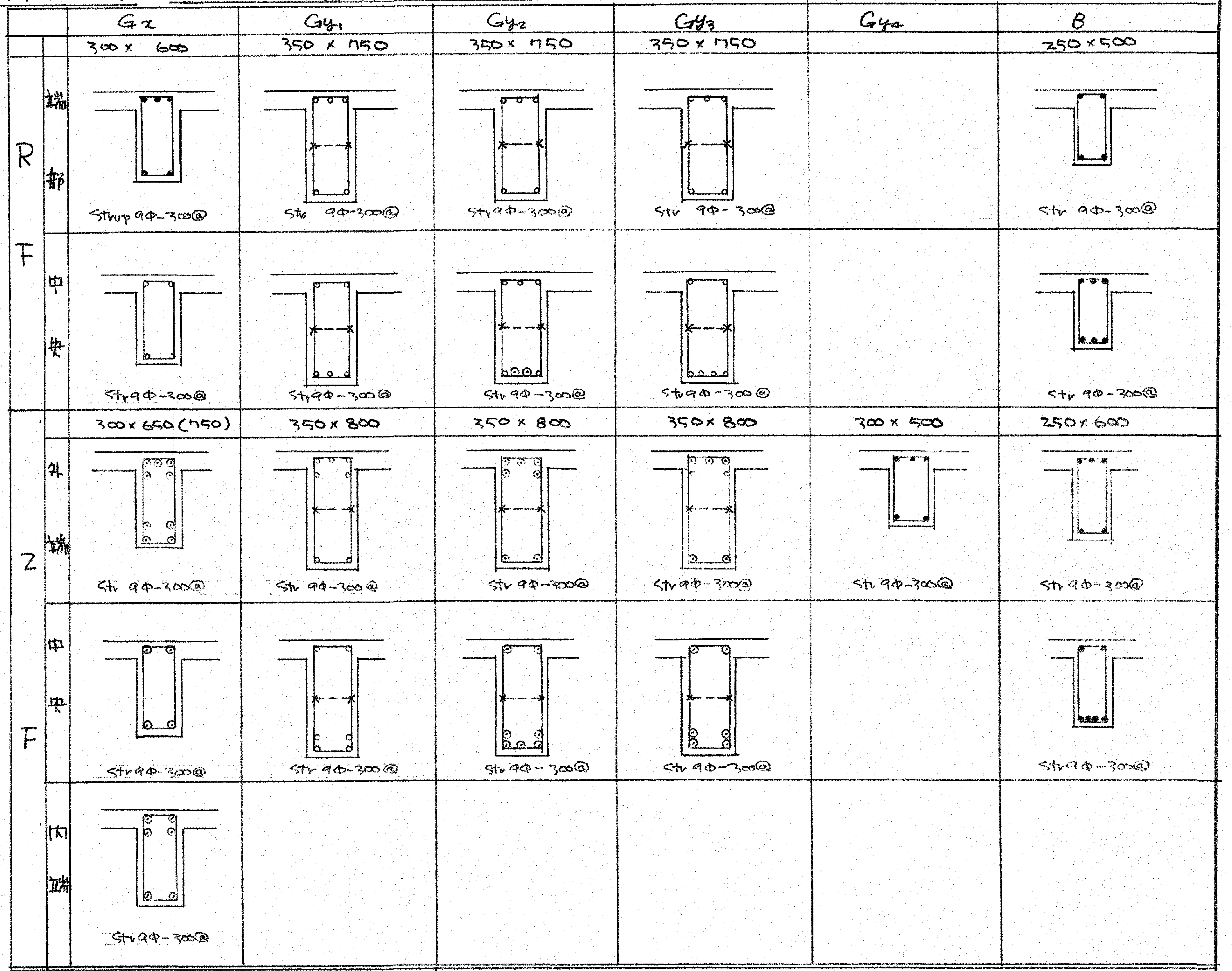


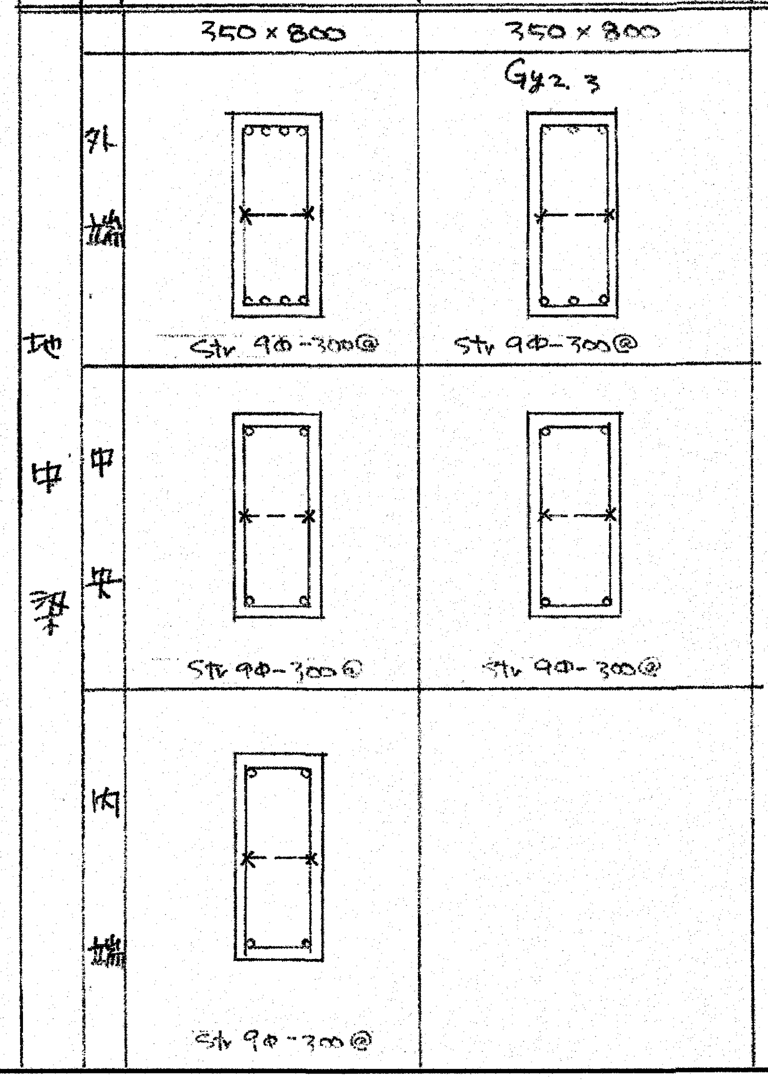
RF 梁伏図 1/100



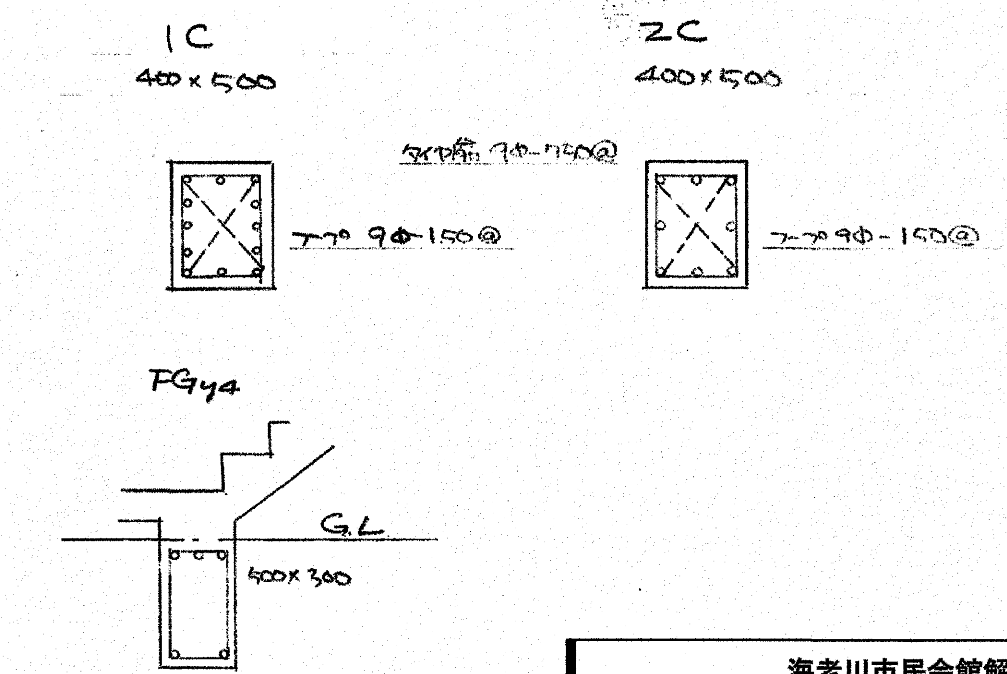
2F 梁伏図 1/100

梁リスト 1/30 9Φ=✕ 16Φ=● 19Φ=○ 22Φ=⊙





柱リスト S 1/30



参考図

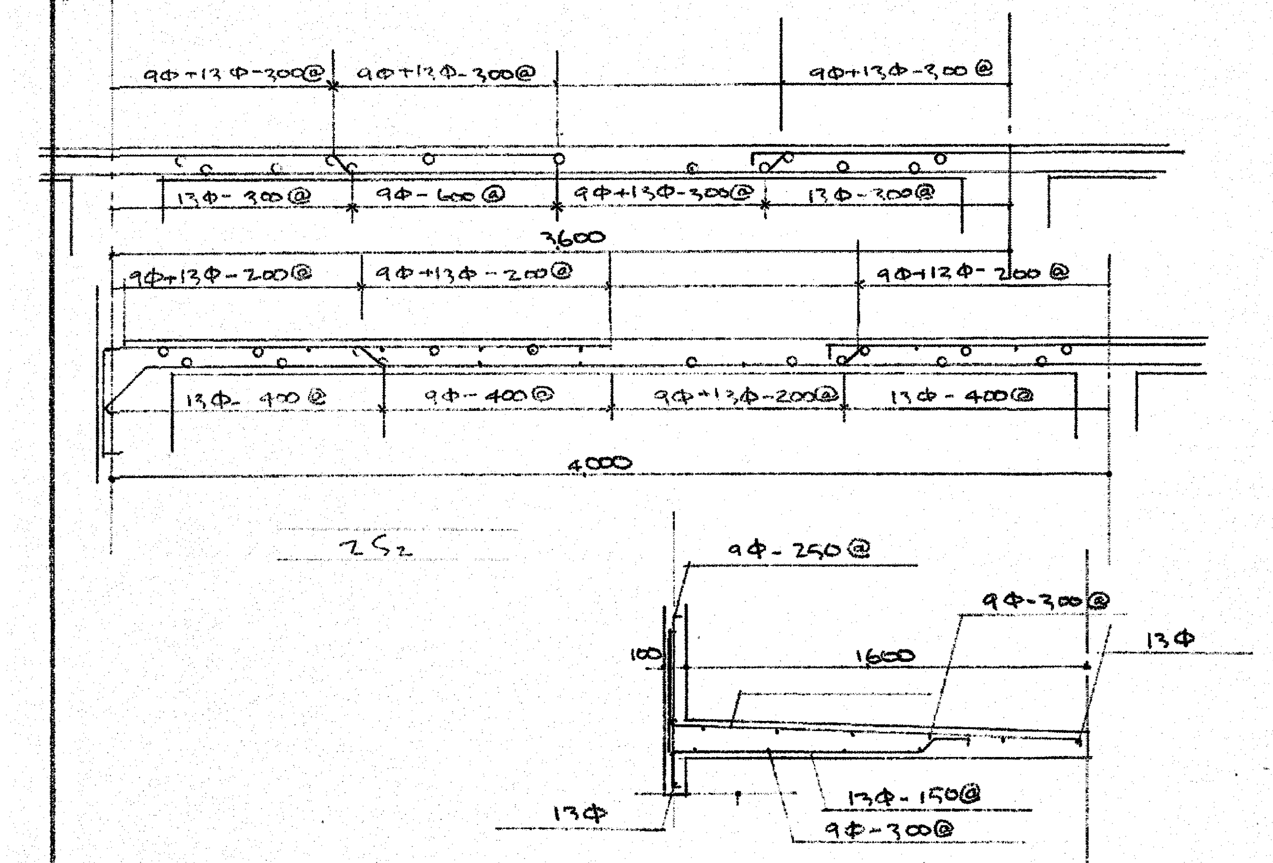
高知市都市建設部公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長

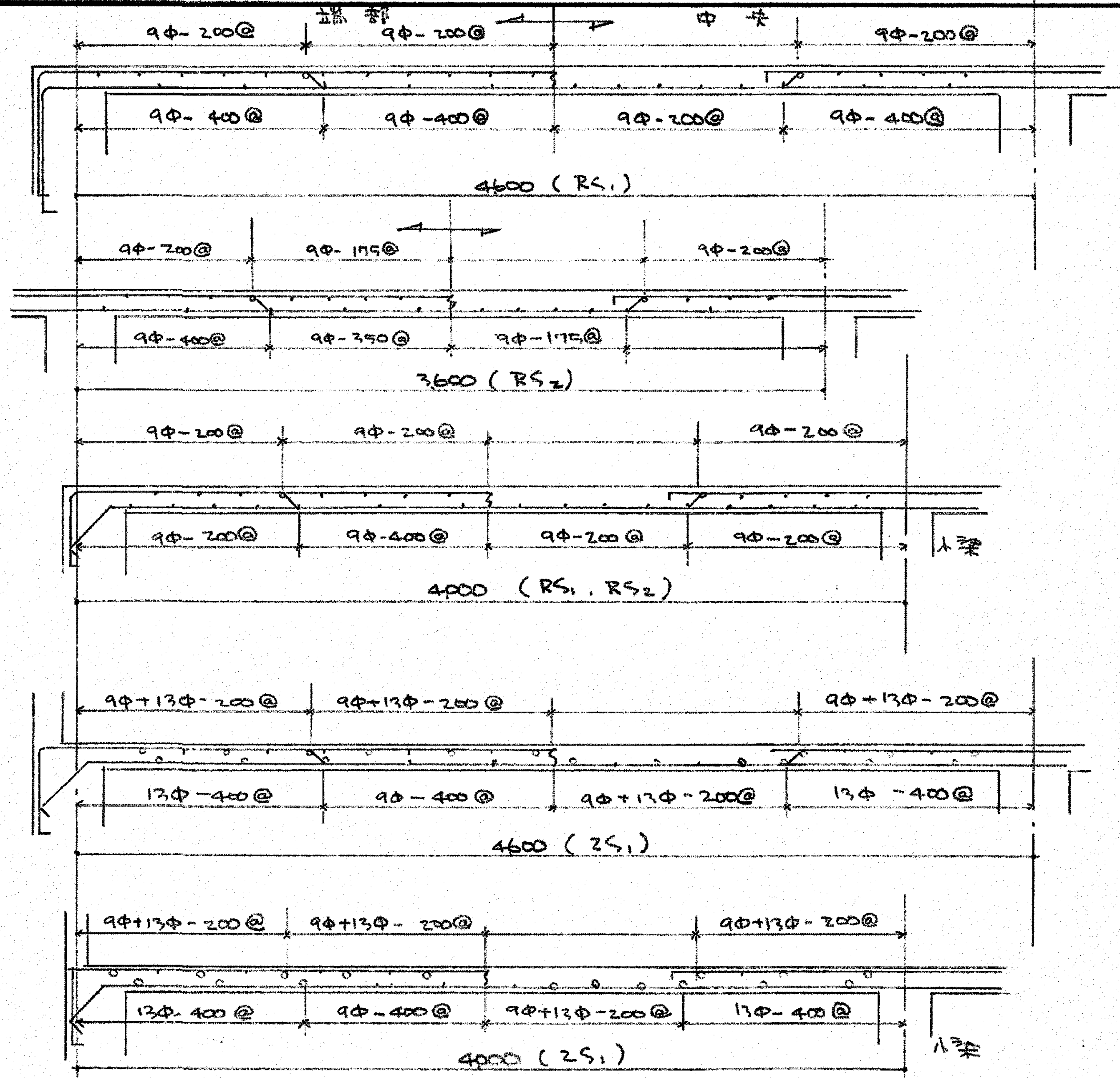
海老川市民会館解体工事

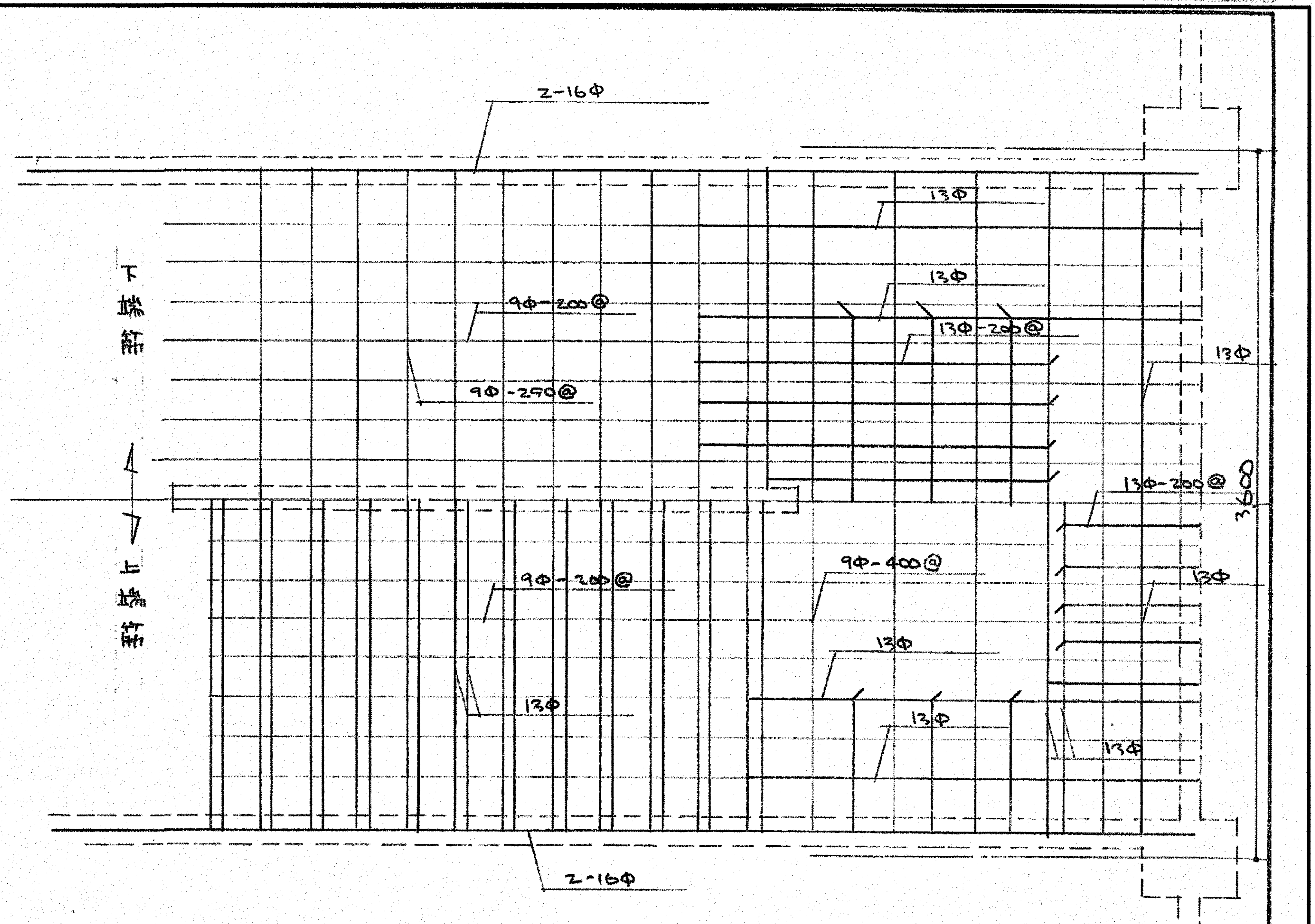
建築解体図	梁伏図・柱梁リスト	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/100・30	SHEET NO 解ー19

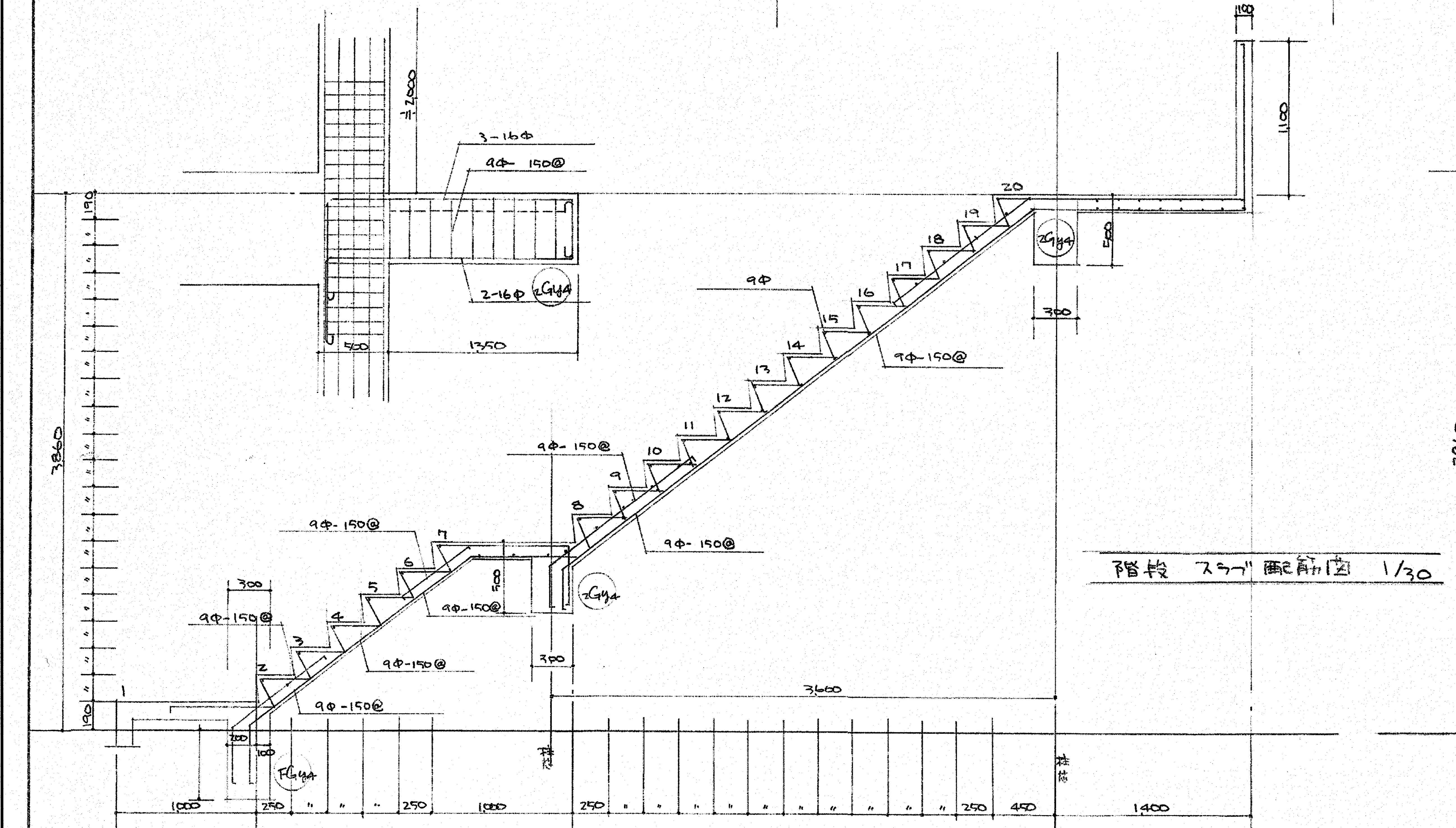
㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第196852号		
田 中 健 一	DRAWN BY	CHECKED BY

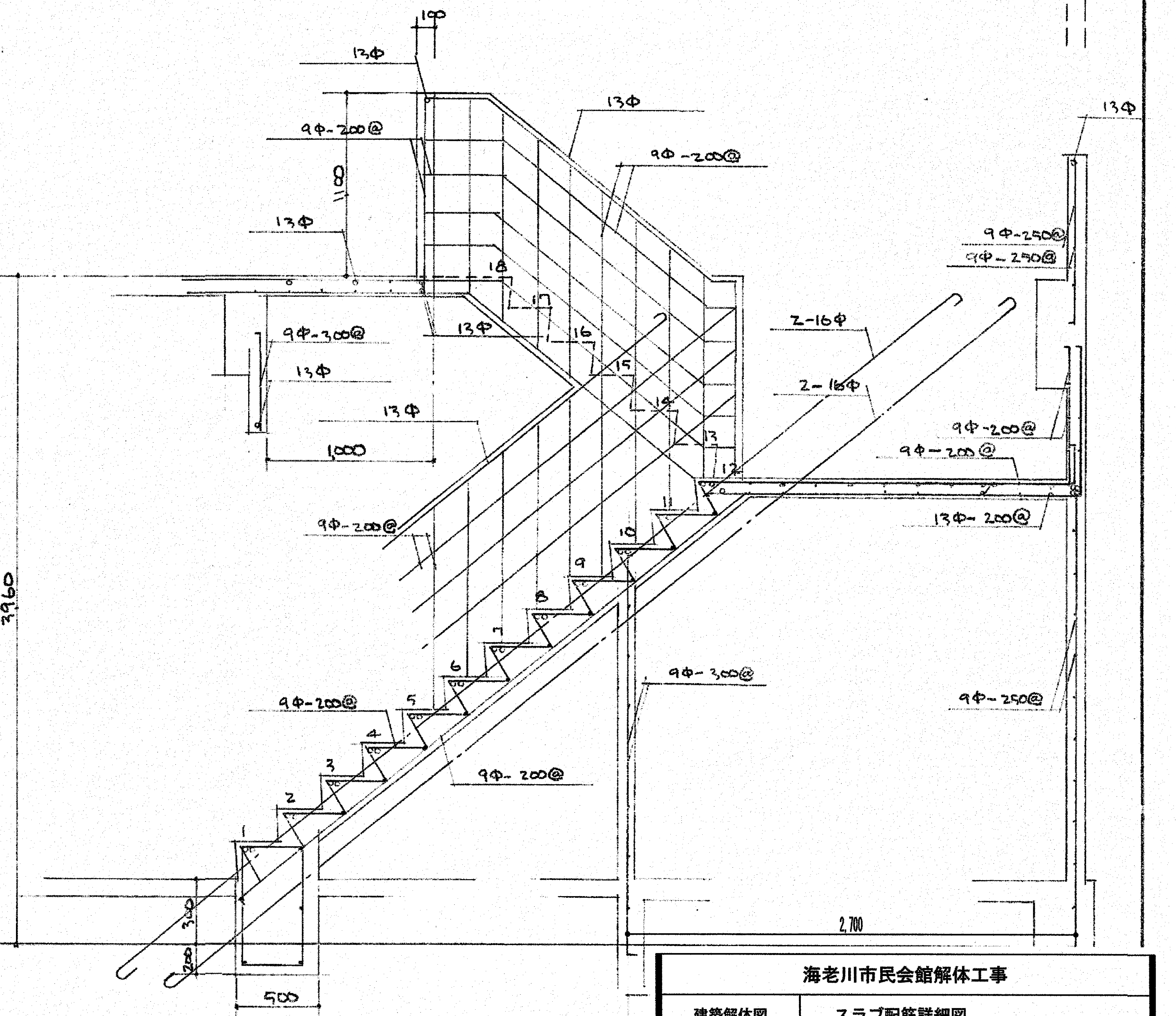








階段 スラブ配筋図 1/30



参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

海老川市民会館解体工事

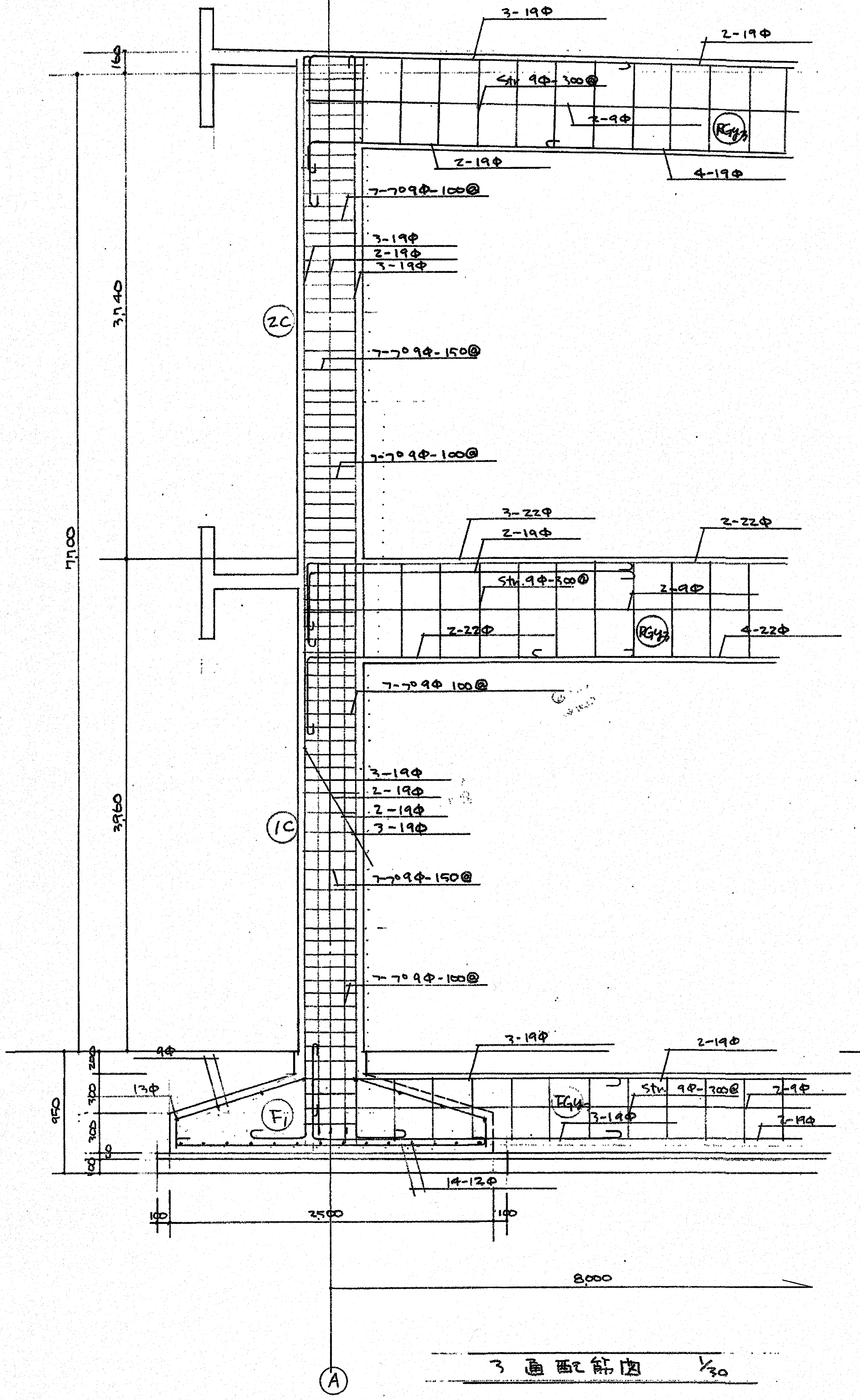
建築解体図 スラブ配筋詳細図

DATE/ 2026/8
SCALE/ 1/30
SHEET NO 解－20

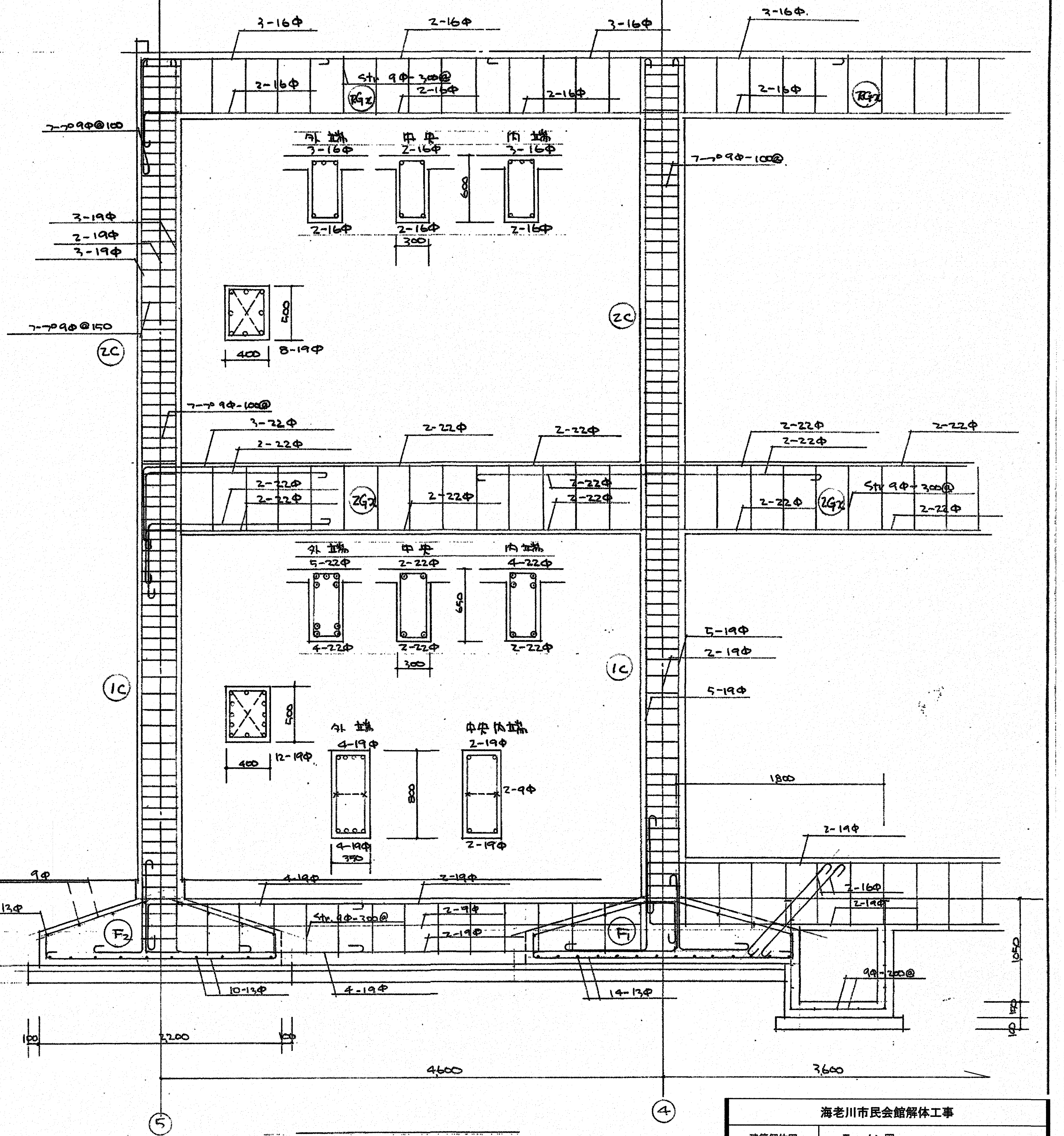
㈱ A S A 設計事務所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 ㈹
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第196852号
田中健一
DRAWN BY
CHECKED BY

現場は屋根勾配が逆（南下り）



3 通配筋図 1/30



B 通配筋図 1/30

参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長

海老川市民会館解体工事

建築解体図	ラーメン図	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/30	SHEET NO 解－21

㈱ A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

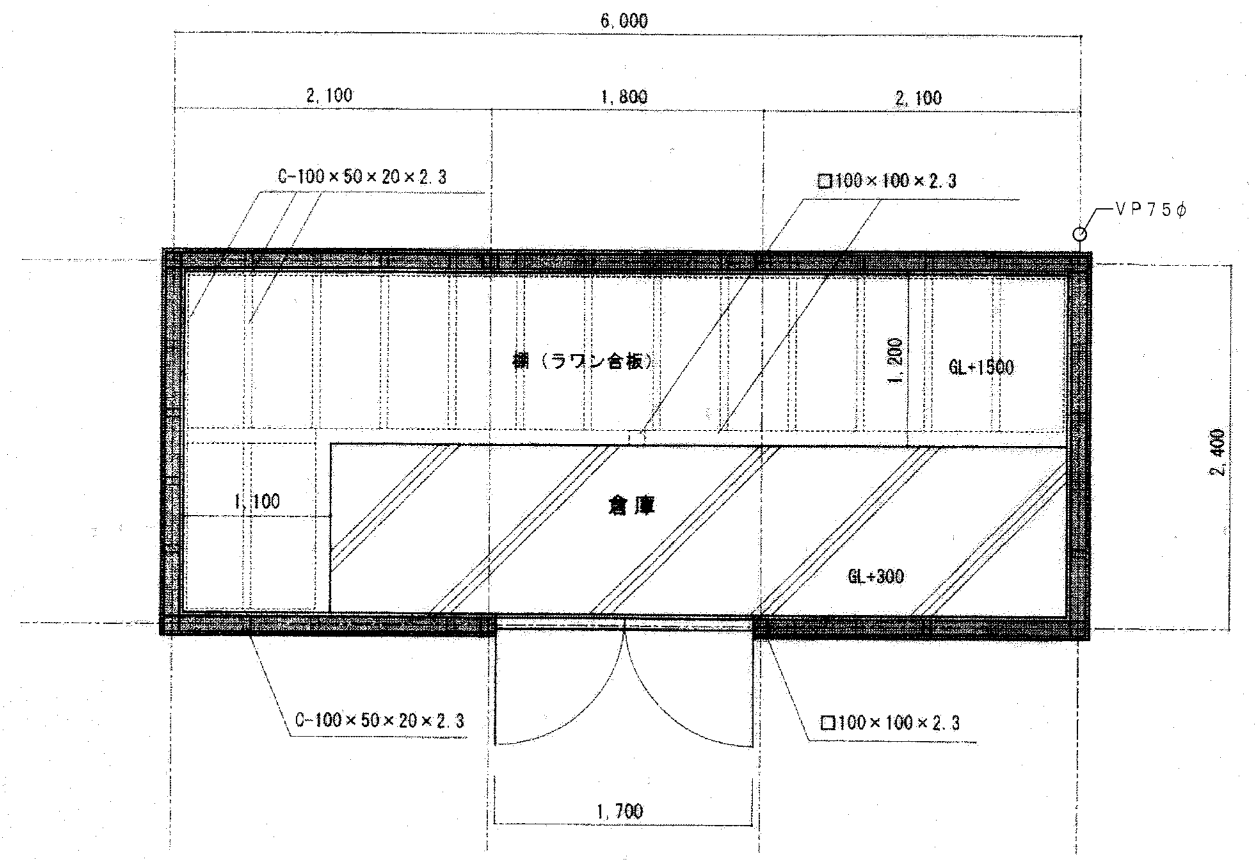
一級建築士大臣登録第196852号		
田 中 健 一	DRAWN BY	CHECKED BY

面積表	
計算式	面積
６．００＊２．４０＝１４．４０	１４．４０m2　　鉄骨造

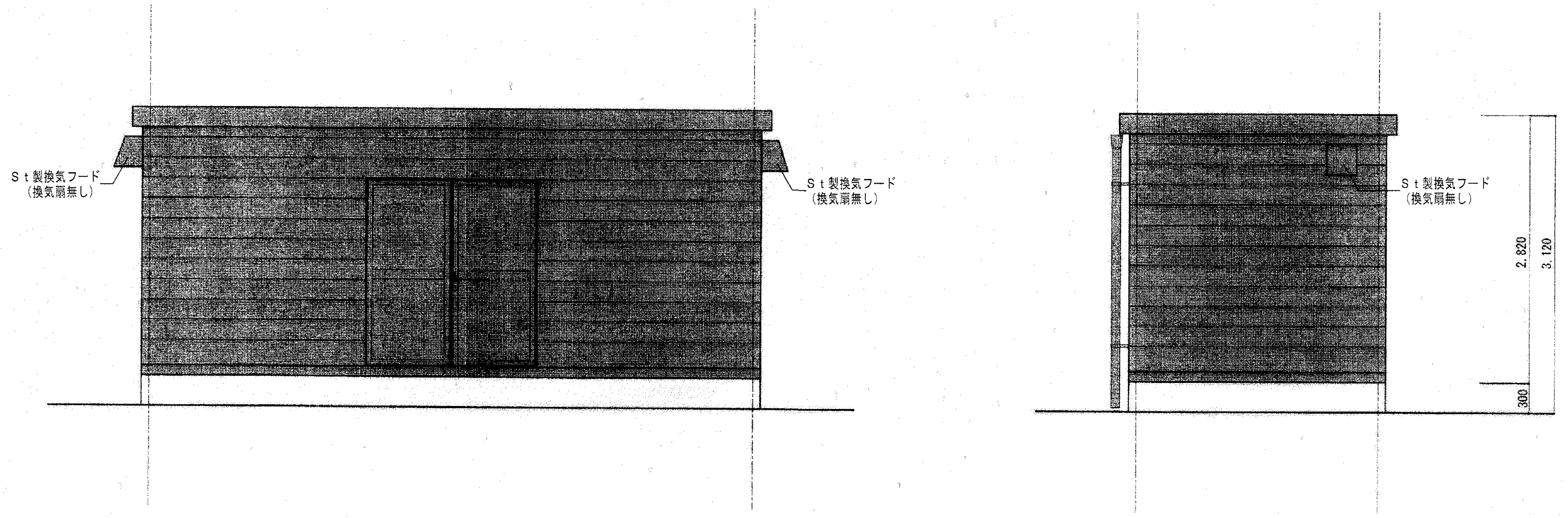
外部仕上表	
基礎	鉄筋コンクリート造　Fc＝18N／mm2　防湿シート0.15mm敷
屋根	折板H88（カラー鉄板）　断熱材貼
壁	サイディング
入口扉	アルミニウム製開き戸
換気口	暴雨防虫網付

内部仕上表	
床	土間コンクリートコテ押え
壁	グラスウール　ア５０　ラワン合板（耐水１類）　１２ｍｍ
天井	グラスウール　ア５０　ラワン合板（耐水１類）　１２ｍｍ
棚	ラワン合板（耐水１類）　１２ｍｍ　鉄骨露出部ＯＰ塗

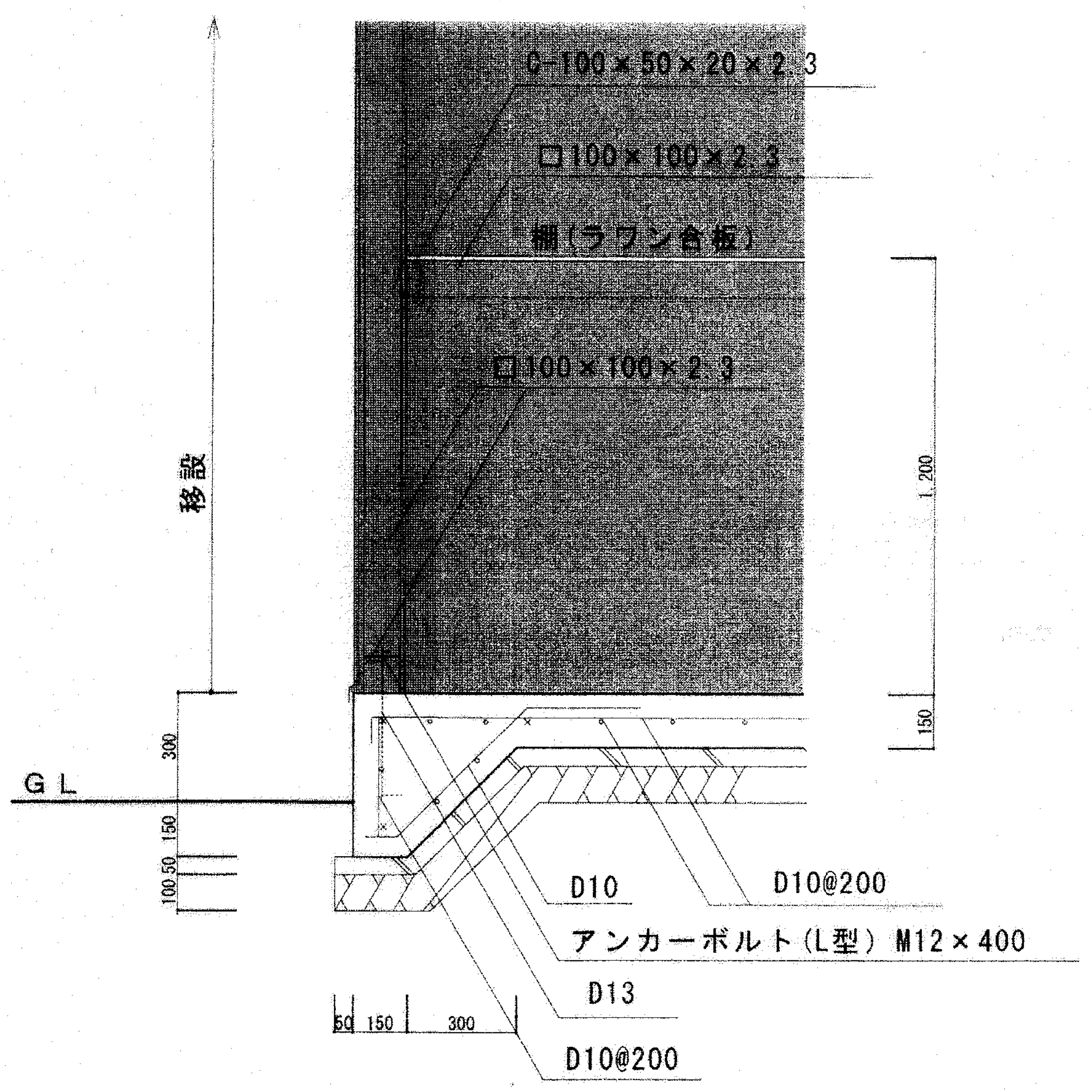
▨ ：既存のまま使用箇所



平面図　１／５０



立面図　１／５０



基礎断面図　１／２０

参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

海老川市民会館解体工事

建築解体図	防災倉庫平面・立面・基礎断面図 （防災倉庫設置時設計図）	
DATE/ 2026/8	SCALE/ 1/50・20	SHEET NO 解－２２

㈱　ＡＳＡ設計事務所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD
TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第１９６８５２号		
田中健一	DRAWN BY	CHECKED BY